

平成 30 (2018) 年度
市政全般に関する市民意識調査
集計結果

令和元年 5 月

安曇野市 政策部 政策経営課

目 次

第1	調査の設計	1
1	アンケート調査の目的	1
2	調査実施概要	1
3	調査内容	1
第2	調査結果	2
1	回答者属性	2
2	「いきいきと健康に暮らせるまち」について（健康・福祉分野）	6
3	「魅力ある産業を維持・創造するまち」について（観光・農業分野）	27
4	「安全・安心で快適なまち」について（景観・防災・住環境などの分野）	31
5	「学び合い 人と文化を育むまち」について（教育・生涯学習・交流活動などの分野）	41
6	「広報・広聴」について	51
7	「議会だより」について	57
8	「里山再生」について	60
9	「自転車活用」について	64
10	「ごみの減量化」について	66
11	「人口減対策」について	68
	巻末資料：調査表	76

第1 調査の設計

1 アンケート調査の目的

本調査は、市民の意見等を把握し、社会情勢の変化や新たなニーズに対応した市政の推進を図ることを目的に実施しました。

2 調査実施概要

- (1) 調査対象者
市内在住の18歳以上（平成31年3月1日時点）の市民2,000人（無作為抽出）
- (2) 調査方法
郵送調査
- (3) 調査期間
平成31年3月25日から同年4月12日まで
- (4) 配布数
2,000件
- (5) 有効回答者数
799件（回答率40.0%）

3 調査内容

主な調査内容は次のとおりです。

- (1) 回答者属性
- (2) 「いきいきと健康に暮らせるまち」について（健康・福祉分野）
- (3) 「魅力ある産業を維持・創造するまち」について（観光・農業分野）
- (4) 「安全・安心で快適なまち」について（景観・防災・住環境などの分野）
- (5) 「学び合い 人と文化を育むまち」について（教育・生涯学習・交流活動などの分野）
- (6) 「広報・広聴」について
- (7) 「議会だより」について
- (8) 「里山再生」について
- (9) 「自転車活用」について
- (10) 「ごみの減量化」について
- (11) 「人口減対策」について

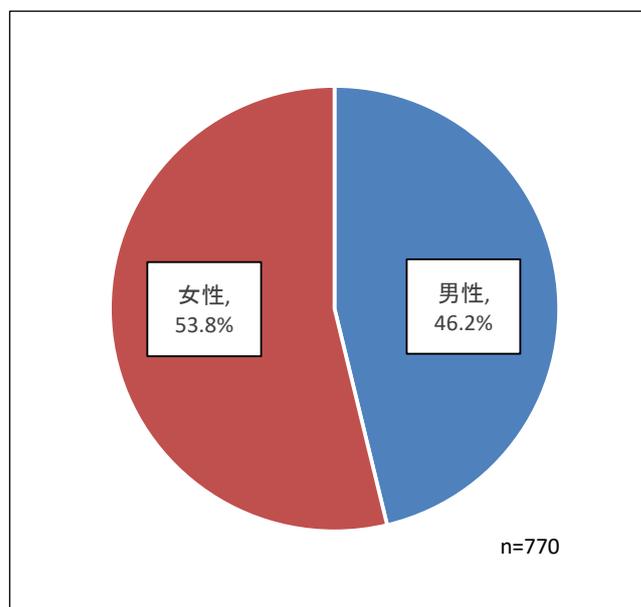
※パーセント数字は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。

第2 調査結果

1 回答者属性

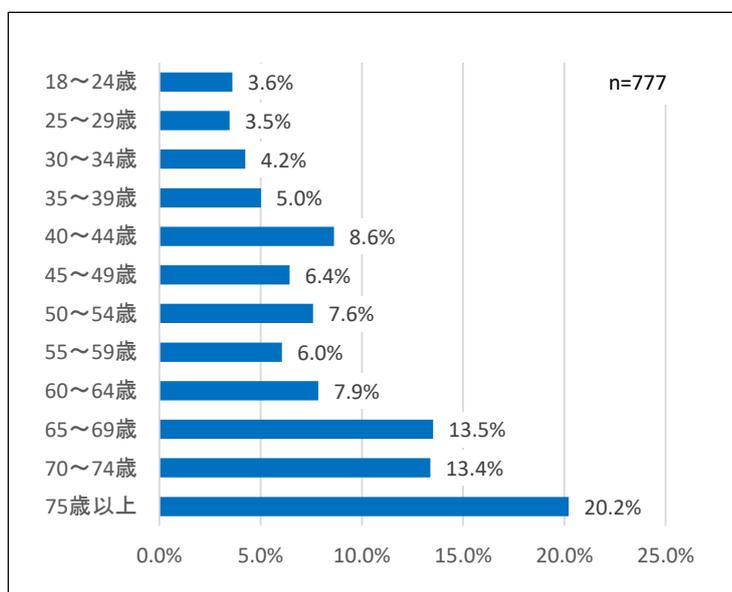
問1-1 あなたの性別をお答えください。

	人数	割合
男性	356	46.2%
女性	414	53.8%
合計	770	100.0%



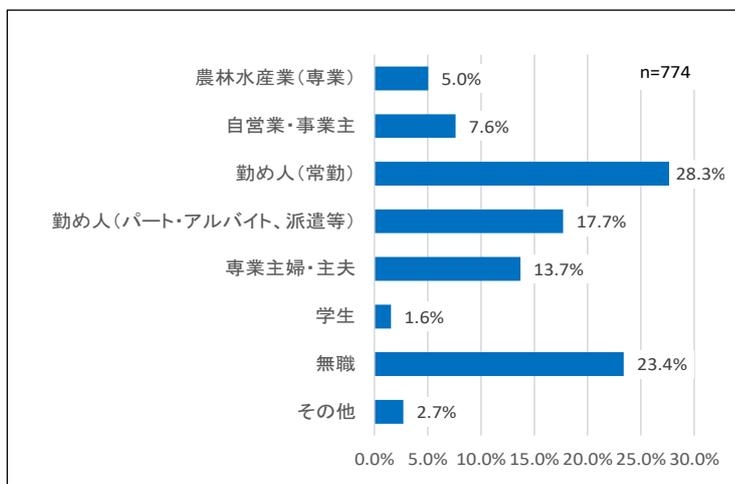
問1-2 あなたの年齢をお答えください。

	人数	割合
18～24歳	28	3.6%
25～29歳	27	3.5%
30～34歳	33	4.2%
35～39歳	39	5.0%
40～44歳	67	8.6%
45～49歳	50	6.4%
50～54歳	59	7.6%
55～59歳	47	6.0%
60～64歳	61	7.9%
65～69歳	105	13.5%
70～74歳	104	13.4%
75歳以上	157	20.2%
合計	777	100.0%



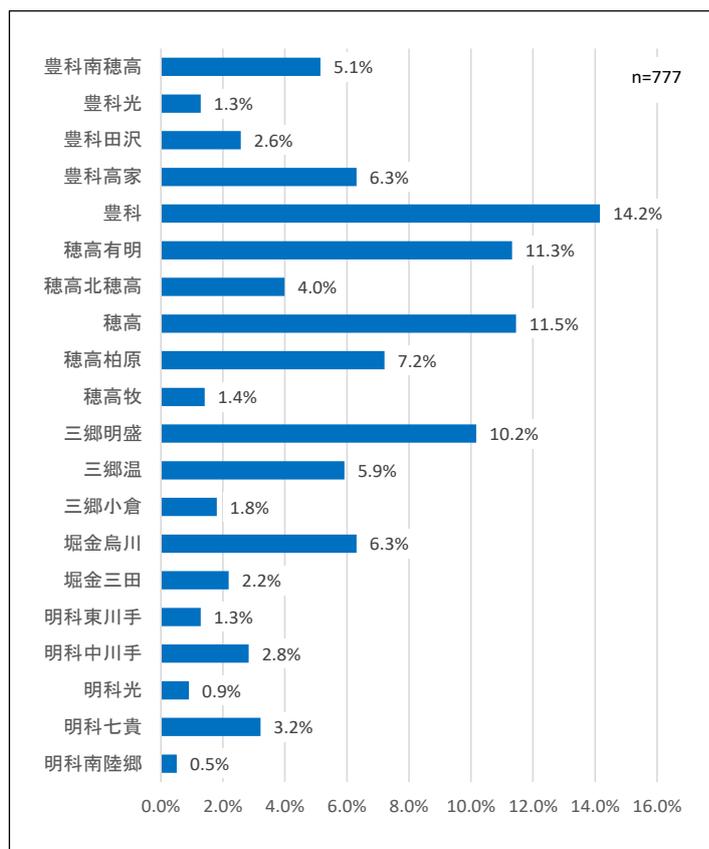
問 1 - 3 主に従事している職業等をお答えください。

	人数	割合
農林水産業（専業）	39	5.0%
自営業・事業主	59	7.6%
勤め人（常勤）	219	28.3%
勤め人（パート・アルバイト、派遣）	137	17.7%
専業主婦・主夫	106	13.7%
学生	12	1.6%
無職	181	23.4%
その他	21	2.7%
合計	774	100.0%



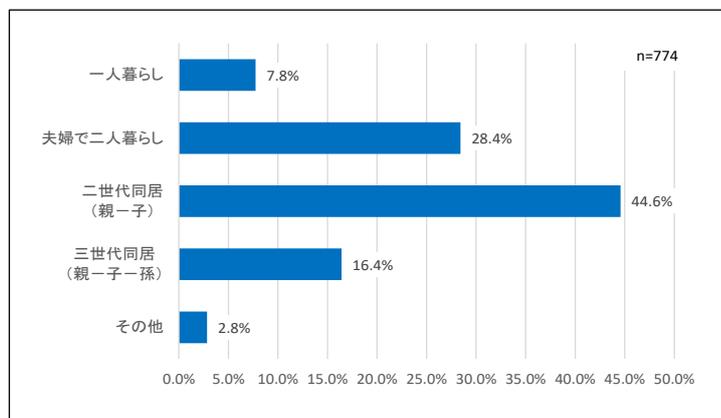
問 1 - 4 お住まいの地区をお答えください。

	人数	割合
豊科南穂高	40	5.1%
豊科光	10	1.3%
豊科田沢	20	2.6%
豊科高家	49	6.3%
豊科	110	14.2%
穂高有明	88	11.3%
穂高北穂高	31	4.0%
穂高	89	11.5%
穂高柏原	56	7.2%
穂高牧	11	1.4%
三郷明盛	79	10.2%
三郷温	46	5.9%
三郷小倉	14	1.8%
堀金烏川	49	6.3%
堀金三田	17	2.2%
明科東川手	10	1.3%
明科中川手	22	2.8%
明科光	7	0.9%
明科七貴	25	3.2%
明科南陸郷	4	0.5%
合計	777	100.0%



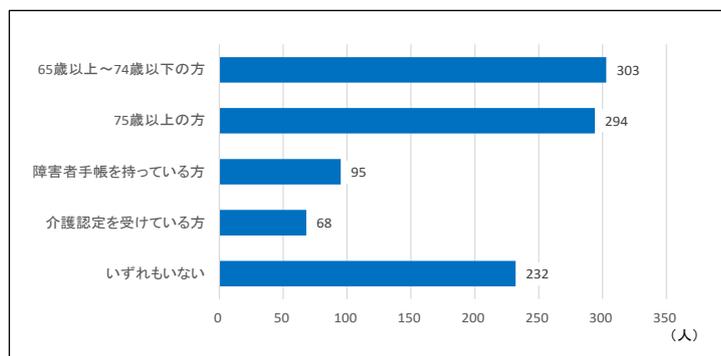
問1-5 世帯の状況をお答えください。

	人数	割合
一人暮らし	60	7.8%
夫婦で二人暮らし	220	28.4%
二世帯同居（親-子）	345	44.6%
三世帯同居（親-子-孫）	127	16.4%
その他	22	2.8%
合計	774	100.0%



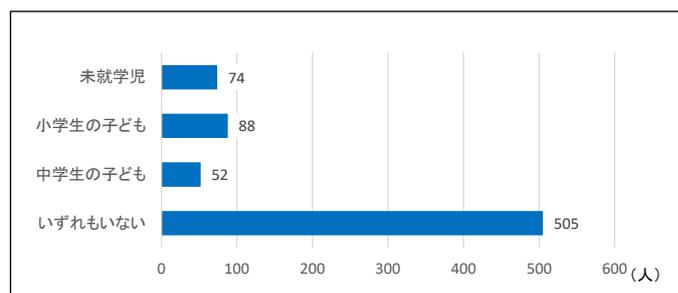
問1-6 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。（複数回答）

	人数
65歳以上～74歳以下の方	303
75歳以上の方	294
障害者手帳を持っている方	95
介護認定を受けている方	68
いずれもない	232



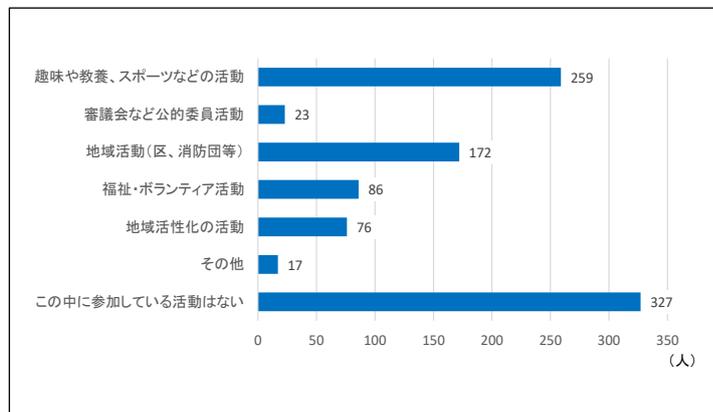
問1-7 2019年4月1日時点で、同居しているあなたのお子さんに以下の方はおられますか。（複数回答）

	人数
未就学児	74
小学生の子ども	88
中学生の子ども	52
いずれもない	505



問1-8 あなたは、1年以内に以下の活動へ参加されましたか。(複数回答)

	人数
趣味や教養、スポーツなどの活動	259
審議会など公的委員活動	23
地域活動(区、消防団等)	172
福祉・ボランティア活動	86
地域活性化の活動	76
その他	17
この中に参加している活動はない	327

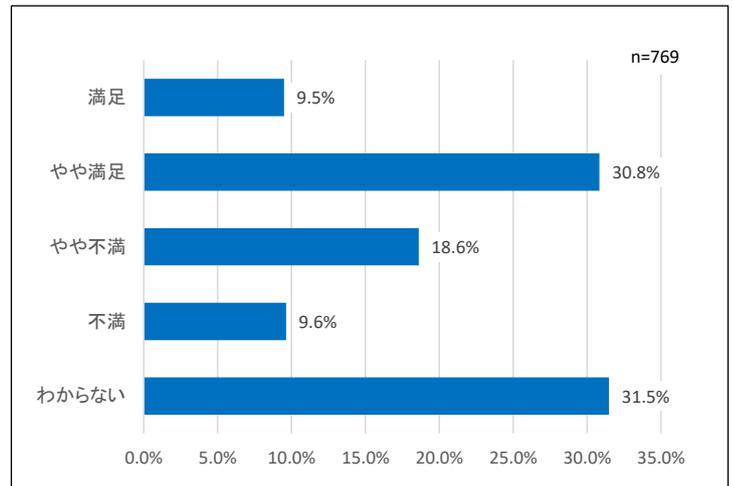


2 「いきいきと健康に暮らせるまち」について（健康・福祉分野）

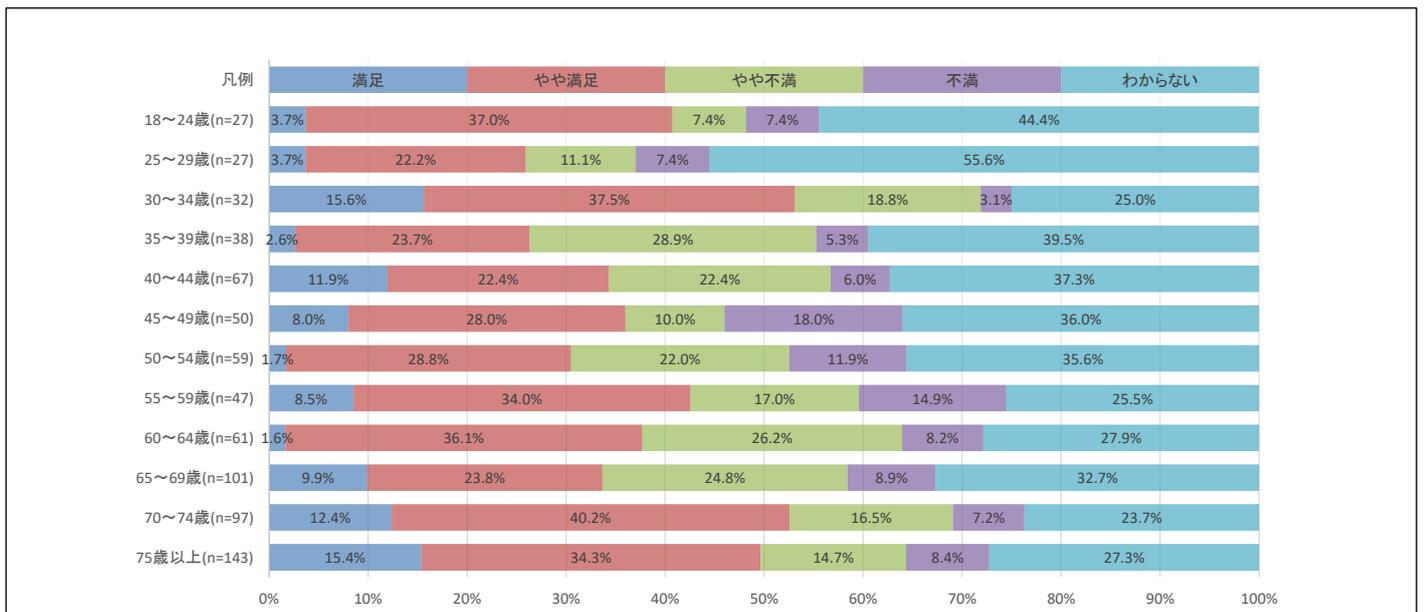
●あなたは、次の市の取組状況について、どのように感じていますか。

設問番号 1 健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

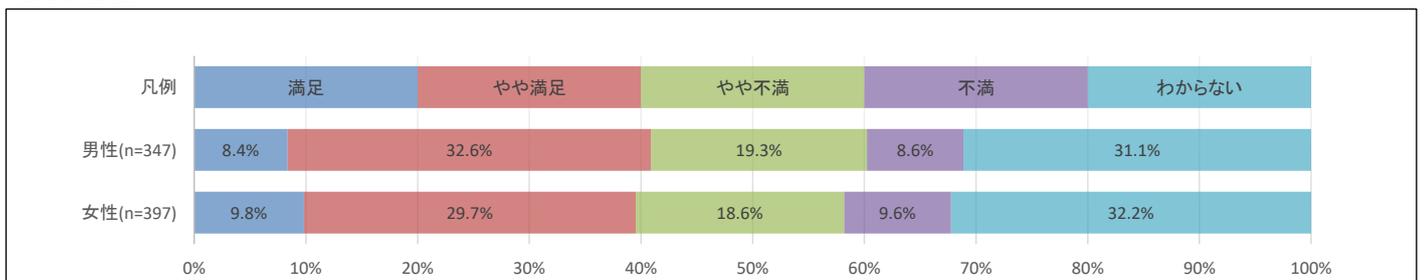
	人数	割合
満足	73	9.5%
やや満足	237	30.8%
やや不満	143	18.6%
不満	74	9.6%
わからない	242	31.5%
合計	769	100.0%



【年代別】

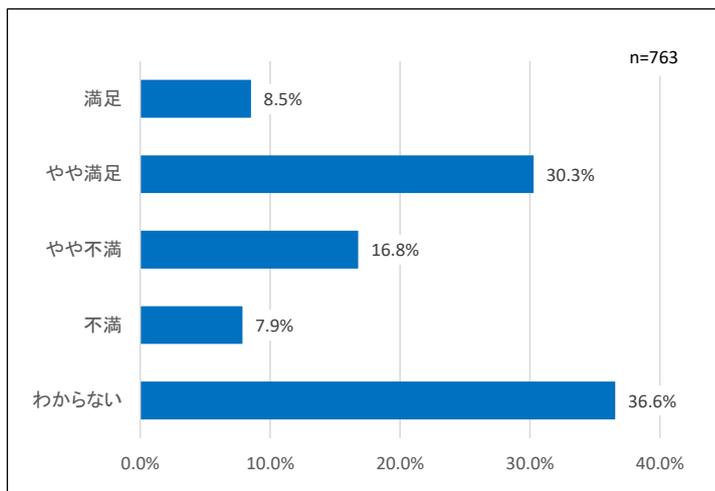


【男女別】



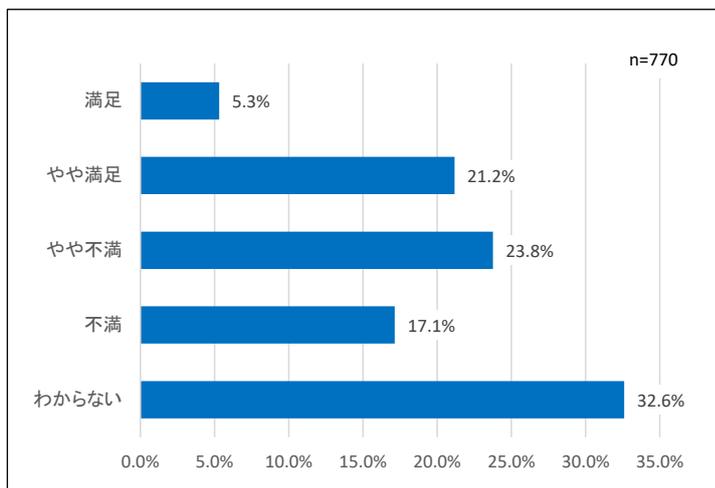
設問番号2 地産地消や家族での食事を推進するなど、食育が行われている

	人数	割合
満足	65	8.5%
やや満足	231	30.3%
やや不満	128	16.8%
不満	60	7.9%
わからない	279	36.6%
合計	763	100.0%

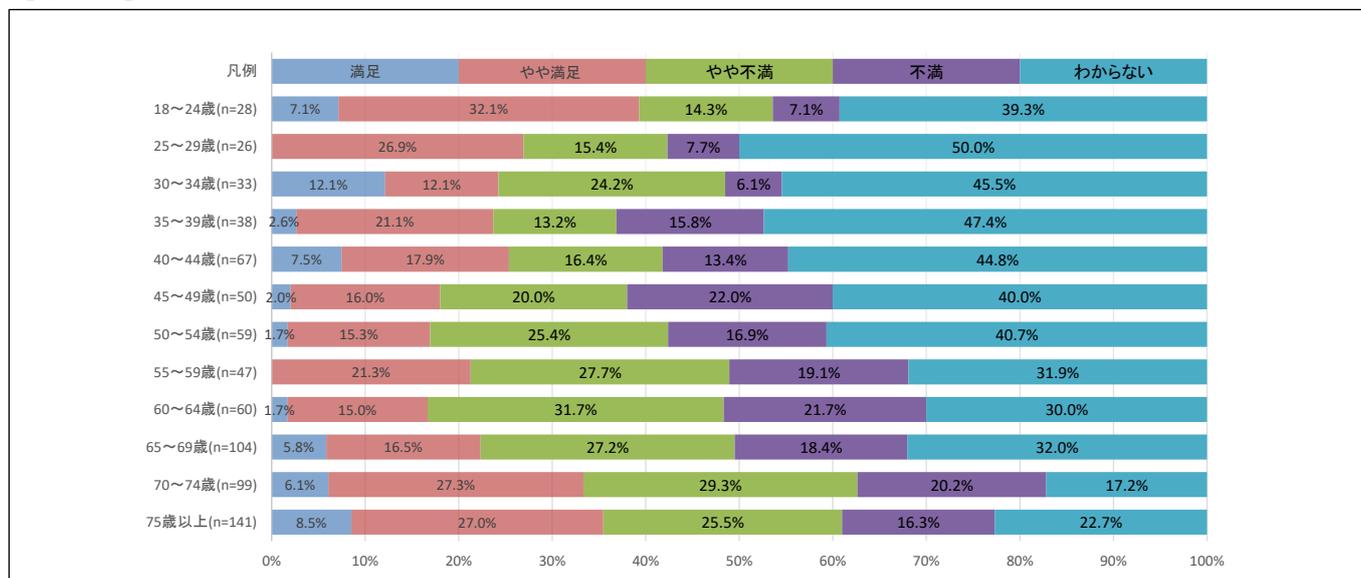


設問番号3 高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている

	人数	割合
満足	41	5.3%
やや満足	163	21.2%
やや不満	183	23.8%
不満	132	17.1%
わからない	251	32.6%
合計	770	100.0%

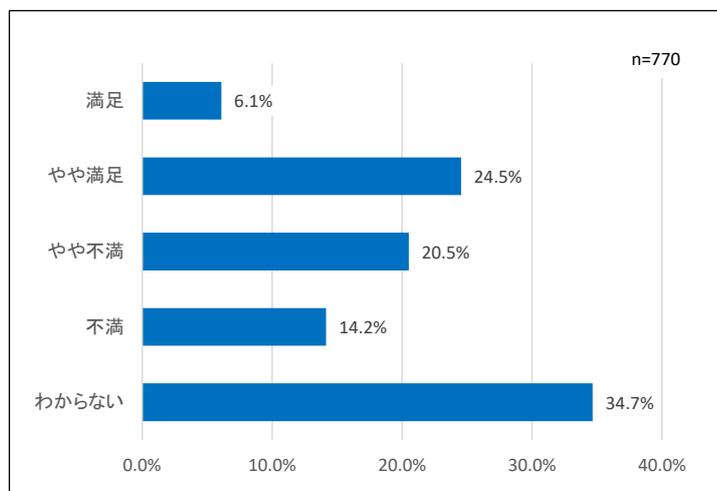


【年代別】



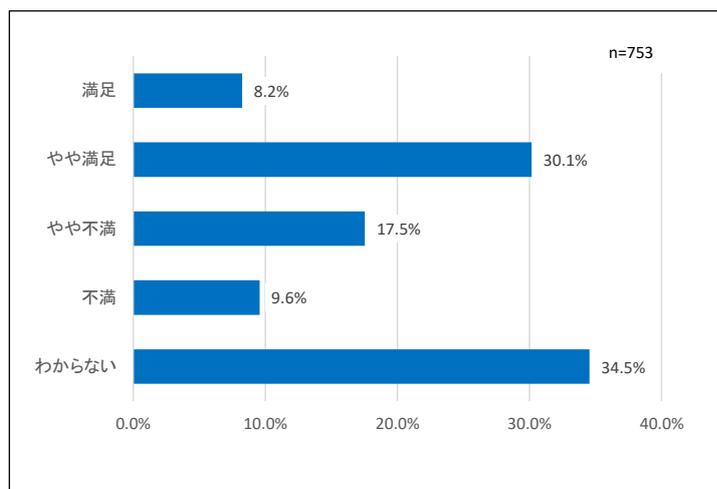
設問番号4 高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている

	人数	割合
満足	47	6.1%
やや満足	189	24.5%
やや不満	158	20.5%
不満	109	14.2%
わからない	267	34.7%
合計	770	100.0%

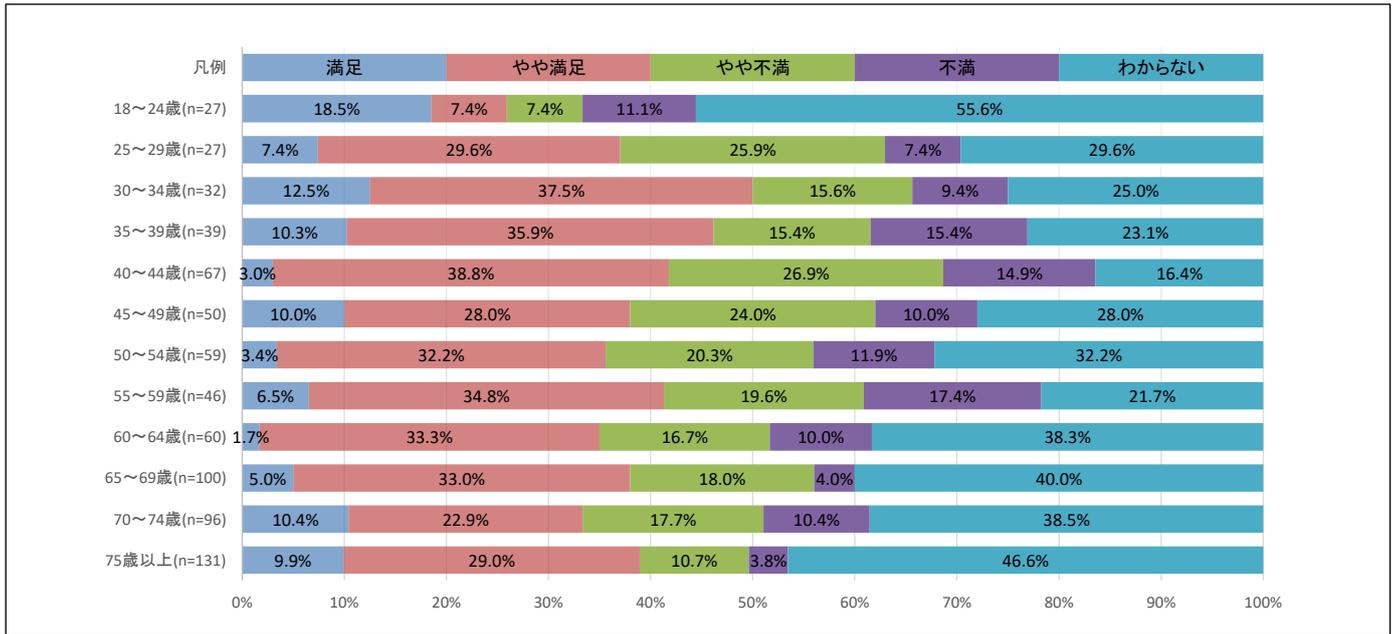


設問番号5 子育てしやすい地域である

	人数	割合
満足	62	8.2%
やや満足	227	30.1%
やや不満	132	17.5%
不満	72	9.6%
わからない	260	34.5%
合計	753	100.0%



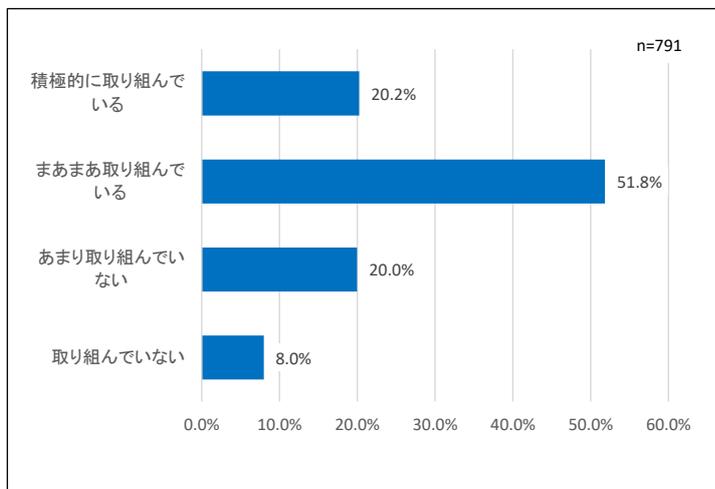
【年代別】



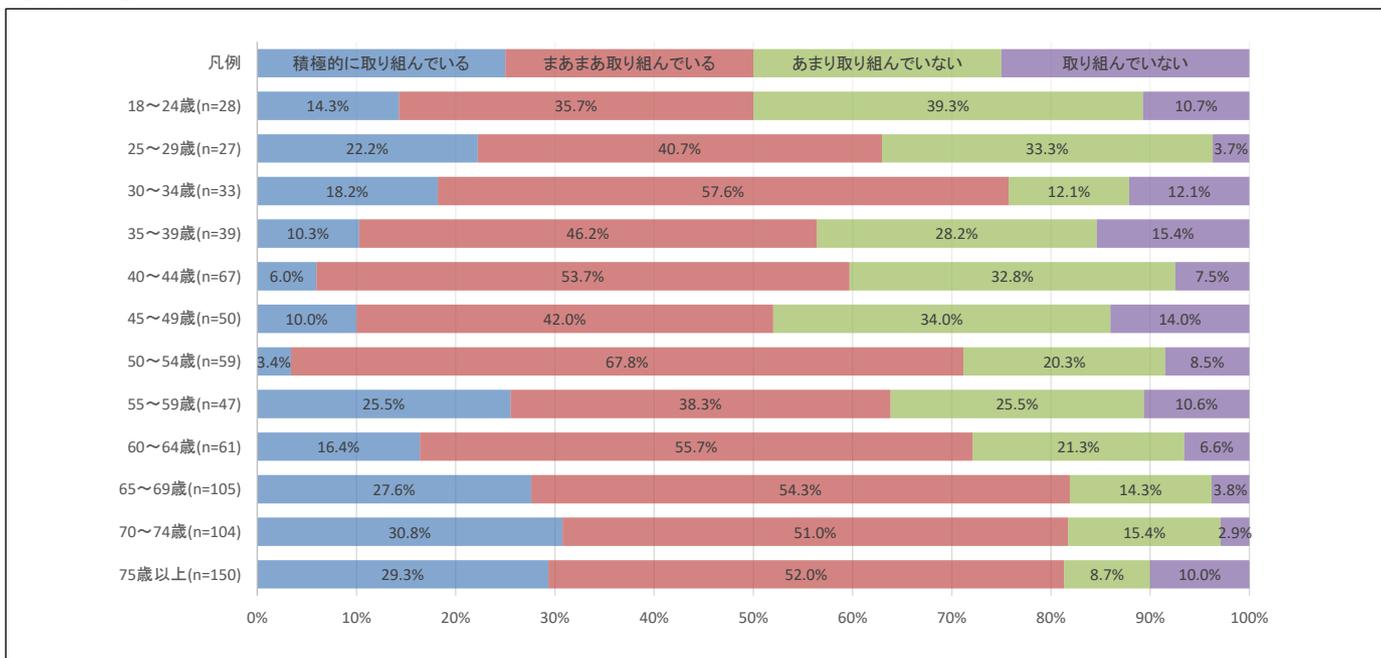
●あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。

設問番号 6 日常的な健康づくりをしている（検診・食事・運動・ストレス解消など）

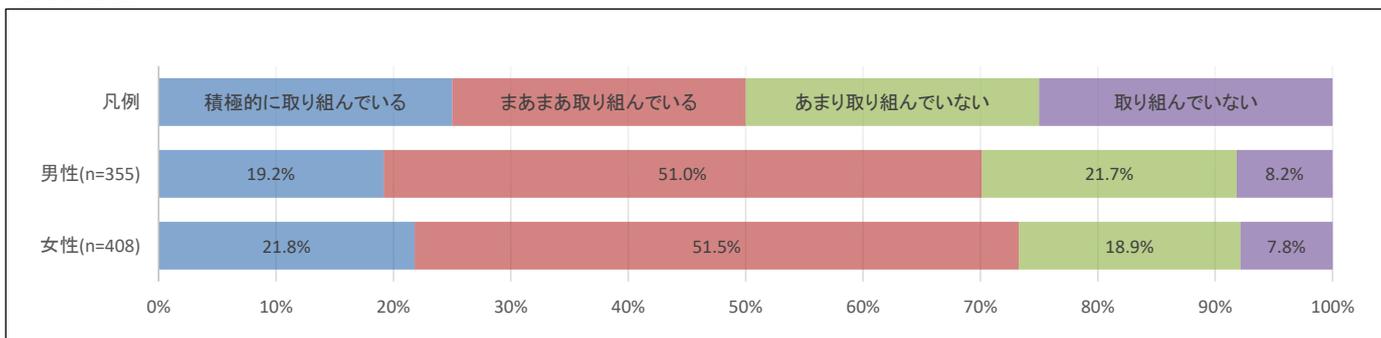
	人数	割合
積極的に取り組んでいる	160	20.2%
まあまあ取り組んでいる	410	51.8%
あまり取り組んでいない	158	20.0%
取り組んでいない	63	8.0%
合計	791	100.0%



【年代別】

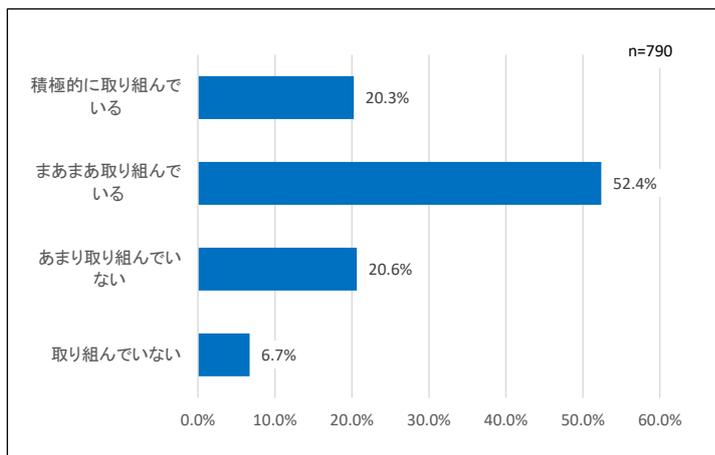


【男女別】



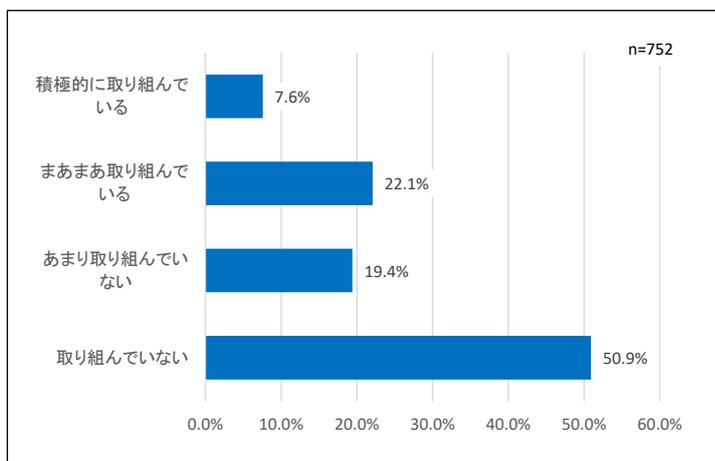
設問番号7 食の大切さを理解し、健全な食を実践したり、地産地消を心がけている

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	160	20.3%
まあまあ取り組んでいる	414	52.4%
あまり取り組んでいない	163	20.6%
取り組んでいない	53	6.7%
合計	790	100.0%

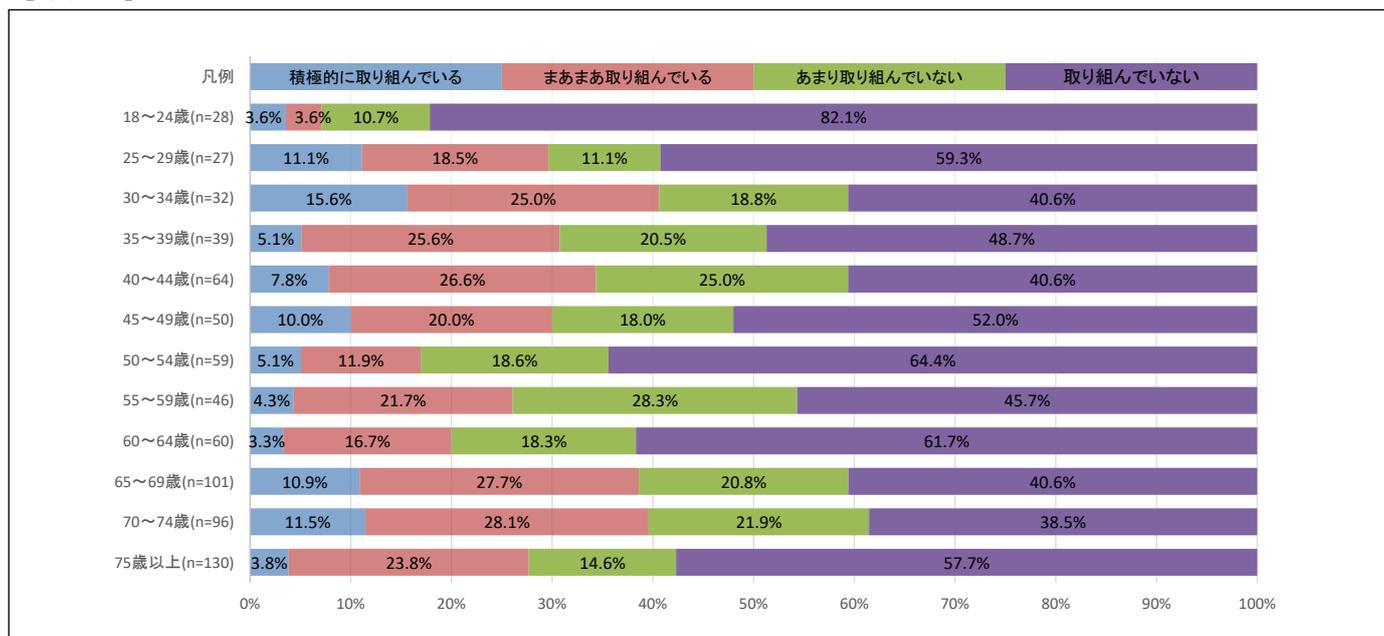


設問番号8 子育て家庭へのサポートをしている

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	57	7.6%
まあまあ取り組んでいる	166	22.1%
あまり取り組んでいない	146	19.4%
取り組んでいない	383	50.9%
合計	752	100.0%



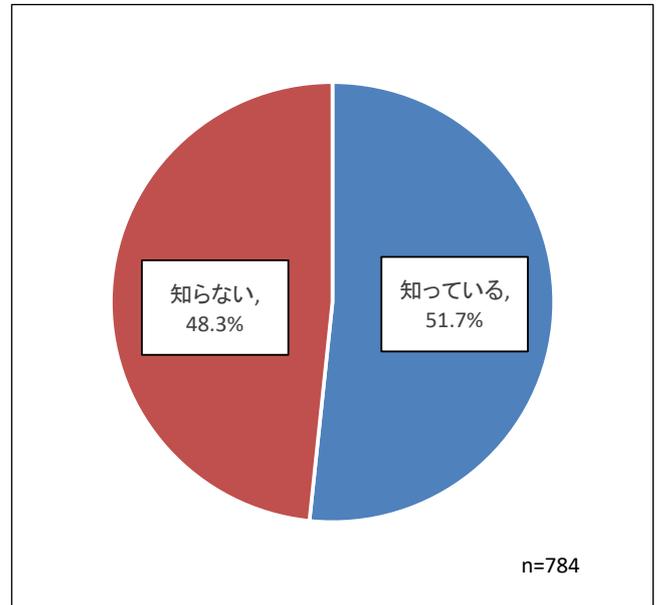
【年代別】



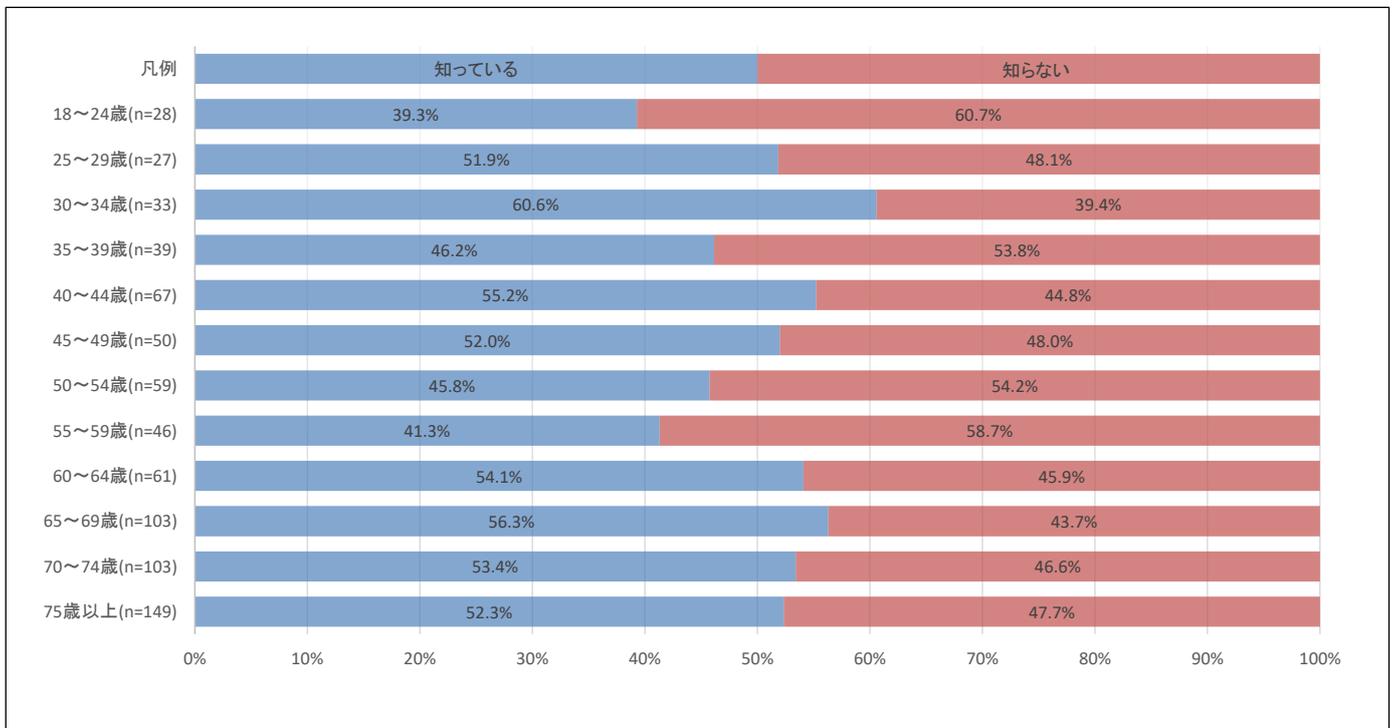
●あなたは、次のことを知っていますか。

設問番号9 ストレスや悩みを抱えたときに市や各種機関で相談ができること

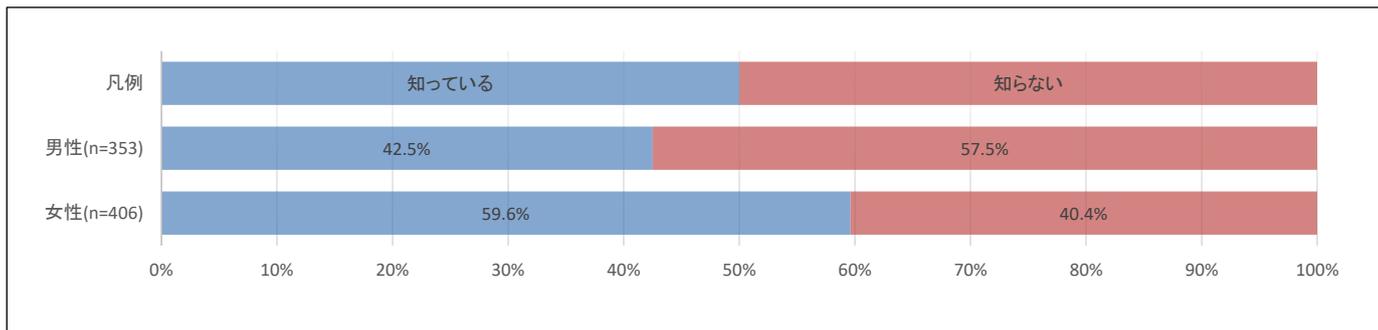
	人数	割合
知っている	405	51.7%
知らない	379	48.3%
合計	784	100.0%



【年代別】

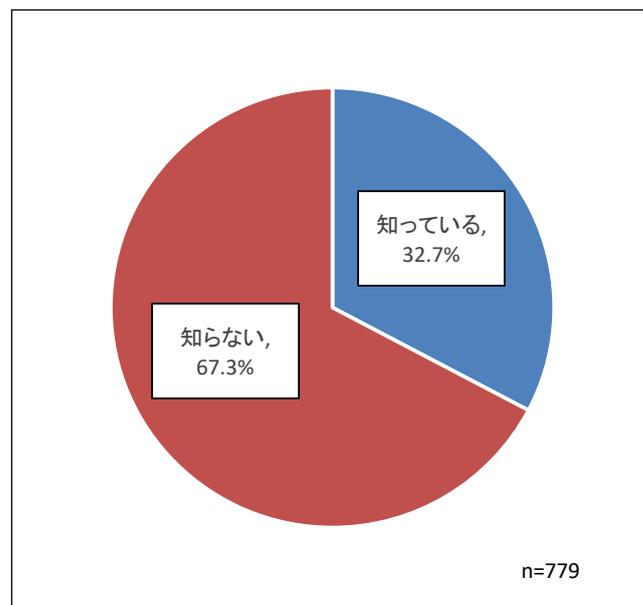


【男女別】



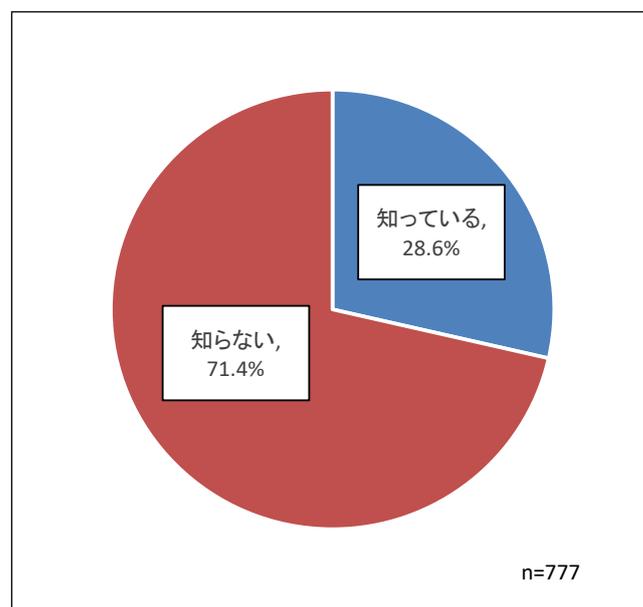
設問番号 10 安曇野市で歯科口腔保健条例を制定し、市民の歯と口腔の健康づくりに取り組んでいること

	人数	割合
知っている	255	32.7%
知らない	524	67.3%
合計	779	100.0%

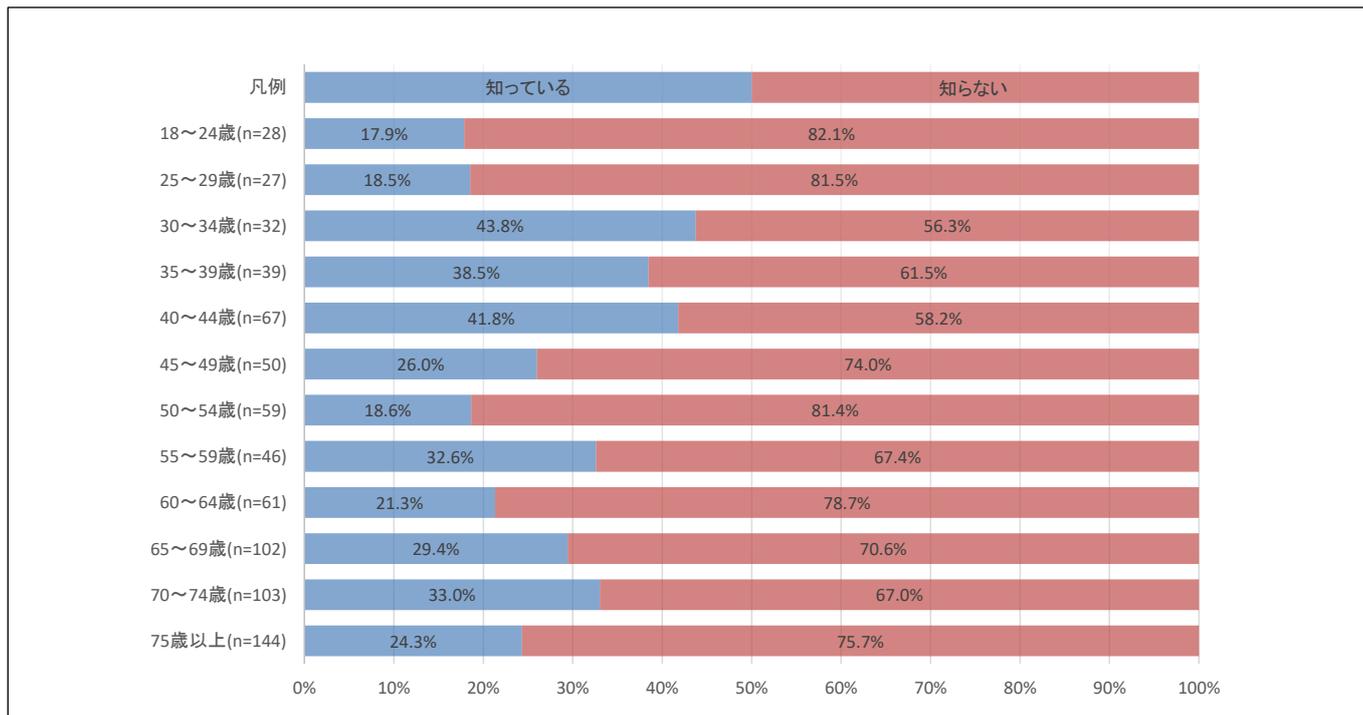


設問番号 11 安曇野市の全公立認定こども園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度で認定を受けていること

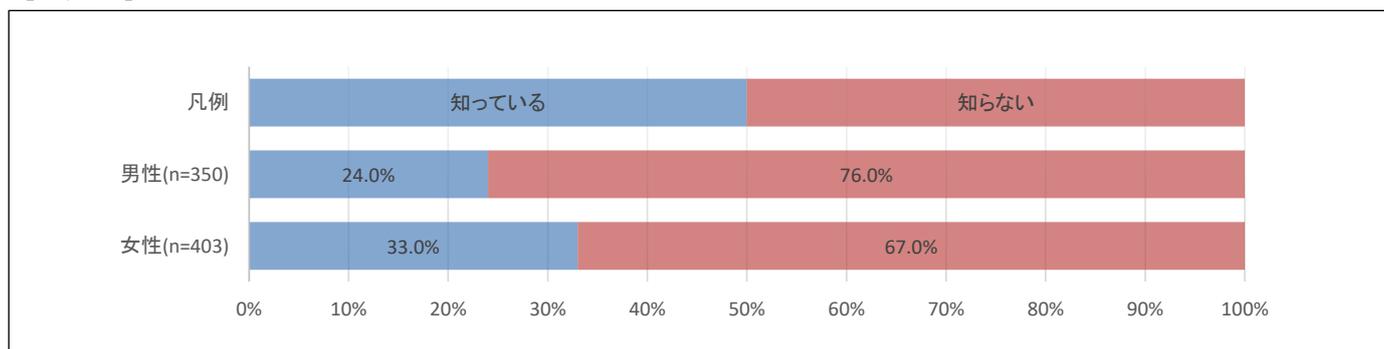
	人数	割合
知っている	222	28.6%
知らない	555	71.4%
合計	777	100.0%



【年代別】

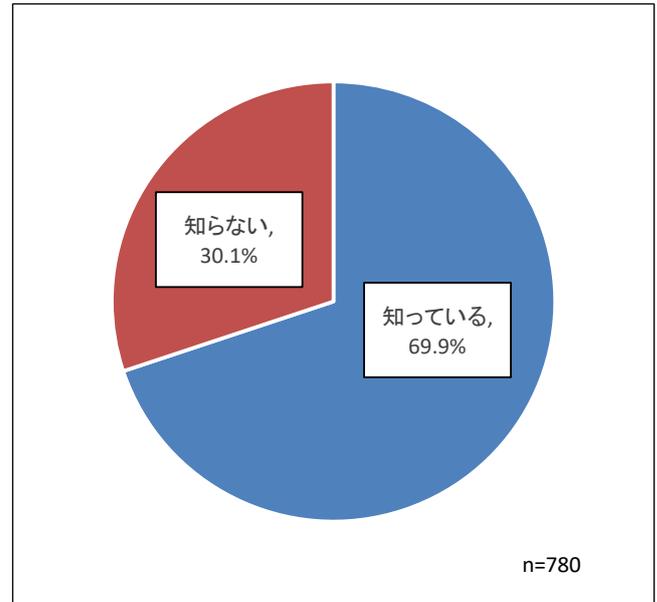


【男女別】

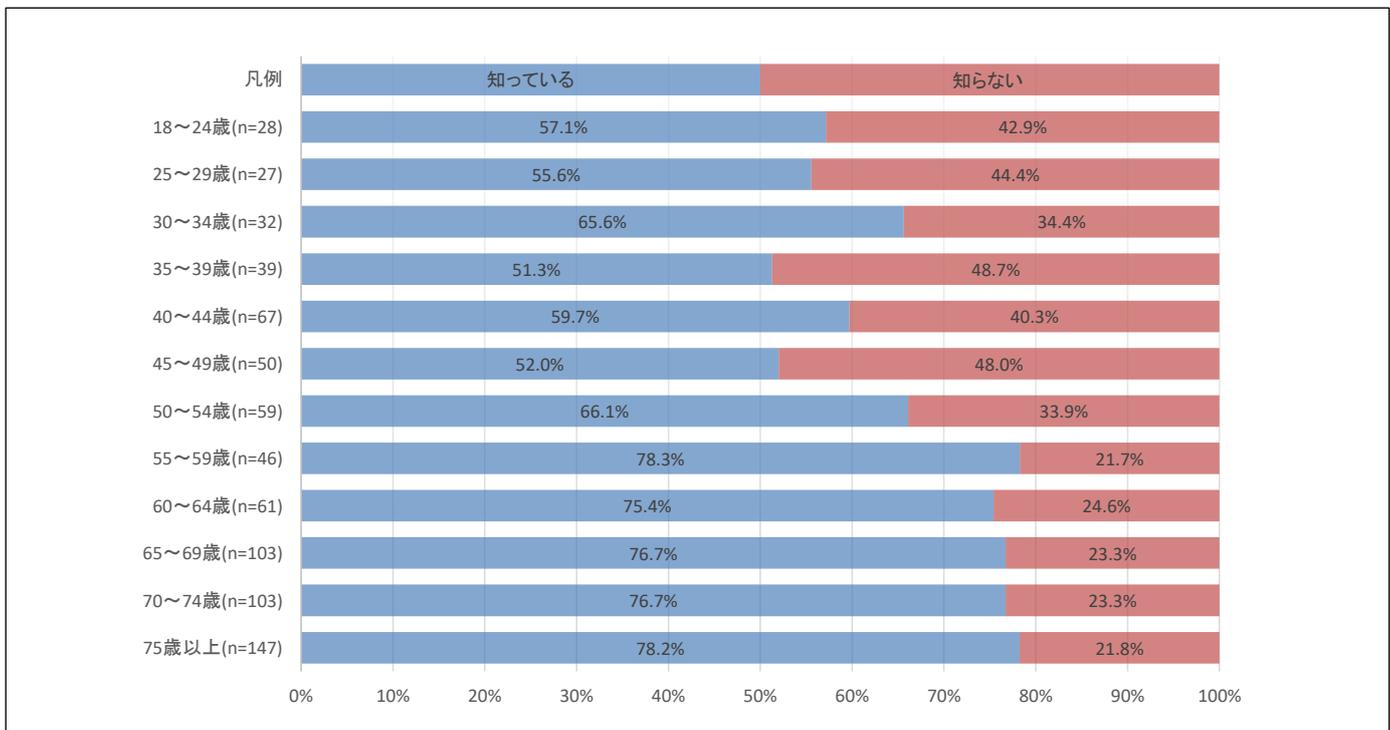


設問番号 12 『男女共同参画』という言葉

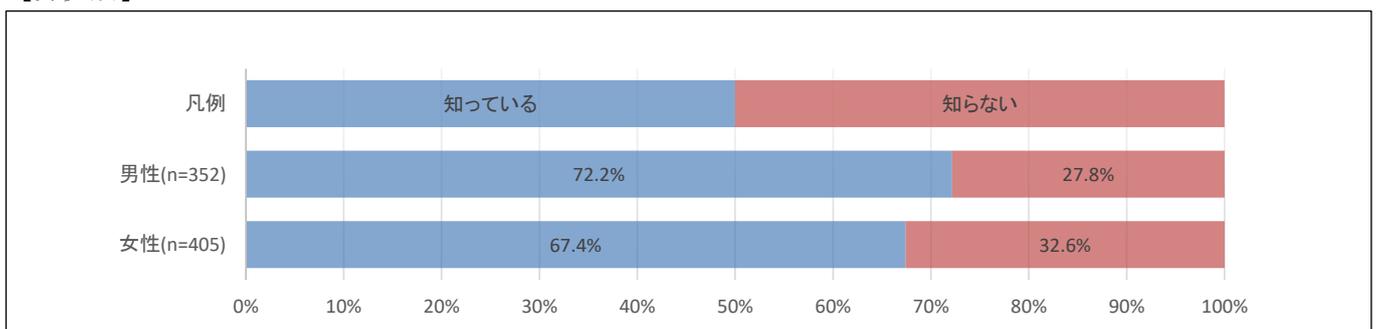
	人数	割合
知っている	545	69.9%
知らない	235	30.1%
合計	780	100.0%



【年代別】



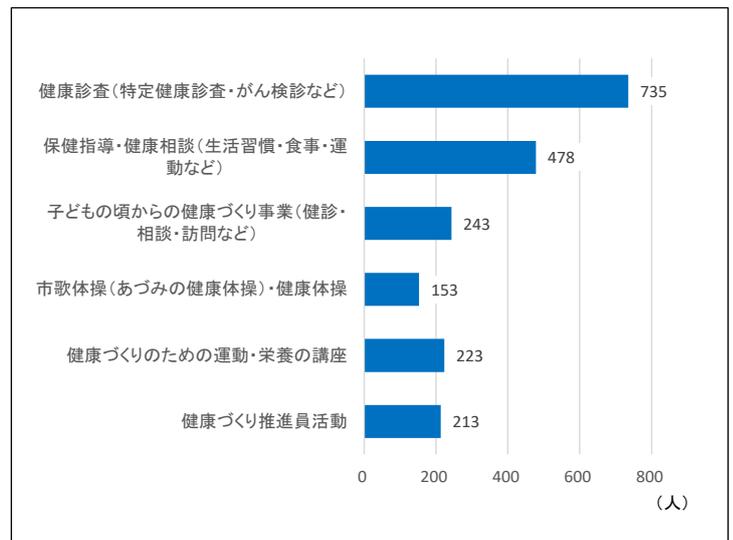
【男女別】



問1-13 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で知っているものはどれですか。

(複数回答)

	人数
健康診査(特定健康診査・がん検診など)	735
保健指導・健康相談(生活習慣・食事・運動など)	478
子どもの頃からの健康づくり事業(健診・相談・訪問など)	243
市歌体操(あづみの健康体操)・健康体操	153
健康づくりのための運動・栄養の講座	223
健康づくり推進員活動	213



【年代別】

	回答者数(人)	健康診査(特定健康診査・がん検診など)	保健指導・健康相談(生活習慣・食事・運動など)	子どもの頃からの健康づくり事業(健診・相談・訪問など)	市歌体操(あづみの健康体操)・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
18~24歳	23	69.6%	34.8%	39.1%	21.7%	21.7%	17.4%
25~29歳	25	88.0%	56.0%	60.0%	12.0%	20.0%	8.0%
30~34歳	29	93.1%	79.3%	55.2%	24.1%	24.1%	17.2%
35~39歳	35	97.1%	45.7%	57.1%	20.0%	14.3%	8.6%
40~44歳	64	98.4%	67.2%	46.9%	21.9%	21.9%	28.1%
45~49歳	47	100.0%	63.8%	44.7%	14.9%	21.3%	27.7%
50~54歳	57	98.2%	59.6%	42.1%	12.3%	17.5%	22.8%
55~59歳	44	97.7%	65.9%	40.9%	18.2%	31.8%	34.1%
60~64歳	61	100.0%	67.2%	24.6%	34.4%	34.4%	29.5%
65~69歳	101	100.0%	69.3%	25.7%	16.8%	37.6%	29.7%
70~74歳	104	97.1%	72.1%	13.5%	20.2%	33.7%	36.5%
75歳以上	151	97.4%	54.3%	17.9%	21.9%	35.1%	32.5%

※回答者に占める割合

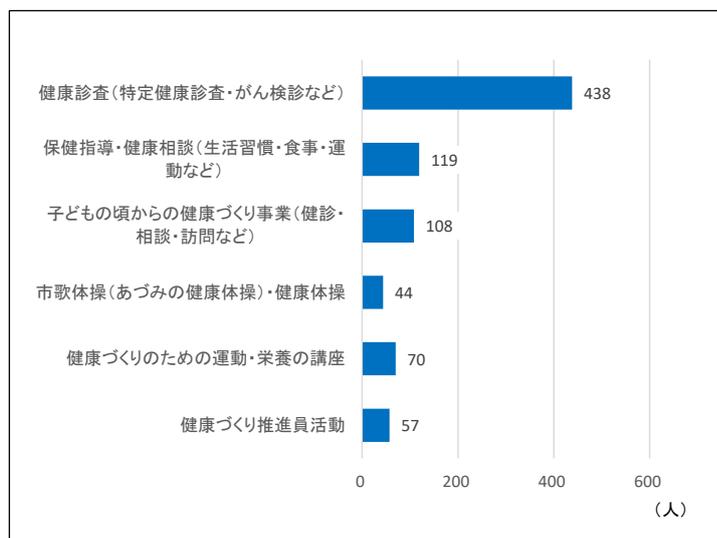
【男女別】

	回答者数(人)	健康診査(特定健康診査・がん検診など)	保健指導・健康相談(生活習慣・食事・運動など)	子どもの頃からの健康づくり事業(健診・相談・訪問など)	市歌体操(あづみの健康体操)・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
男性	333	96.7%	56.8%	20.7%	15.3%	22.8%	25.2%
女性	402	97.0%	67.4%	40.8%	24.6%	34.6%	30.6%

※回答者に占める割合

問1-14 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で参加（受診等）したことがあるものがあります。（複数回答）

	人数
健康診査（特定健康診査・がん検診など）	438
保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	119
子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	108
市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	44
健康づくりのための運動・栄養の講座	70
健康づくり推進員活動	57



【年代別】

	回答者数	健康診査（特定健康診査・がん検診など）	保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
18～24歳	9	33.3%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%
25～29歳	13	23.1%	7.7%	61.5%	7.7%	7.7%	0.0%
30～34歳	19	57.9%	26.3%	73.7%	5.3%	5.3%	0.0%
35～39歳	18	44.4%	11.1%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
40～44歳	49	79.6%	14.3%	42.9%	4.1%	8.2%	6.1%
45～49歳	31	74.2%	12.9%	25.8%	0.0%	6.5%	0.0%
50～54歳	30	73.3%	13.3%	36.7%	10.0%	13.3%	10.0%
55～59歳	29	82.8%	10.3%	20.7%	3.4%	3.4%	10.3%
60～64歳	40	92.5%	35.0%	20.0%	5.0%	17.5%	7.5%
65～69歳	72	87.5%	22.2%	4.2%	5.6%	12.5%	12.5%
70～74歳	88	87.5%	38.6%	2.3%	10.2%	18.2%	17.0%
75歳以上	123	92.7%	19.5%	5.7%	14.6%	18.7%	15.4%

※回答者に占める割合

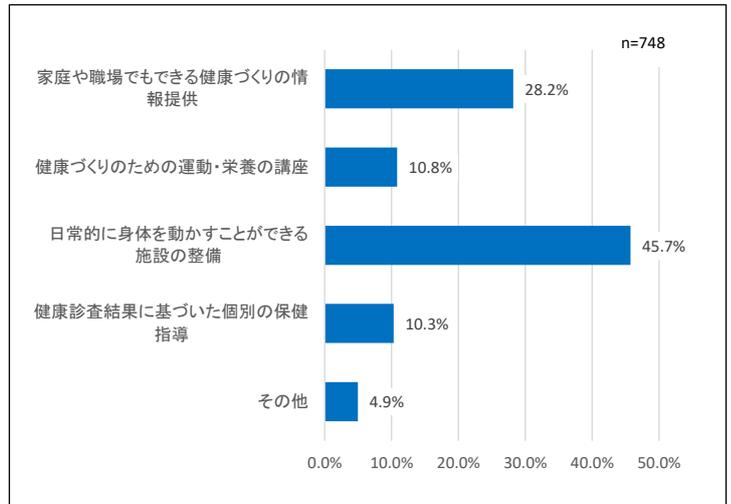
【男女別】

	回答者数	健康診査（特定健康診査・がん検診など）	保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）	子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）	市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操	健康づくりのための運動・栄養の講座	健康づくり推進員活動
男性	193	79.8%	20.7%	9.8%	7.3%	9.3%	11.4%
女性	324	82.4%	22.5%	25.9%	8.6%	15.4%	10.5%

※回答者に占める割合

問 1-15 あなたは、市民の健康をサポートするため、市はどのような取組を行うべきとお考えですか。

	人数	割合
家庭や職場でもできる健康づくりの情報提供	211	28.2%
健康づくりのための運動・栄養の講座	81	10.8%
日常的に身体を動かすことができる施設の整備	342	45.7%
健康診査結果に基づいた個別の保健指導	77	10.3%
その他	37	4.9%
合計	748	100.0%

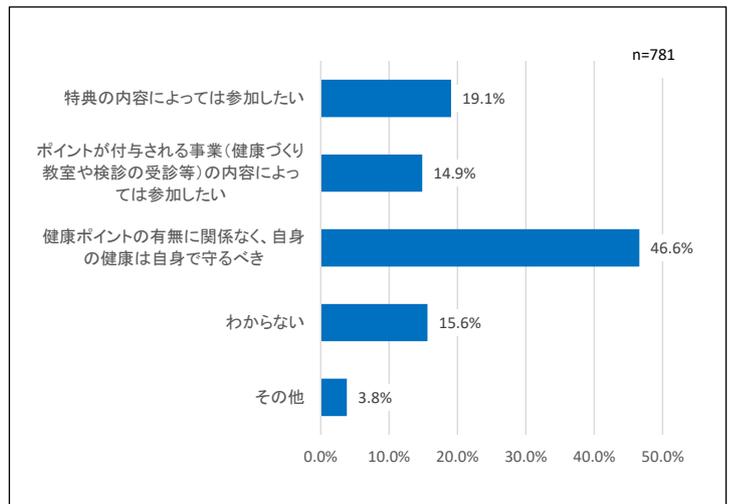


■ 「その他」の主な意見等

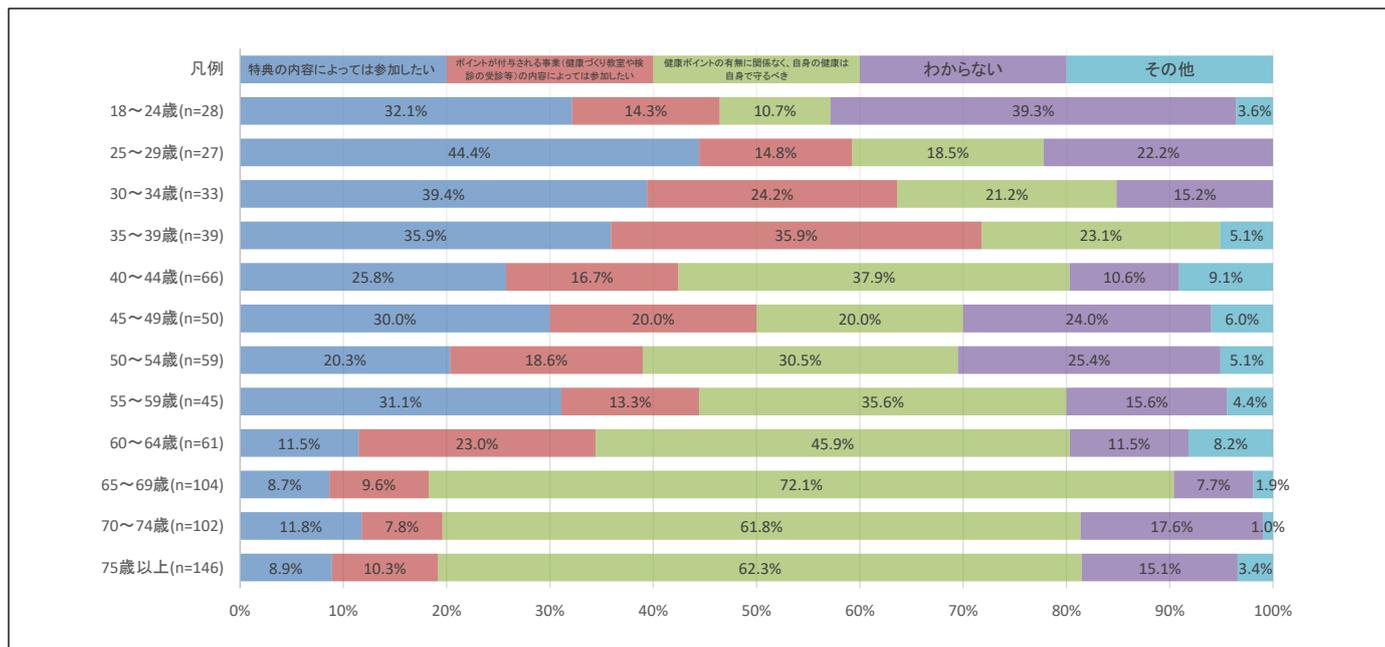
性別	年代	主な意見等
女性	30～34歳	仕事帰りに寄れるため、18時以降に健康診査が出来たらありがたい
女性	50～54歳	居住している地域で、すべての検診が受けられるようになること
男性	35～39歳	特に必要ない
女性	55～59歳	汚染のない水と空気を守る
女性	40～44歳	今のままで充分
男性	45～49歳	PRの強化
男性	65～69歳	自転車道の整備
女性	18～24歳	若い働く世代向けの健康診断（土日開催、20～30代向け等）
男性	60～64歳	山麓線とその周辺の散歩コースの整備
女性	45～49歳	働き方改革の推進。22時以降の帰宅が当たり前になっている

問 1-16 近年、日々の健康づくりの活動（ウォーキングや健康づくり教室への参加、検診の受診等）にポイントを付与し、獲得ポイントにより特典が得られる「健康ポイント制度」を行う自治体が増えていきます。あなたは、健康ポイント制度についてどのようなお考えですか。

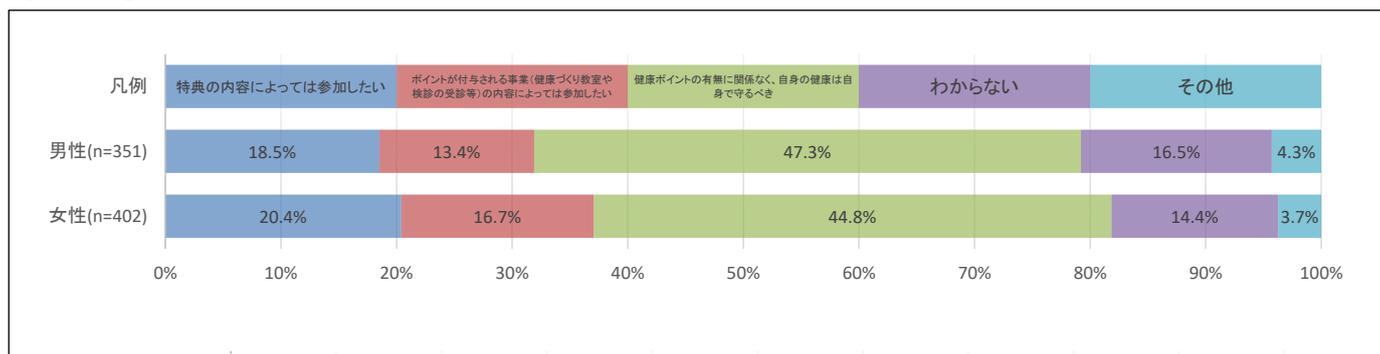
	人数	割合
特典の内容によっては参加したい	149	19.1%
ポイントが付与される事業（健康づくり教室や検診の受診等）の内容によっては参加したい	116	14.9%
健康ポイントの有無に関係なく、自身の健康は自身で守るべき	364	46.6%
わからない	122	15.6%
その他	30	3.8%
合計	781	100.0%



【年代別】



【男女別】

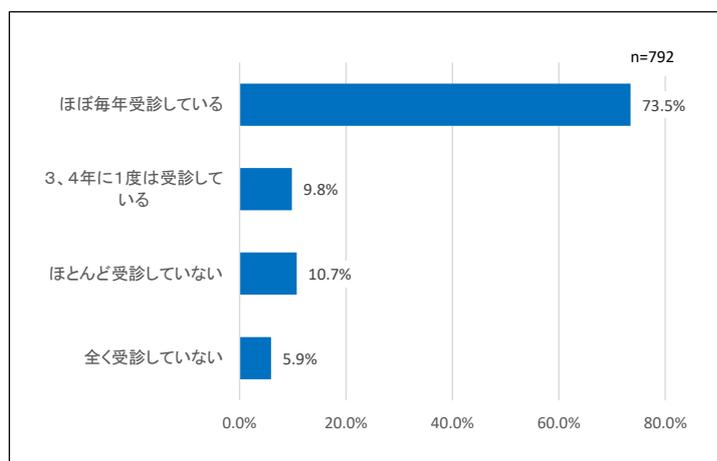


■ 「その他」の主な意見等

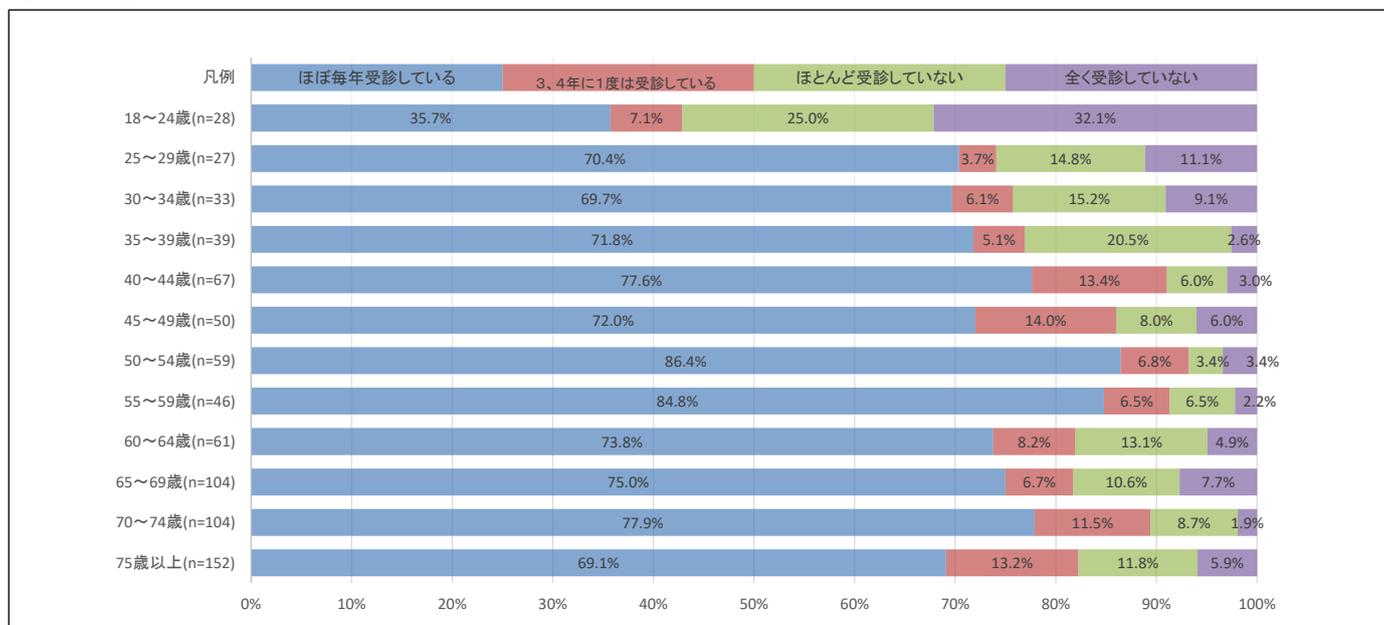
性別	年代	主な意見等
女性	40～44歳	特典に、多くの税金が使われることに納得いかない
男性	35～39歳	とてもいいと思う。ポイントが付与されるなら男性も参加しやすいと思う
男性	60～64歳	制度があることで参加者が増えるのなら良い
女性	45～49歳	ポイントは必要ない
女性	70～74歳	一部の人のためのポイント制度にならないようによく考えてほしい
女性	40～44歳	就業で時間が持てないため、不公平である
男性	65～69歳	税金を使って行うべきではない
女性	45～49歳	ポイント特典のメリットがはっきりしないならば、やらない方が良いと思う
男性	40～44歳	特典目的では、長く継続するのは難しいのではないかと

問1-17 あなたは、健康診査（特定健康診査やがん検診など）を受診していますか。

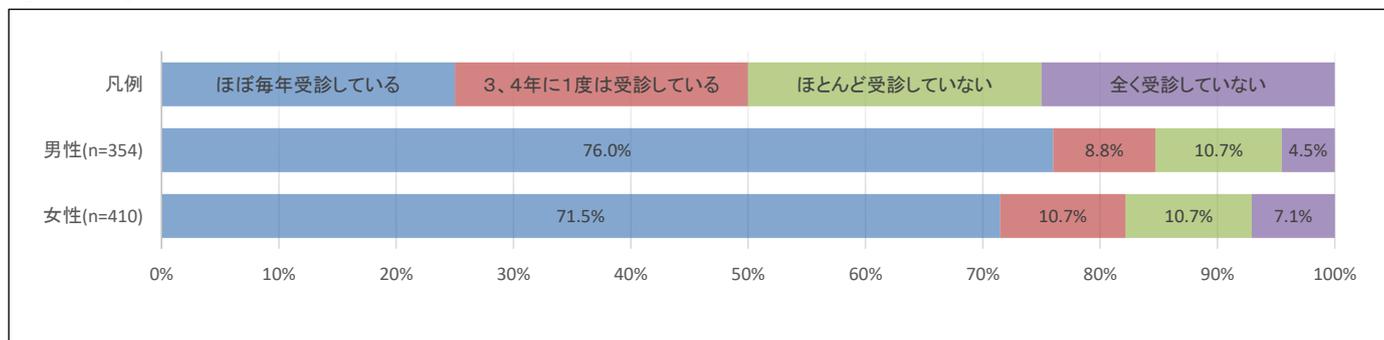
	人数	割合
ほぼ毎年受診している	582	73.5%
3、4年に1度は受診している	78	9.8%
ほとんど受診していない	85	10.7%
全く受診していない	47	5.9%
合計	792	100.0%



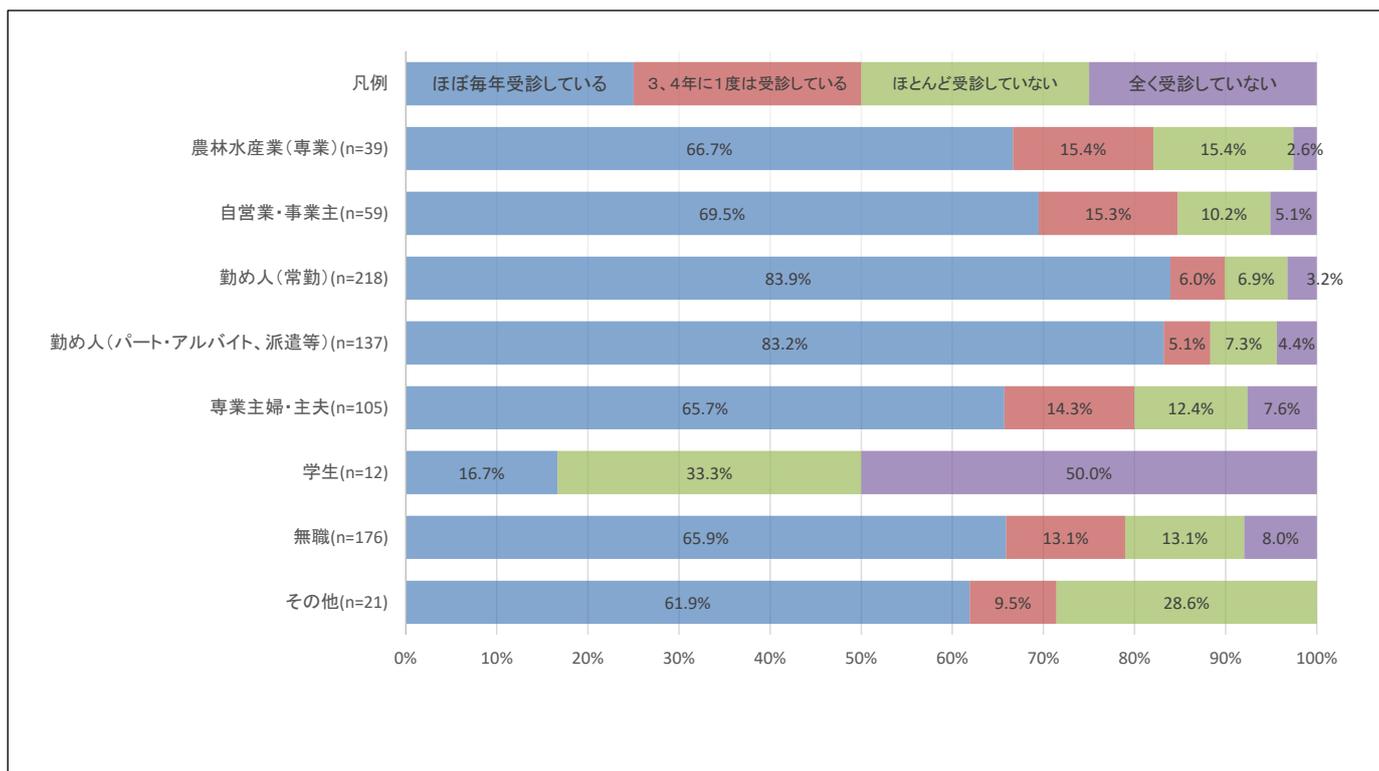
【年代別】



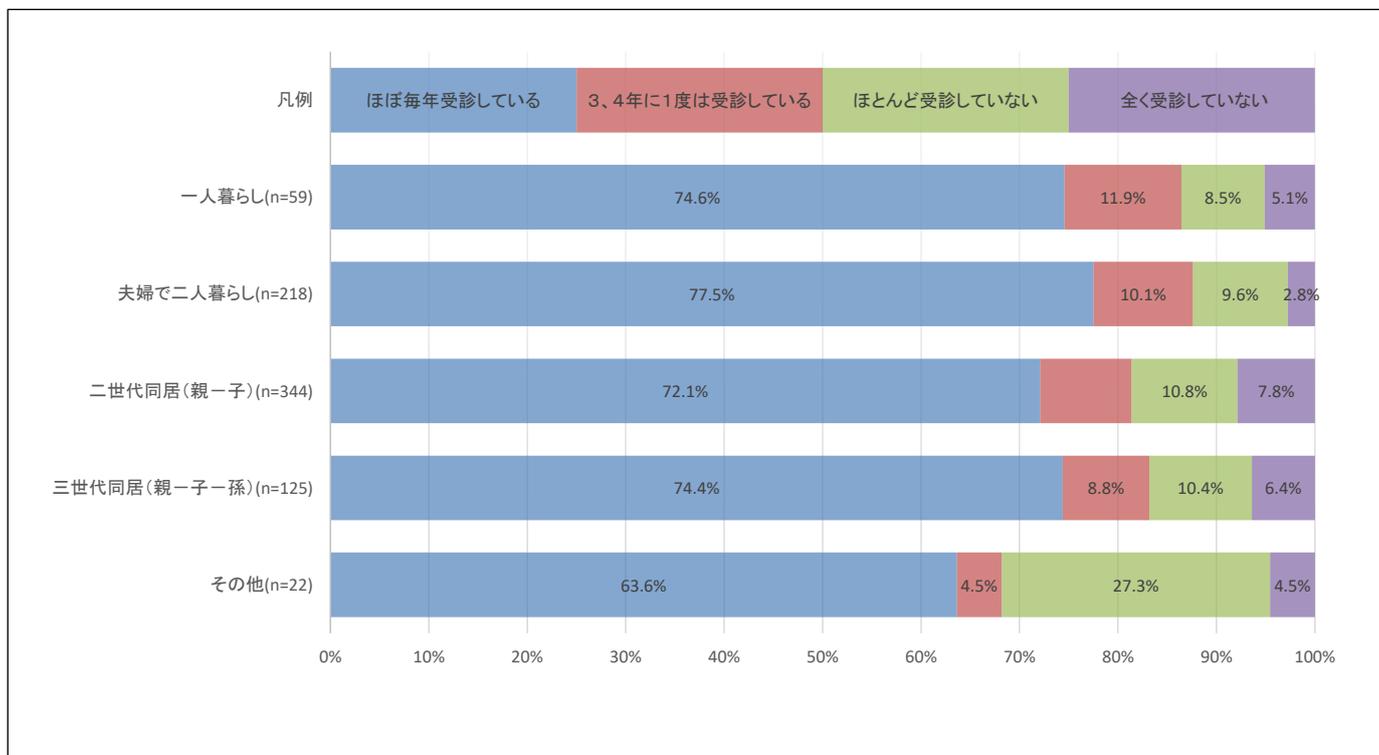
【男女別】



【職業別】

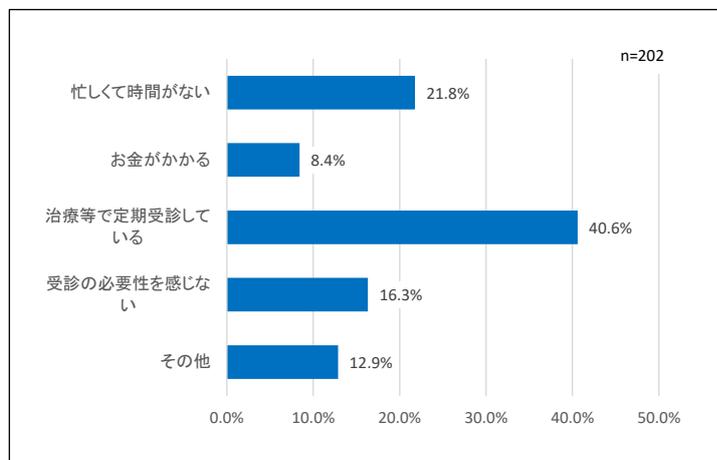


【世帯状況別】



問1-18 問1-17で「2. 3、4年に1度は受診している」、「3. ほとんど受診していない」、
 「4. 全く受診していない」を選んだ方にお伺いします。あなたが、健康診断をほぼ毎年受診
 しない理由は何ですか。

	人数	割合
忙しくて時間がない	44	21.8%
お金がかかる	17	8.4%
治療等で定期受診している	82	40.6%
受診の必要性を感じない	33	16.3%
その他	26	12.9%
合計	202	100.0%

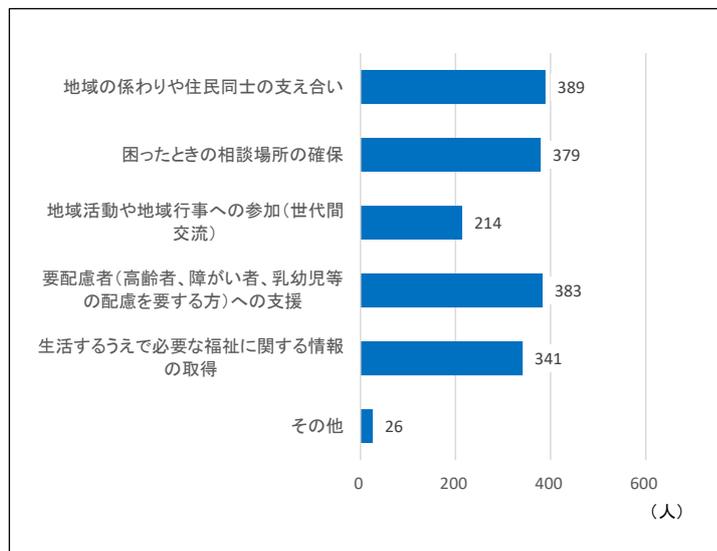


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	70～74歳	自宅で親の介護をしているので、時間が取れない
男性	60～64歳	時間の自由度がない
男性	65～69歳	好きになれない
女性	55～59歳	受診することがストレスになる
男性	50～54歳	申込みをしようと思うが、忘れてしまう

問1-19 あなたが、地域で生活するために（地域福祉の推進に）必要だと感じることはなんですか。（複数回答）

	人数
地域の係わりや住民同士の支え合い	389
困ったときの相談場所の確保	379
地域活動や地域行事への参加（世代間交流）	214
要配慮者（高齢者、障がい者、乳幼児等の配慮を要する方）への支援	383
生活するうえで必要な福祉に関する情報の取得	341
その他	26



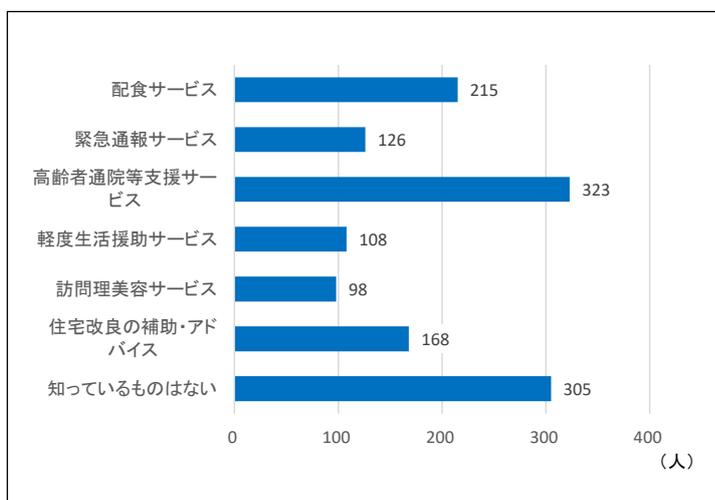
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	50～54歳	「あづみん」の利便性を向上させる
男性	30～34歳	担当職員の現場訪問
女性	75歳以上	高齢者の移動手段の確保
男性	35～39歳	ボランティア活動の活性化
男性	35～39歳	運動施設の充実
女性	65～69歳	健全な1人高齢者に関しては、市や社協は見守りのみでよい
女性	40～44歳	世代間交流の推進を図る

問 1-20 市が実施している高齢者福祉事業で、あなたが知っているものはどれですか。(複数回答)

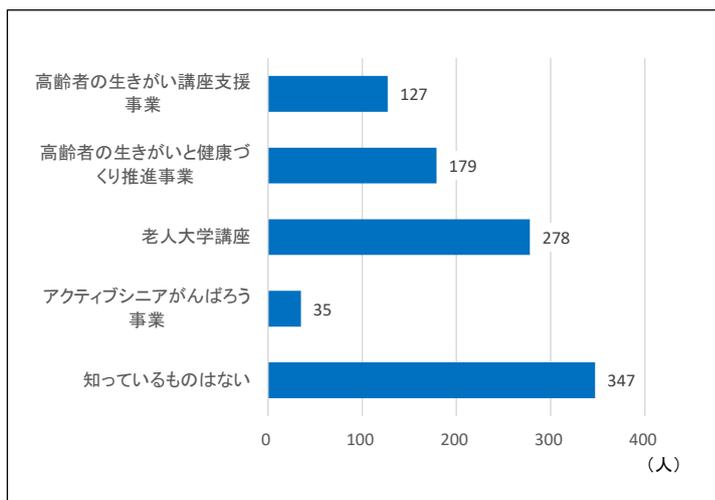
【①在宅高齢者福祉サービス】

	人数
配食サービス	215
緊急通報サービス	126
高齢者通院等支援サービス	323
軽度生活援助サービス	108
訪問理美容サービス	98
住宅改良の補助・アドバイス	168
知っているものはない	305



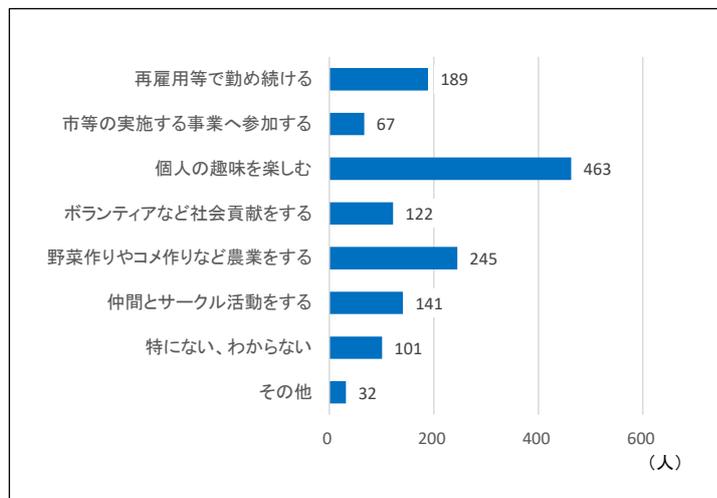
【②高齢者の生きがいづくり支援サービス】

	人数
高齢者の生きがい講座支援事業	127
高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	179
老人大学講座	278
アクティブシニアがんばろう事業	35
知っているものはない	347



問1-21 あなたは、今の仕事を辞めたあと、したいことはありますか。また、既に辞められている方は、どのように過ごしていますか。(複数回答)

	人数
再雇用等で勤め続ける	189
市等の実施する事業へ参加する	67
個人の趣味を楽しむ	463
ボランティアなど社会貢献をする	122
野菜作りやコメ作りなど農業をする	245
仲間とサークル活動をする	141
特にない、わからない	101
その他	32



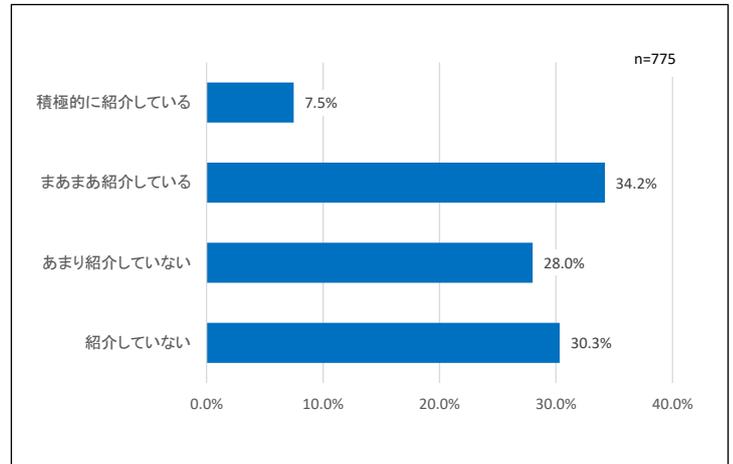
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	農業支援
女性	35～39歳	起業
女性	55～59歳	孫や親の世話
女性	35～39歳	資格取得の勉強
男性	75歳以上	妻の介護
女性	25～29歳	子育て

3 「魅力ある産業を維持・創造するまち」について（観光・農業分野）

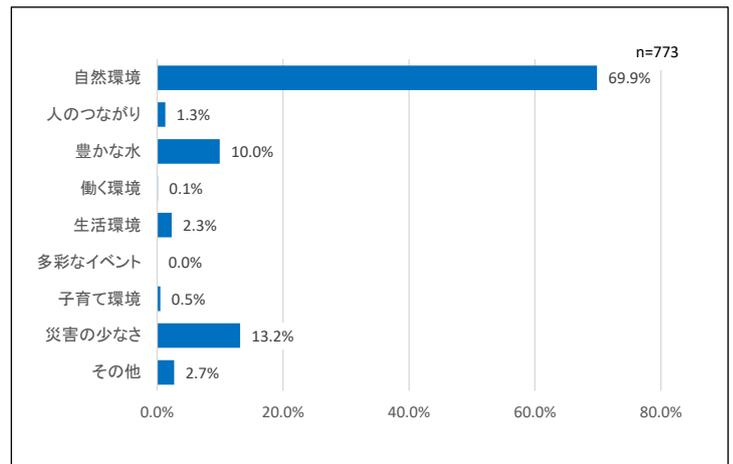
問 2-1 あなたは、安曇野市の魅力を市外の友人や知人に紹介していますか。

	人数	割合
積極的に紹介している	58	7.5%
まあまあ紹介している	265	34.2%
あまり紹介していない	217	28.0%
紹介していない	235	30.3%
合計	775	100.0%



問 2-2 あなたが市外の友人等に誇れる「安曇野市の魅力」はどこですか。

	人数	割合
自然環境	540	69.9%
人のつながり	10	1.3%
豊かな水	77	10.0%
働く環境	1	0.1%
生活環境	18	2.3%
多彩なイベント	0	0.0%
子育て環境	4	0.5%
災害の少なさ	102	13.2%
その他	21	2.7%
合計	773	100.0%

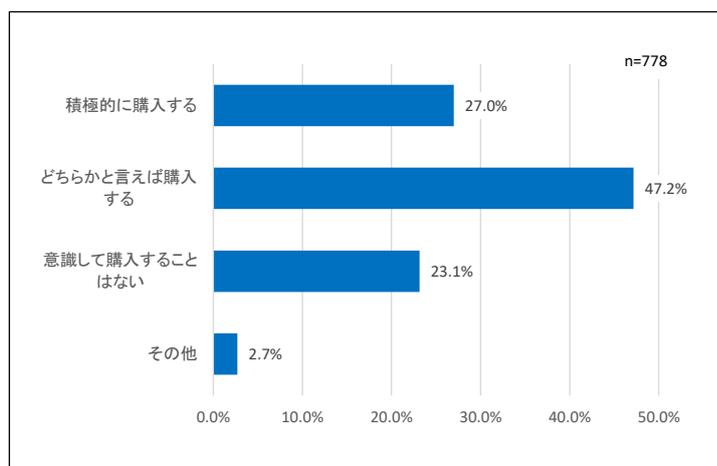


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	25～29歳	観光
男性	25～29歳	特になし
男性	35～39歳	景観
男性	18～24歳	工芸品
女性	40～44歳	「あづみん」があること

問 2-3 あなたは、日頃、地元産農産物を購入しますか。

	人数	割合
積極的に購入する	210	27.0%
どちらかと言えば購入する	367	47.2%
意識して購入することはない	180	23.1%
その他	21	2.7%
合計	778	100.0%

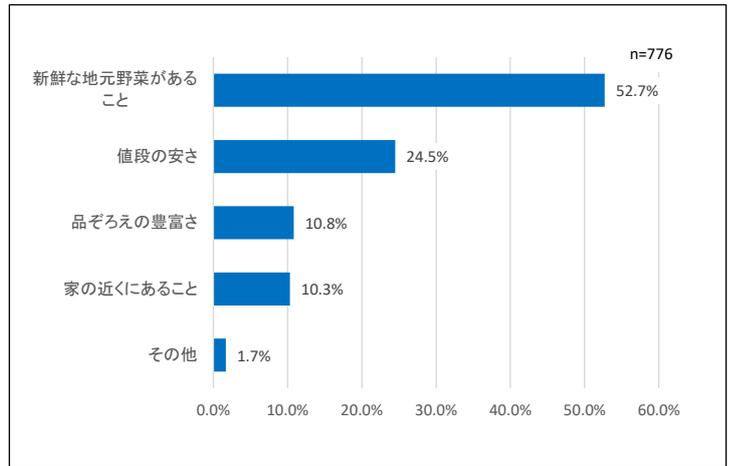


■ 「その他」の主な意見等

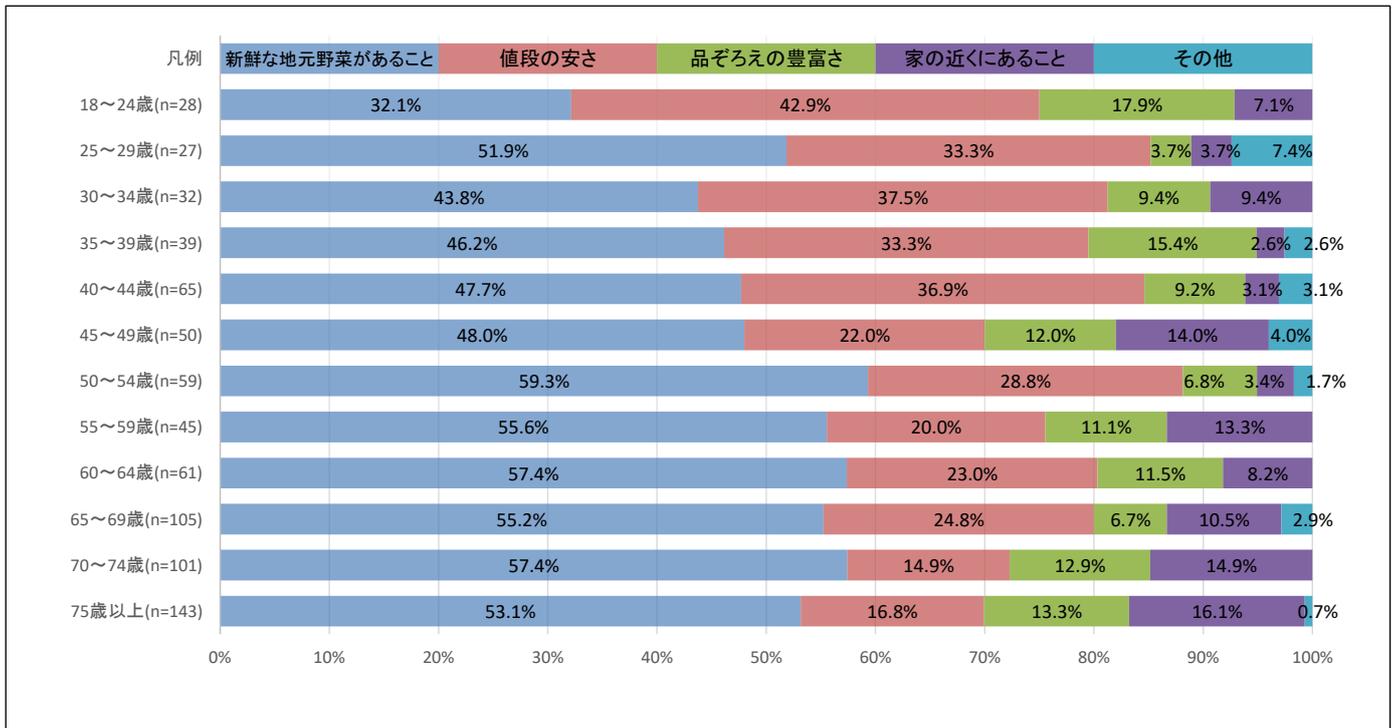
性別	年代	主な意見等
女性	50～54歳	安ければ買う
女性	65～69歳	自作しているので、あまり購入しない

問 2-4 あなたが、市内の直売所・加工所に求めることはなんですか。

	人数	割合
新鮮な地元野菜があること	409	52.7%
値段の安さ	190	24.5%
品ぞろえの豊富さ	84	10.8%
家の近くにあること	80	10.3%
その他	13	1.7%
合計	776	100.0%



【年代別】

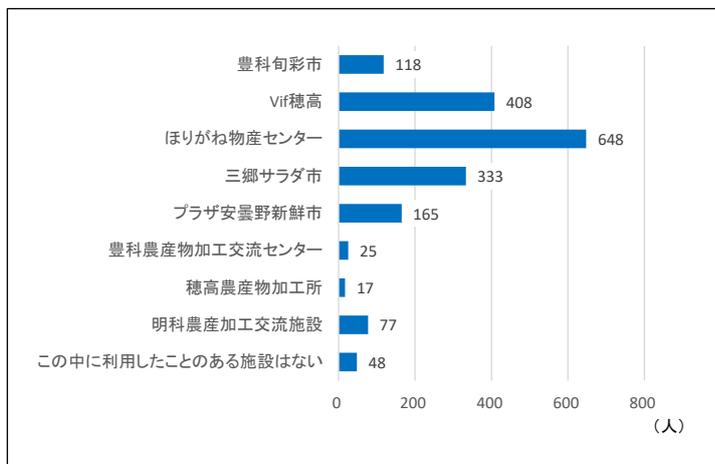


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	65～69歳	安心、安全な低農薬
男性	25～29歳	今の現状に満足している
男性	65～69歳	安心、安全で美味しいこと
女性	35～39歳	その店でしか求められない特別感

問2-5 あなたが、利用したことのある直売所・加工所を教えてください。(複数回答)

	人数
豊科旬彩市	118
Vif穂高	408
ほりがね物産センター	648
三郷サラダ市	333
プラザ安曇野新鮮市	165
豊科農産物加工交流センター	25
穂高農産物加工所	17
明科農産加工交流施設	77
この中に利用したことのある施設はない	48



【年代別】

	回答者数 (人)	豊科旬彩市	Vif穂高	ほりがね物産センター	三郷サラダ市	プラザ安曇野新鮮市	豊科農産物加工交流センター	穂高農産物加工所	明科農産加工交流施設	この中に利用したことのある施設はない
18～24歳	28	7.1%	25.0%	57.1%	17.9%	14.3%	3.6%	0.0%	0.0%	21.4%
25～29歳	27	18.5%	40.7%	59.3%	18.5%	11.1%	0.0%	0.0%	7.4%	14.8%
30～34歳	32	9.4%	40.6%	68.8%	43.8%	6.3%	0.0%	0.0%	9.4%	18.8%
35～39歳	39	15.4%	35.9%	74.4%	33.3%	12.8%	0.0%	5.1%	2.6%	17.9%
40～44歳	67	11.9%	58.2%	85.1%	43.3%	7.5%	0.0%	1.5%	6.0%	9.0%
45～49歳	50	18.0%	42.0%	84.0%	50.0%	10.0%	0.0%	2.0%	8.0%	4.0%
50～54歳	59	20.3%	52.5%	84.7%	40.7%	13.6%	0.0%	0.0%	11.9%	10.2%
55～59歳	46	10.9%	50.0%	84.8%	45.7%	30.4%	0.0%	2.2%	17.4%	0.0%
60～64歳	61	23.0%	67.2%	90.2%	44.3%	24.6%	6.6%	4.9%	11.5%	4.9%
65～69歳	105	18.1%	62.9%	93.3%	52.4%	29.5%	8.6%	3.8%	14.3%	0.0%
70～74歳	102	9.8%	58.8%	87.3%	40.2%	30.4%	2.9%	2.9%	6.9%	1.0%
75歳以上	149	14.1%	45.0%	79.2%	44.3%	26.8%	5.4%	1.3%	11.4%	4.0%

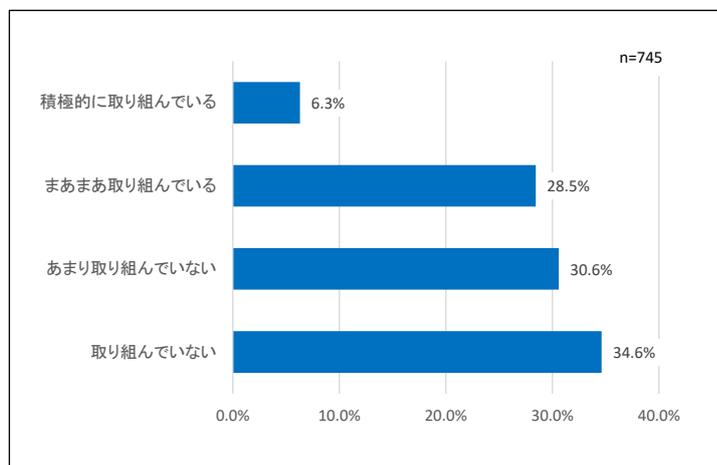
※回答者に占める割合

4 「安全・安心で快適なまち」について（景観・防災・住環境などの分野）

●あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。

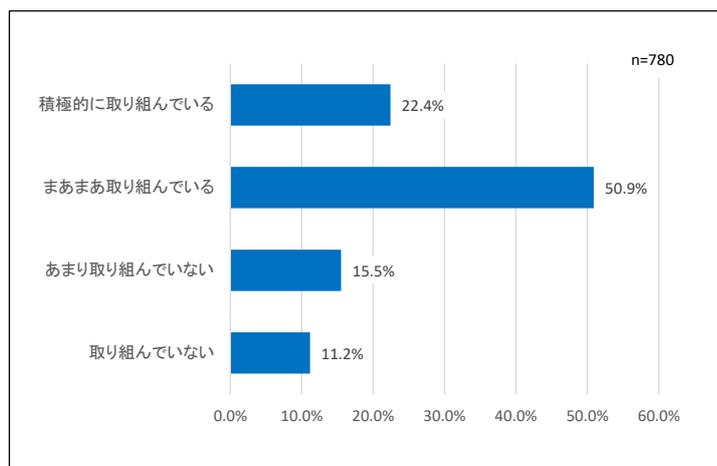
設問番号1 市街地の緑化や美化活動

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	47	6.3%
まあまあ取り組んでいる	212	28.5%
あまり取り組んでいない	228	30.6%
取り組んでいない	258	34.6%
合計	745	100.0%



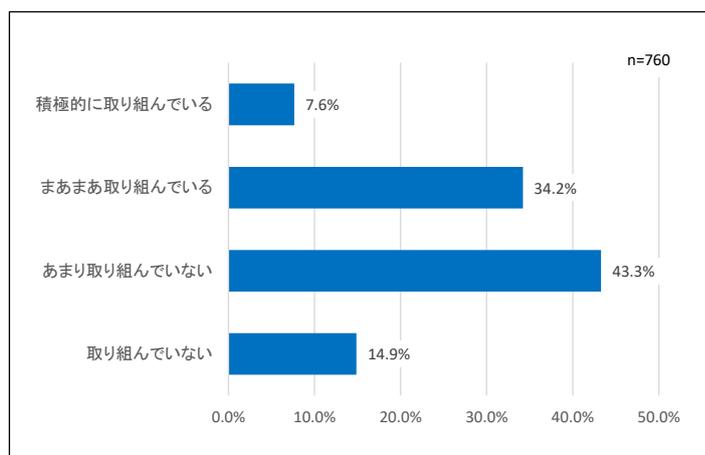
設問番号2 家のまわりの手入れを行うなど、美しい景観を守ること

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	175	22.4%
まあまあ取り組んでいる	397	50.9%
あまり取り組んでいない	121	15.5%
取り組んでいない	87	11.2%
合計	780	100.0%

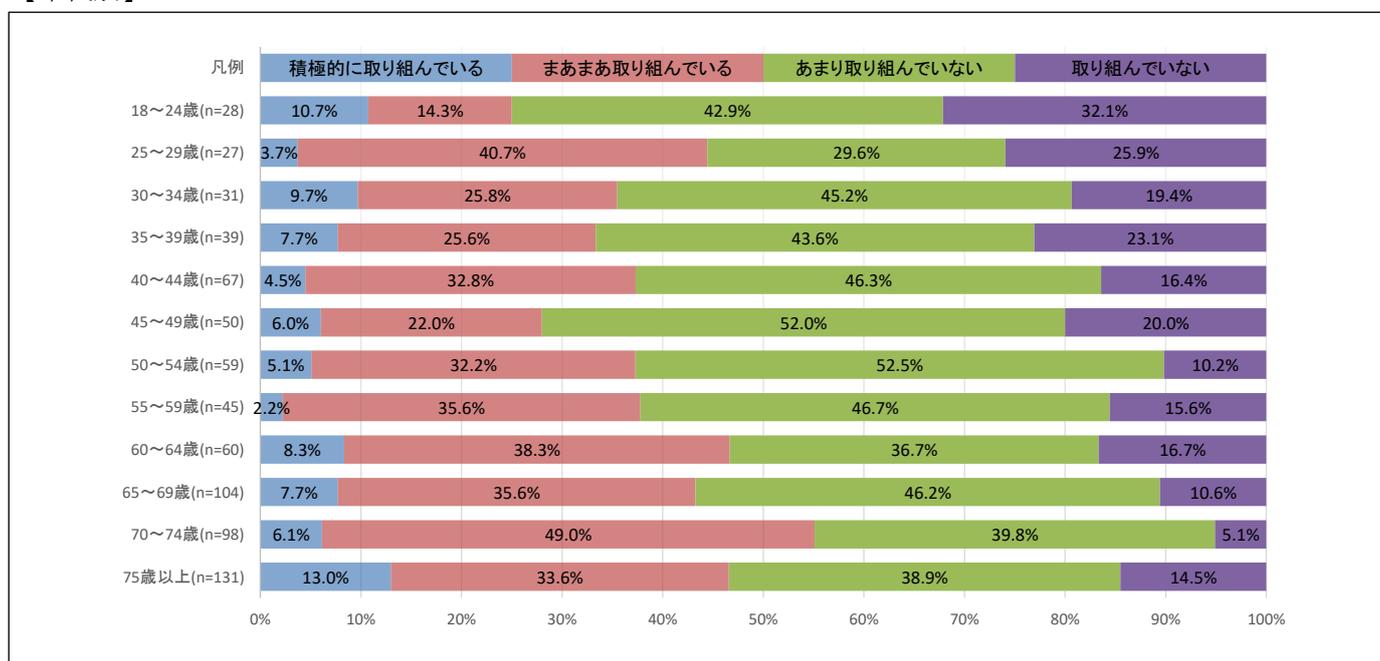


設問番号3 地震や台風などの災害への備え

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	58	7.6%
まあまあ取り組んでいる	260	34.2%
あまり取り組んでいない	329	43.3%
取り組んでいない	113	14.9%
合計	760	100.0%

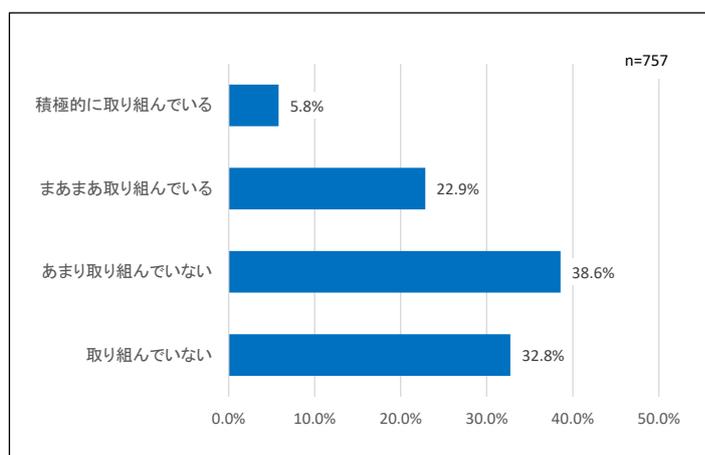


【年代別】

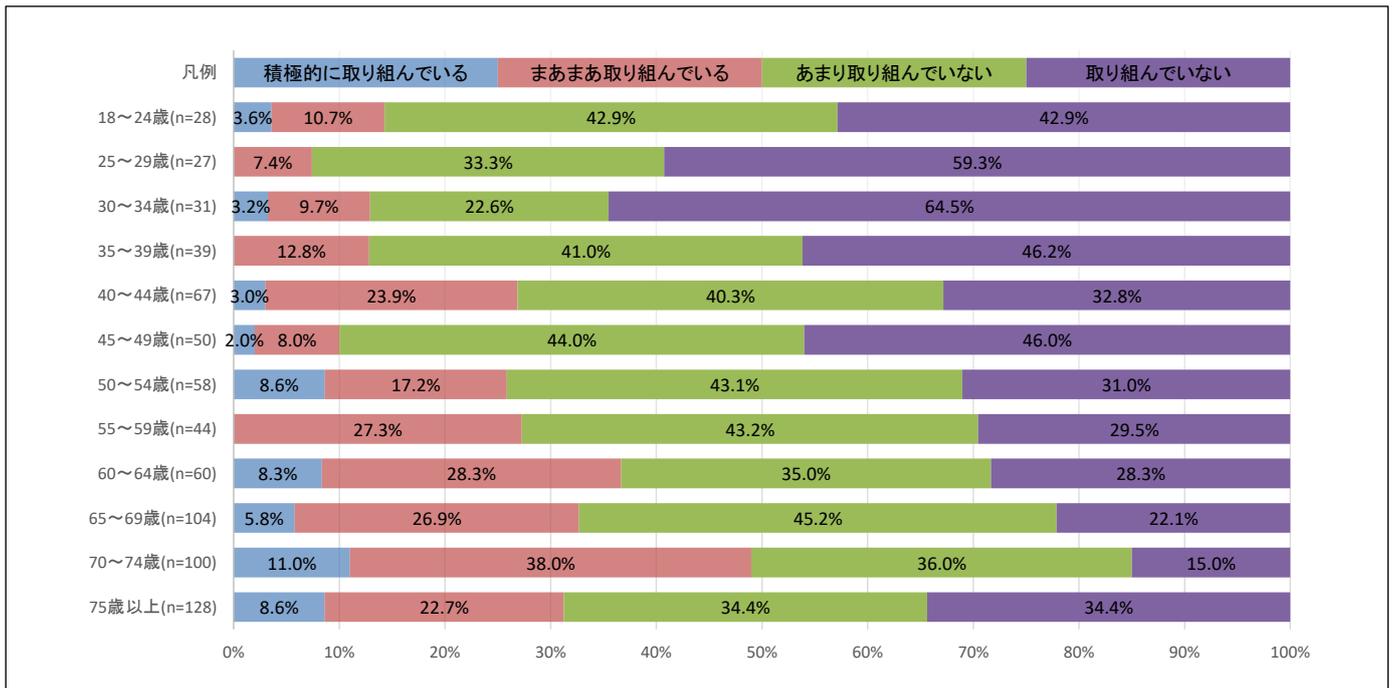


設問番号4 地域の自主的な防災活動への参加

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	44	5.8%
まあまあ取り組んでいる	173	22.9%
あまり取り組んでいない	292	38.6%
取り組んでいない	248	32.8%
合計	757	100.0%



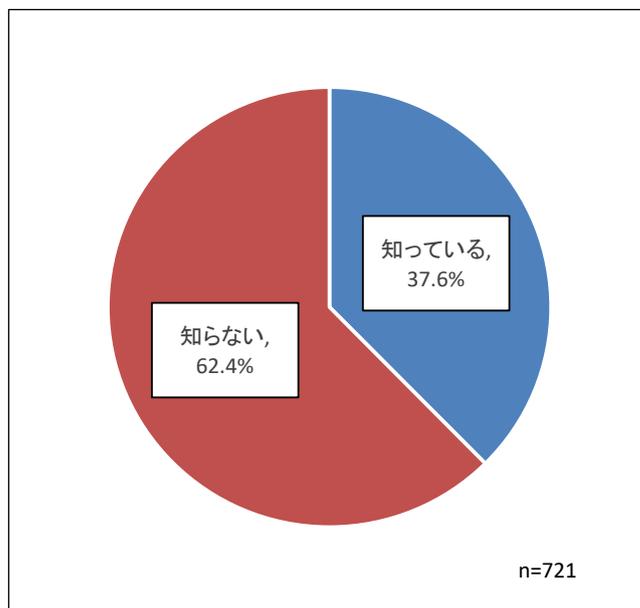
【年代別】



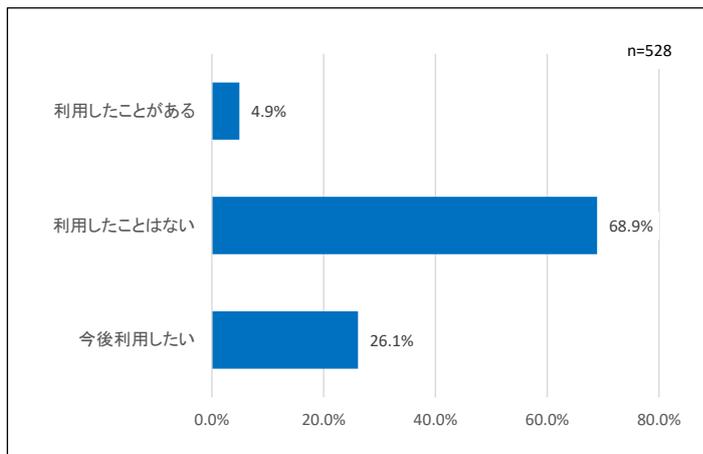
問3-5 あなたは、市で実施している住宅関係の助成制度について、知っていますか。
また、利用したことがありますか。

●住宅耐震改修促進事業

	人数	割合
知っている	271	37.6%
知らない	450	62.4%
合計	721	100.0%

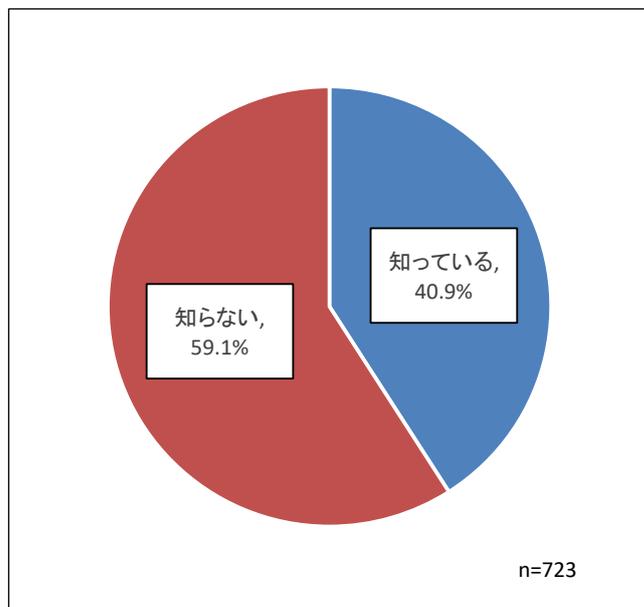


	人数	割合
利用したことがある	26	4.9%
利用したことはない	364	68.9%
今後利用したい	138	26.1%
合計	528	100.0%

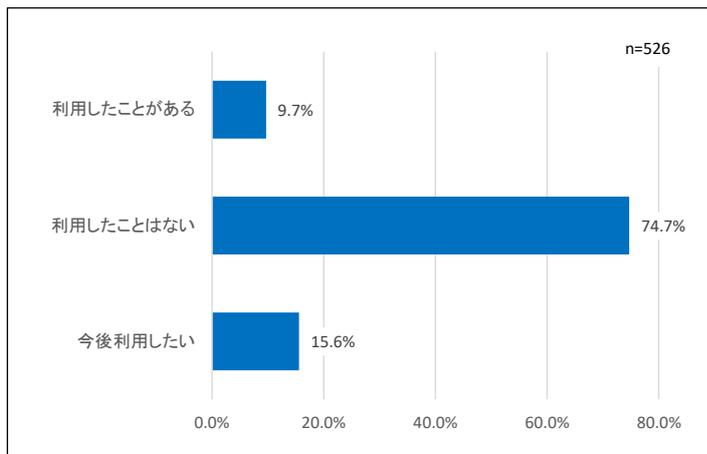


●住宅用太陽光発電システム設置補助金

	人数	割合
知っている	296	40.9%
知らない	427	59.1%
合計	723	100.0%

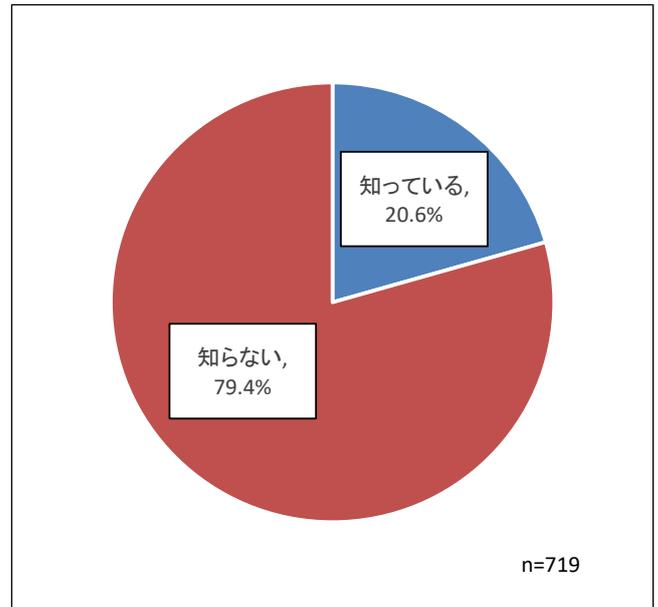


	人数	割合
利用したことがある	51	9.7%
利用したことはない	393	74.7%
今後利用したい	82	15.6%
合計	526	100.0%

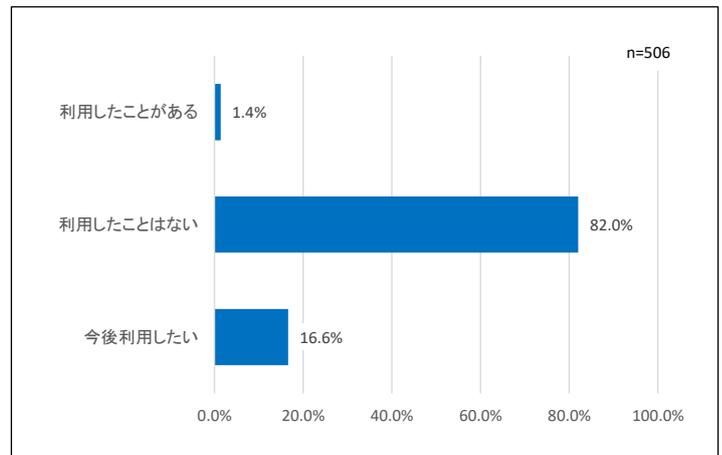


●住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金

	人数	割合
知っている	148	20.6%
知らない	571	79.4%
合計	719	100.0%

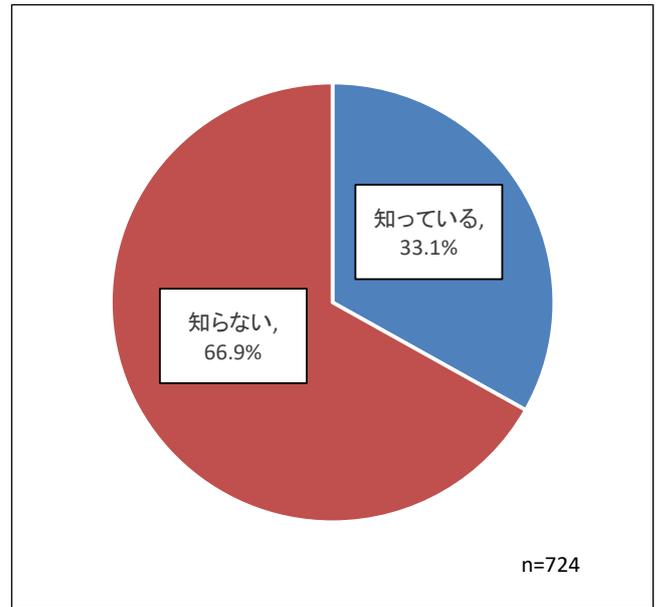


	人数	割合
利用したことがある	7	1.4%
利用したことはない	415	82.0%
今後利用したい	84	16.6%
合計	506	100.0%

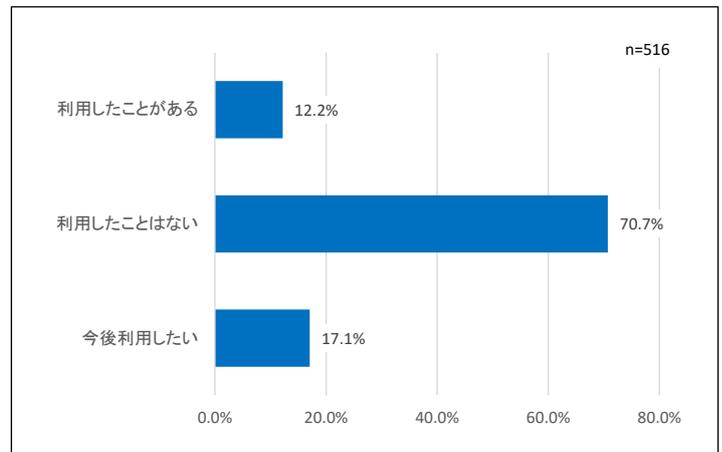


●緑化推進記念樹等交付

	人数	割合
知っている	240	33.1%
知らない	484	66.9%
合計	724	100.0%

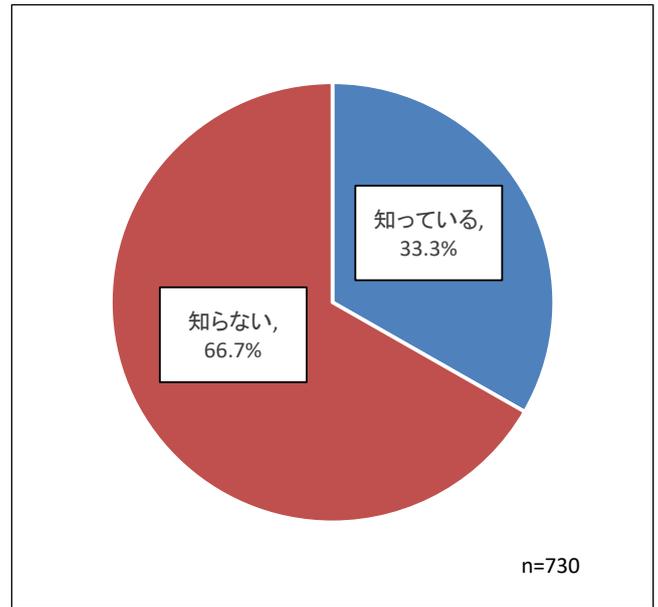


	人数	割合
利用したことがある	63	12.2%
利用したことはない	365	70.7%
今後利用したい	88	17.1%
合計	516	100.0%

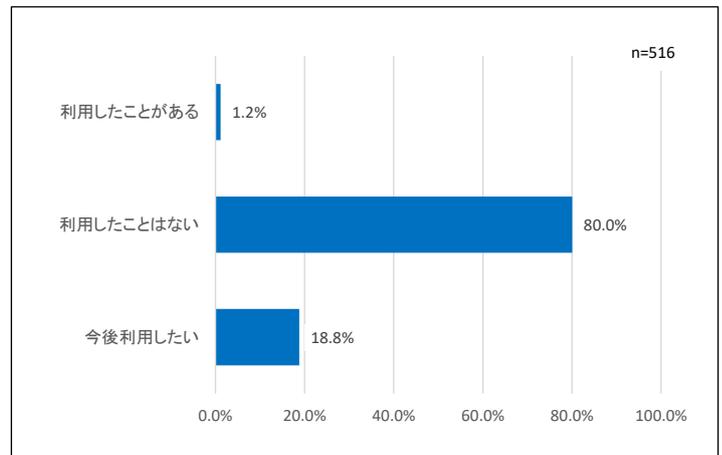


●生垣設置補助金・ブロック塀撤去補助金

	人数	割合
知っている	243	33.3%
知らない	487	66.7%
合計	730	100.0%

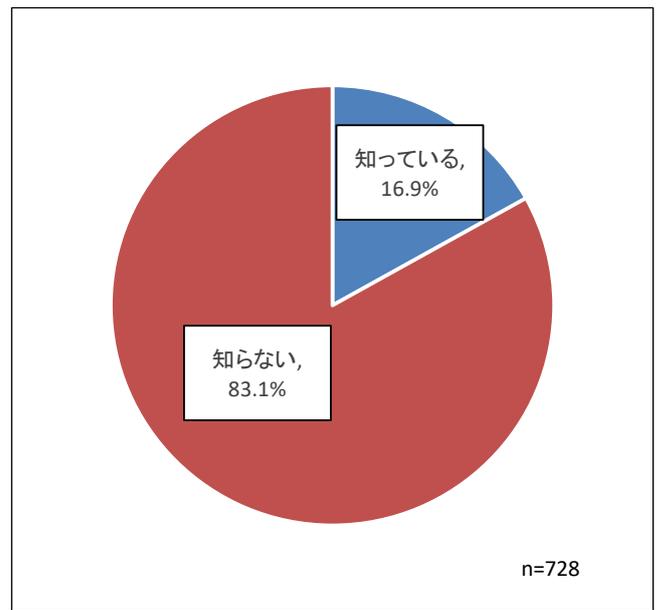


	人数	割合
利用したことがある	6	1.2%
利用したことはない	413	80.0%
今後利用したい	97	18.8%
合計	516	100.0%

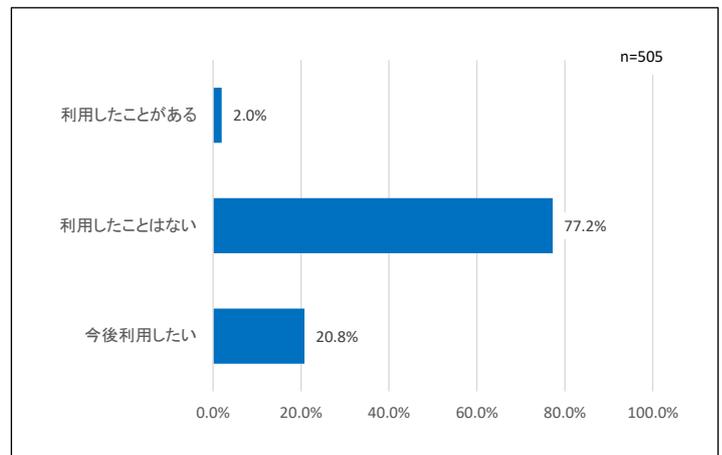


●住宅用雨水貯留施設設置補助金

	人数	割合
知っている	123	16.9%
知らない	605	83.1%
合計	728	100.0%

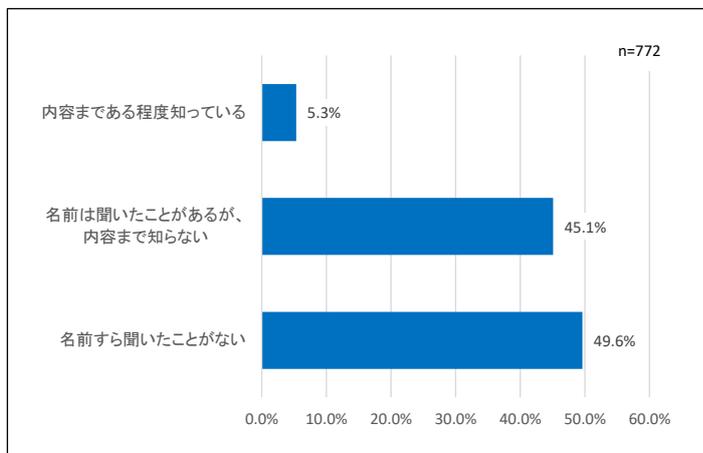


	人数	割合
利用したことがある	10	2.0%
利用したことはない	390	77.2%
今後利用したい	105	20.8%
合計	505	100.0%



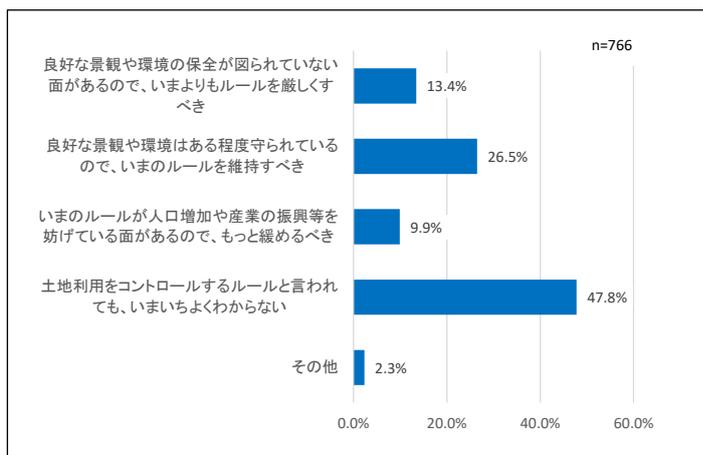
問3-6 あなたは、平成23年4月から施行されている「安曇野市の適正な土地利用に関する条例」や、それに基づく「安曇野市土地利用基本計画」を知っていますか。

	人数	割合
内容まである程度知っている	41	5.3%
名前は聞いたことがあるが、内容まで知らない	348	45.1%
名前すら聞いたことがない	383	49.6%
合計	772	100.0%



問3-7 安曇野市の土地利用をコントロールするルール（主に新たな開発等に対する規制）の現状と今後のあり方として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	人数	割合
良好な景観や環境の保全が図られていない面があるので、いまよりもルールを厳しくすべき	103	13.4%
良好な景観や環境はある程度守られているので、いまのルールを維持すべき	203	26.5%
いまのルールが人口増加や産業の振興等を妨げている面があるので、もっと緩めるべき	76	9.9%
土地利用をコントロールするルールと言われても、いまいちよくわからない	366	47.8%
その他	18	2.3%
合計	766	100.0%



■「その他」の主な意見等

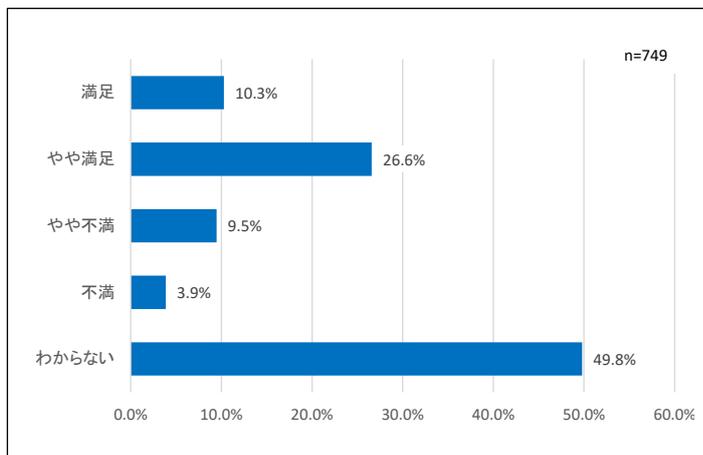
性別	年代	主な意見等
男性	35～39歳	景観を市の魅力とするのであれば、電柱を撤廃すべき
女性	70～74歳	飲料水の工場の規制を厳しくしてほしい
男性	65～69歳	一律に利用をコントロールするのではなく、環境や時代の変化に対応したルールとすべき

5 「学び合い 人と文化を育むまち」について（教育・生涯学習・交流活動などの分野）

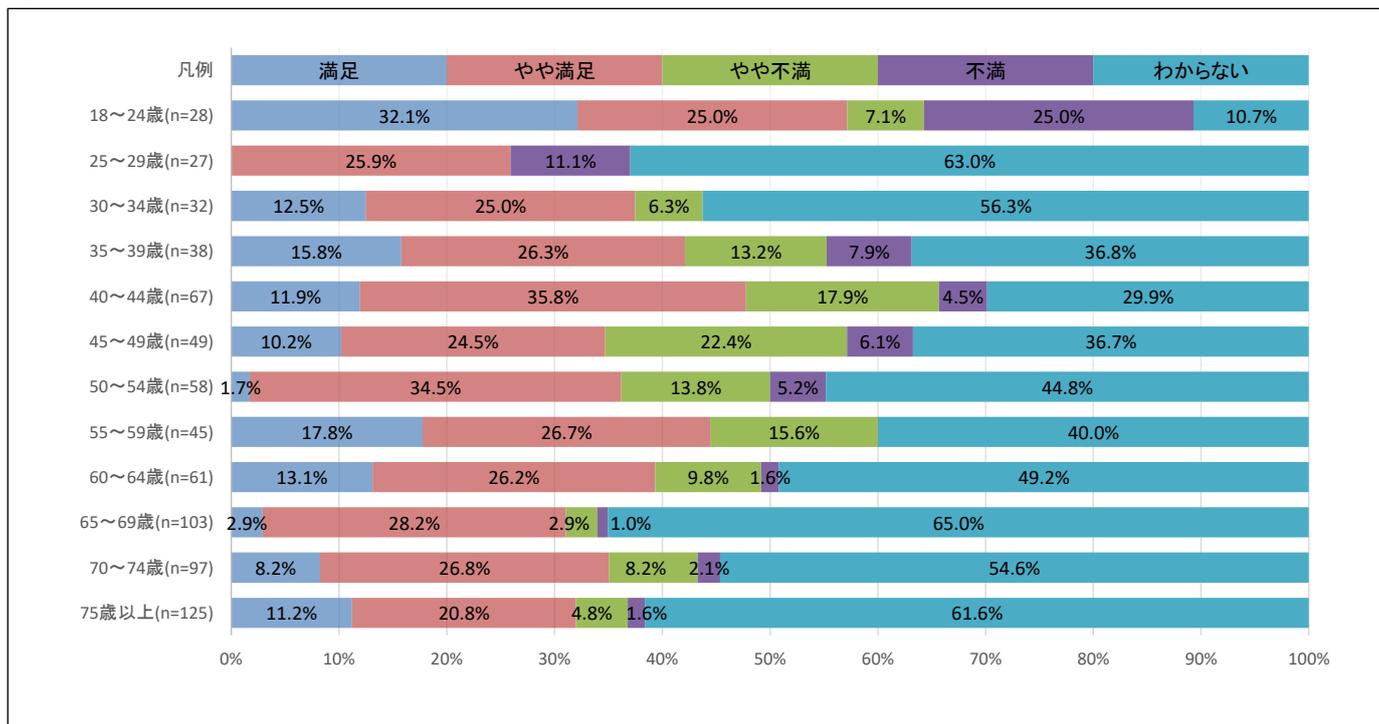
●あなたは、次の市の取組状況についてどのように感じていますか。

設問番号1 小中学校での教育

	人数	割合
満足	77	10.3%
やや満足	199	26.6%
やや不満	71	9.5%
不満	29	3.9%
わからない	373	49.8%
合計	749	100.0%

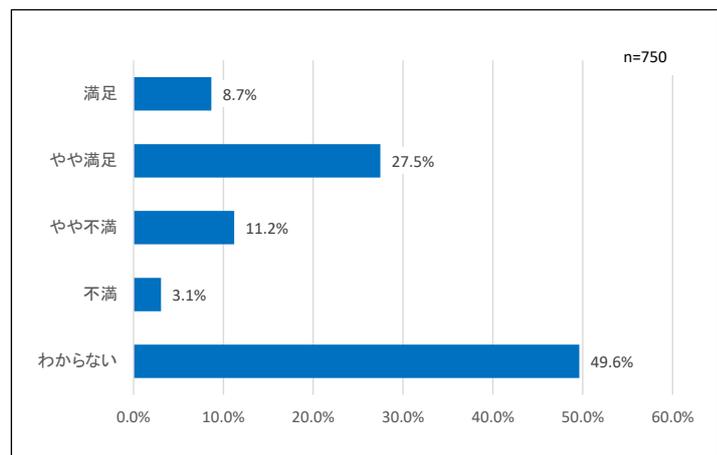


【年代別】

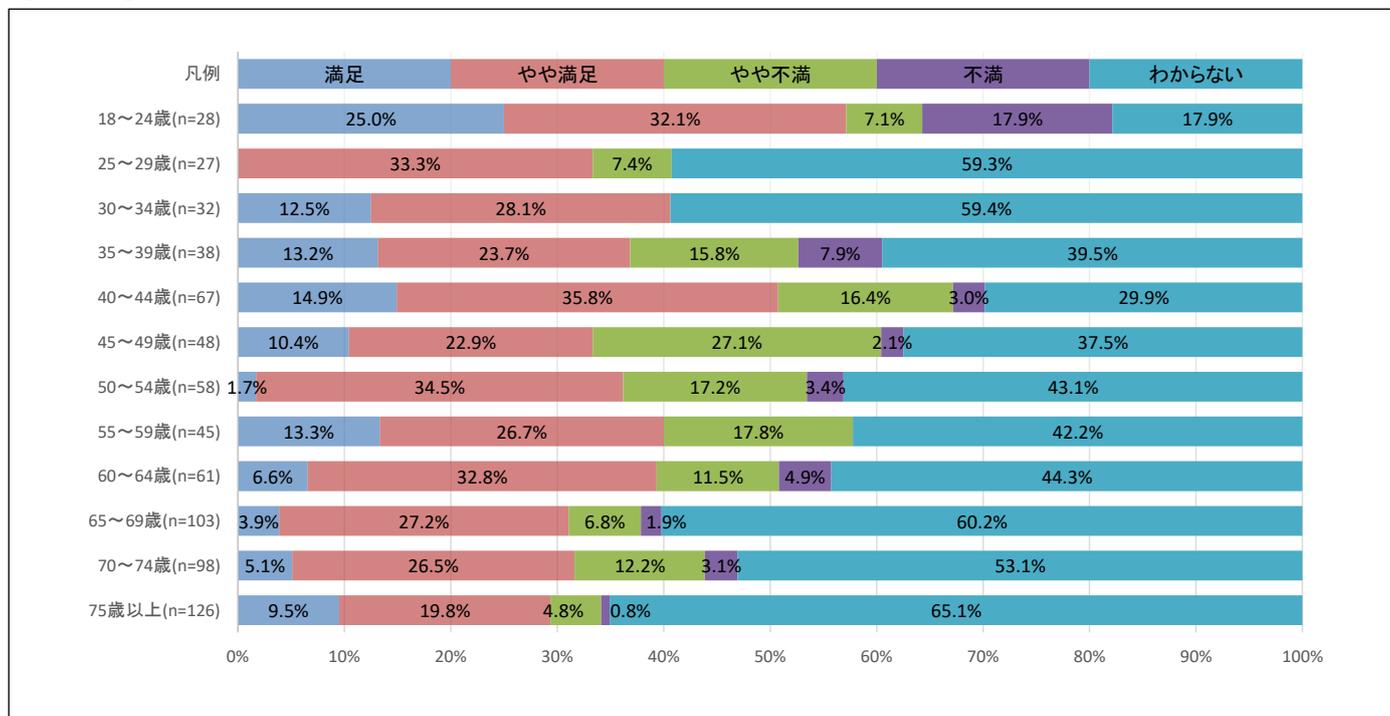


設問番号 2 小中学校と地域の連携

	人数	割合
満足	65	8.7%
やや満足	206	27.5%
やや不満	84	11.2%
不満	23	3.1%
わからない	372	49.6%
合計	750	100.0%

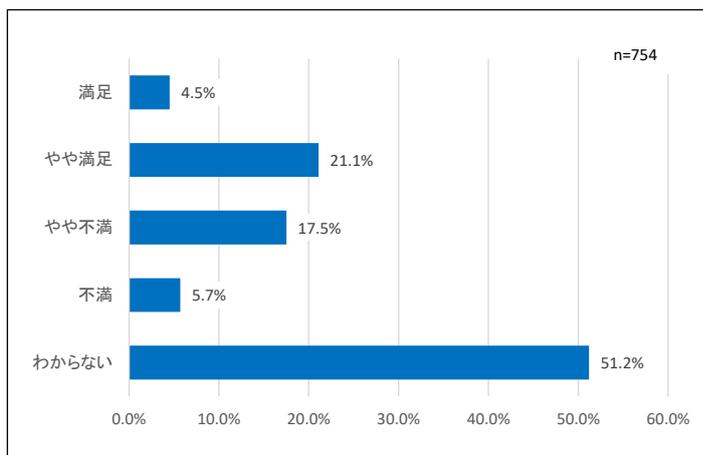


【年代別】

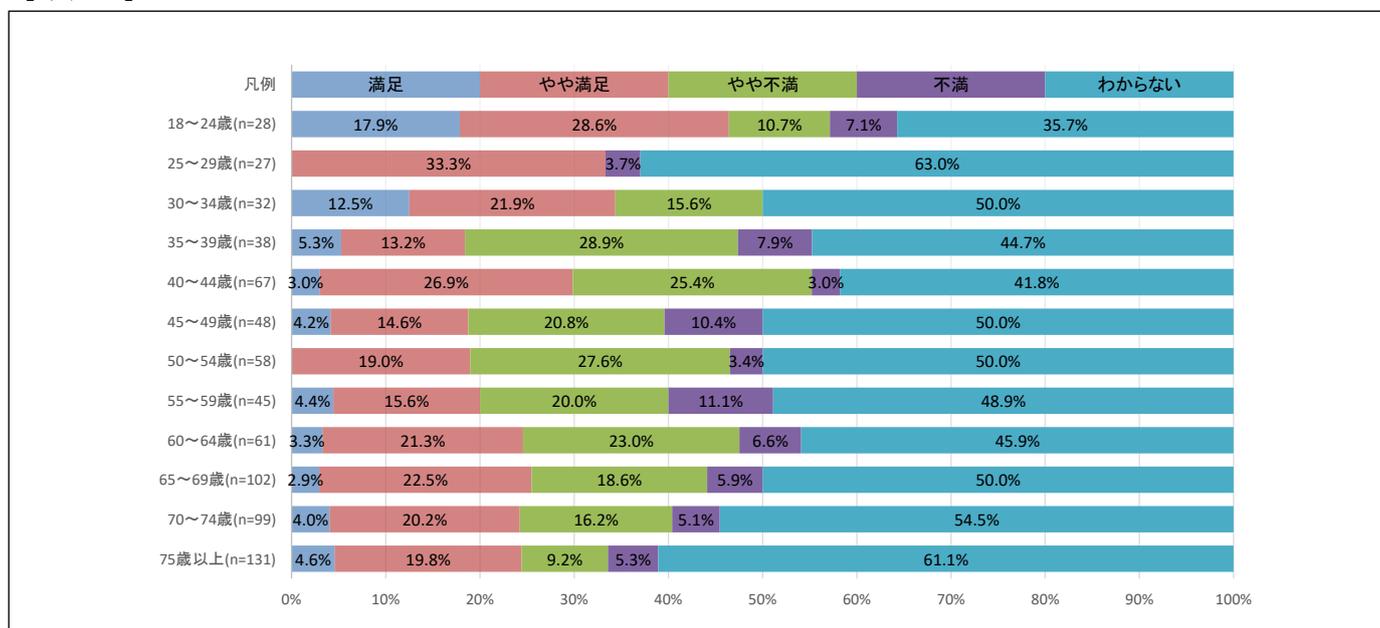


設問番号3 年代に関わらない、学びの機会の提供

	人数	割合
満足	34	4.5%
やや満足	159	21.1%
やや不満	132	17.5%
不満	43	5.7%
わからない	386	51.2%
合計	754	100.0%

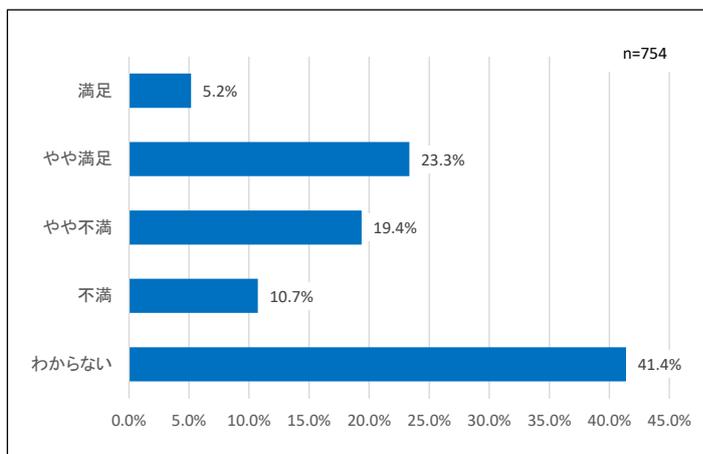


【年代別】



設問番号4 スポーツを楽しめる環境

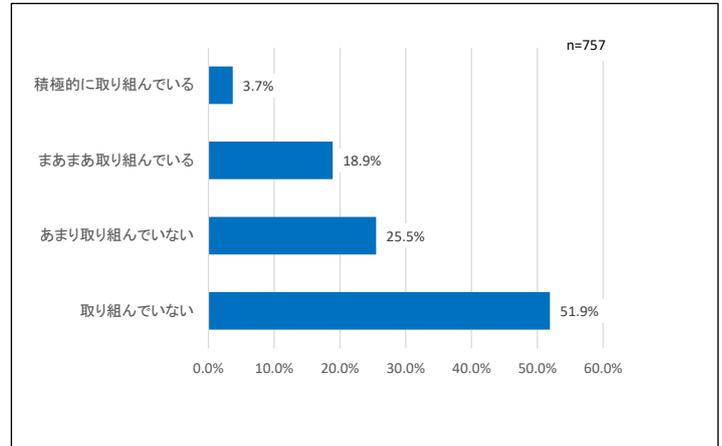
	人数	割合
満足	39	5.2%
やや満足	176	23.3%
やや不満	146	19.4%
不満	81	10.7%
わからない	312	41.4%
合計	754	100.0%



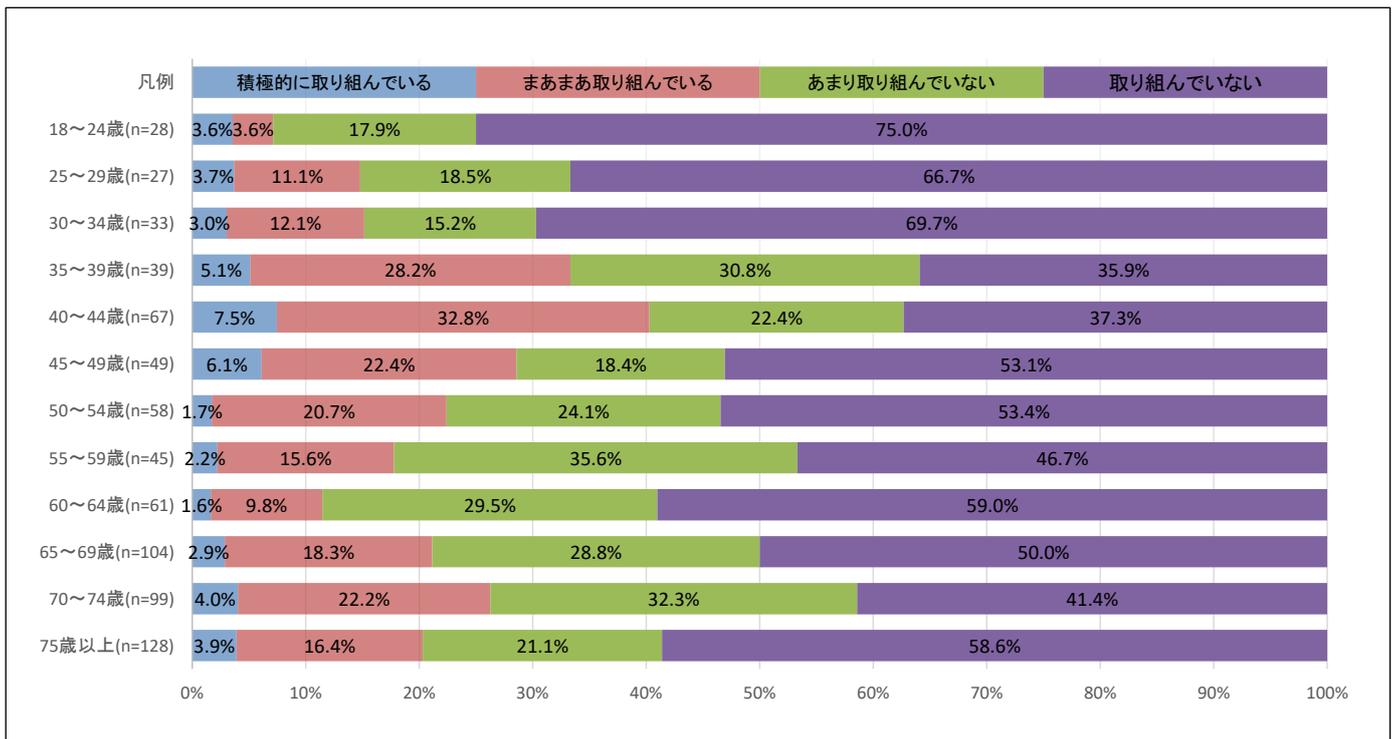
●あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。

設問番号 5 地域の子どもの健全育成

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	28	3.7%
まあまあ取り組んでいる	143	18.9%
あまり取り組んでいない	193	25.5%
取り組んでいない	393	51.9%
合計	757	100.0%

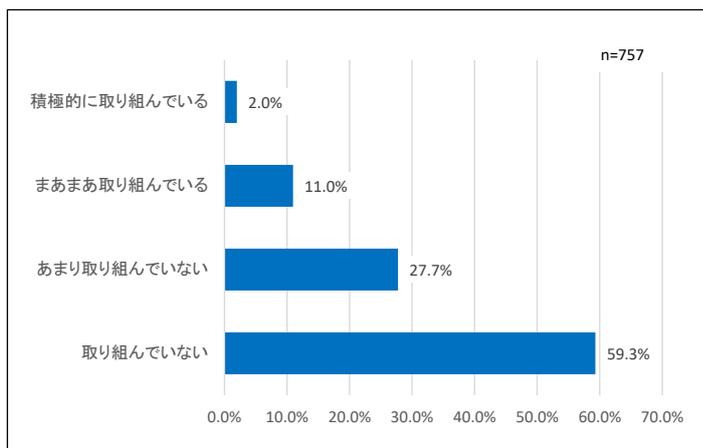


【年代別】

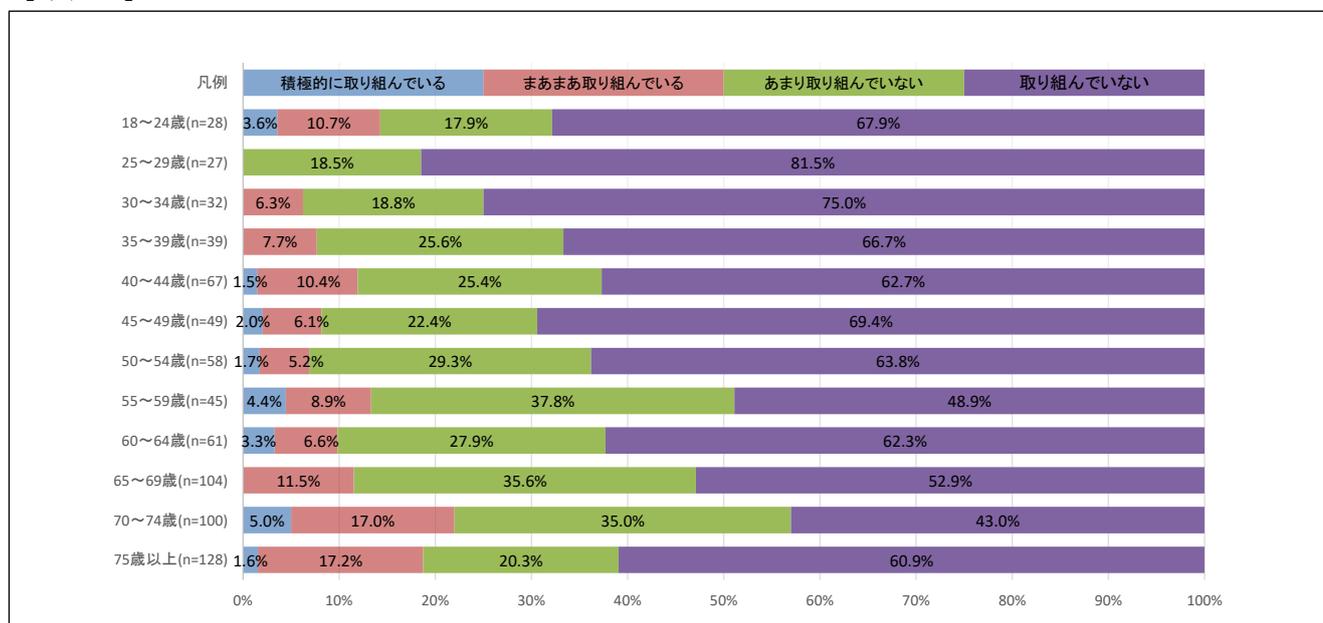


設問番号6 公民館などで学んだ知識の地域づくりへの還元

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	15	2.0%
まあまあ取り組んでいる	83	11.0%
あまり取り組んでいない	210	27.7%
取り組んでいない	449	59.3%
合計	757	100.0%

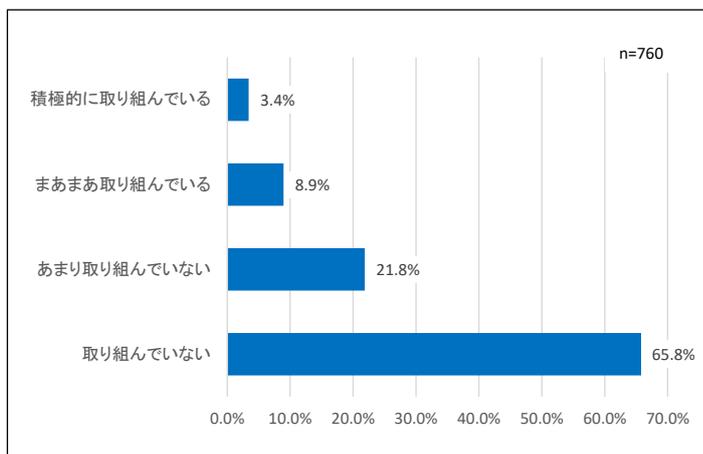


【年代別】

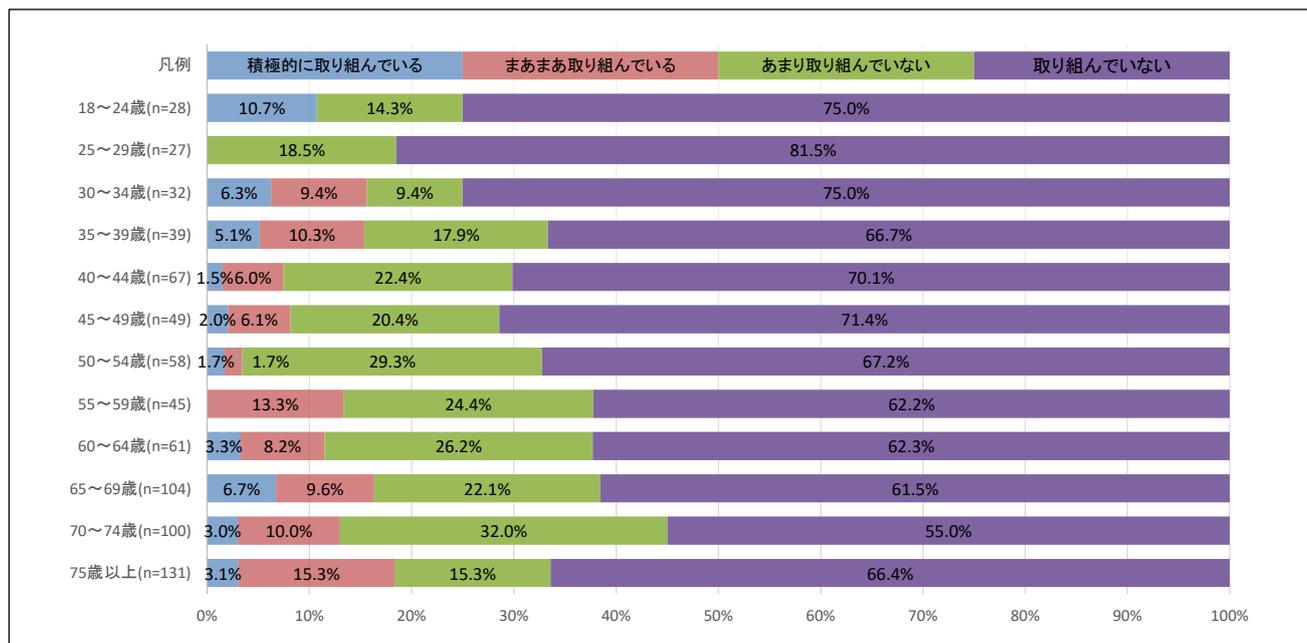


設問番号7 生涯学習への取組（過去5年間）

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	26	3.4%
まあまあ取り組んでいる	68	8.9%
あまり取り組んでいない	166	21.8%
取り組んでいない	500	65.8%
合計	760	100.0%

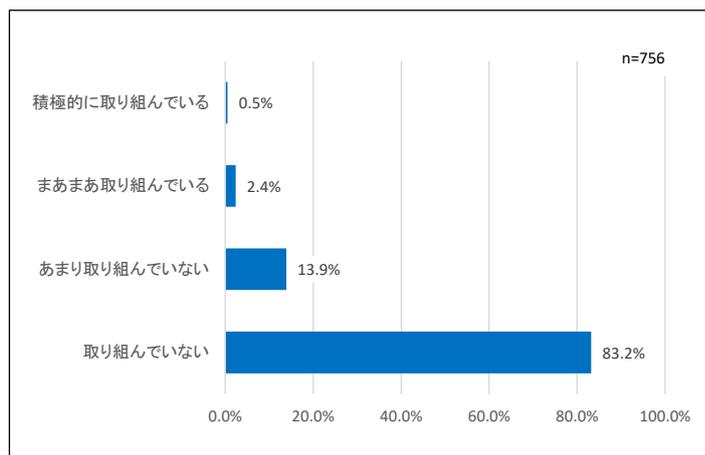


【年代別】

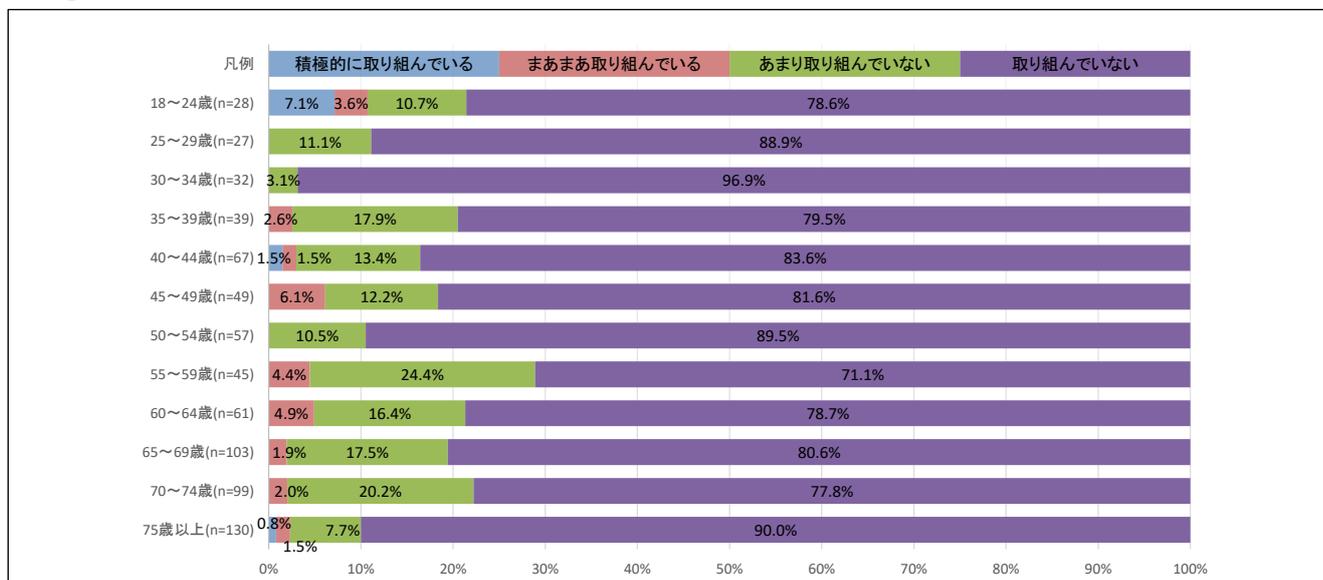


設問番号 8 国際交流イベントへの参加

	人数	割合
積極的に取り組んでいる	4	0.5%
まあまあ取り組んでいる	18	2.4%
あまり取り組んでいない	105	13.9%
取り組んでいない	629	83.2%
合計	756	100.0%

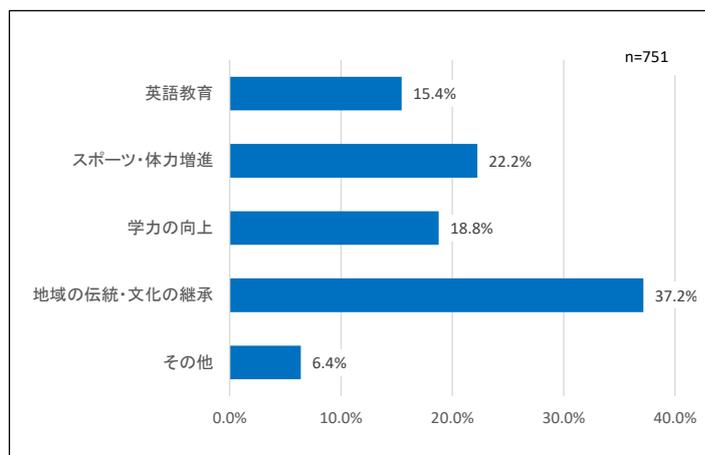


【年代別】



問4-9 あなたは、特色ある学校づくりのため、市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

	人数	割合
英語教育	116	15.4%
スポーツ・体力増進	167	22.2%
学力の向上	141	18.8%
地域の伝統・文化の継承	279	37.2%
その他	48	6.4%
合計	751	100.0%

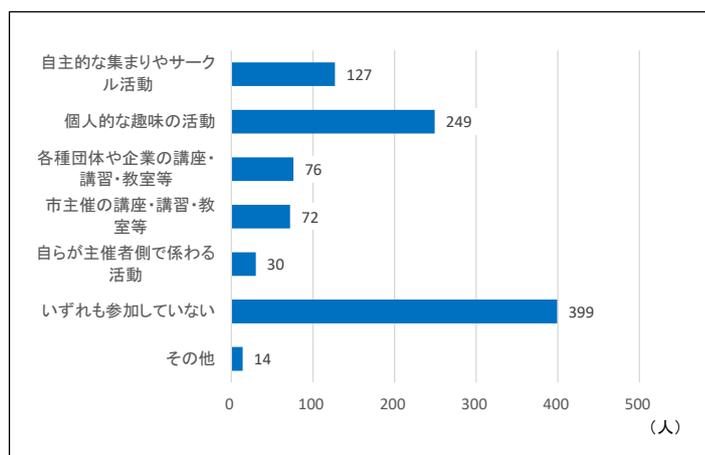


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	教職員の負担軽減
女性	75歳以上	音楽、芸術など
女性	45～49歳	いじめ対策
男性	60～64歳	特色を出さないこと。普通のことを普通にできる学校
男性	35～39歳	ありがちな農業体験ではなく、給食の自給自足ができるレベルの学習
男性	35～39歳	道徳
男性	18～24歳	自主性を尊重する教育
男性	50～54歳	食育や社会見学
女性	35～39歳	プログラミング
女性	45～49歳	不登校や、引きこもりの子どもへの支援
女性	65～69歳	川や公園の掃除
女性	18～24歳	世代間交流
男性	65～69歳	個性を伸ばす教育

問4-10 あなたは、生涯学習としてどんなものに参加していますか。(複数回答)

	人数
自主的な集まりやサークル活動	127
個人的な趣味の活動	249
各種団体や企業の講座・講習・教室等	76
市主催の講座・講習・教室等	72
自らが主催者側で係わる活動	30
いずれも参加していない	399
その他	14



【年代別】

	回答者数 (人)	自主的な集まり やサークル活動	個人的な趣味の 活動	各種団体や企業 の講座・講習・ 教室等	市主催の講座・ 講習・教室等	自らが主催者側 で係わる活動	いずれも参加し ていない	その他
18～24歳	28	10.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	3.6%
25～29歳	27	3.7%	37.0%	0.0%	0.0%	0.0%	63.0%	0.0%
30～34歳	31	16.1%	32.3%	6.5%	6.5%	3.2%	45.2%	0.0%
35～39歳	39	15.4%	23.1%	10.3%	2.6%	5.1%	56.4%	5.1%
40～44歳	66	16.7%	31.8%	12.1%	12.1%	7.6%	50.0%	3.0%
45～49歳	50	2.0%	18.0%	8.0%	4.0%	2.0%	72.0%	2.0%
50～54歳	59	6.8%	27.1%	5.1%	1.7%	0.0%	61.0%	3.4%
55～59歳	44	25.0%	29.5%	9.1%	4.5%	0.0%	47.7%	0.0%
60～64歳	60	25.0%	30.0%	16.7%	10.0%	5.0%	48.3%	0.0%
65～69歳	103	17.5%	41.7%	15.5%	16.5%	4.9%	44.7%	1.9%
70～74歳	102	20.6%	39.2%	12.7%	18.6%	5.9%	41.2%	1.0%
75歳以上	143	19.6%	33.6%	7.7%	9.1%	4.2%	51.7%	2.1%

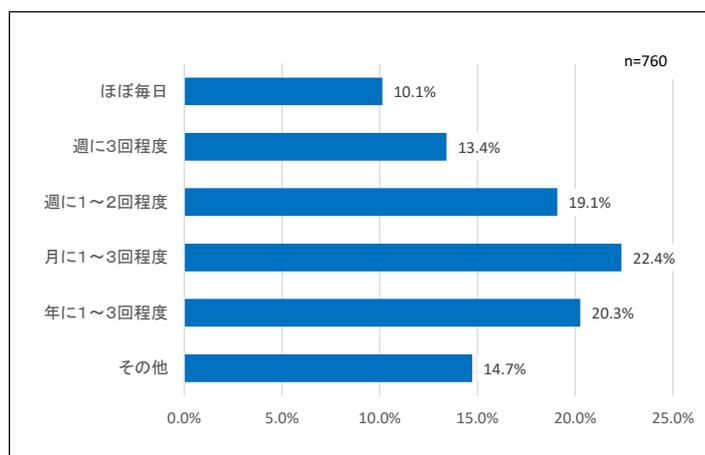
※回答者に占める割合

■ 「その他」の主な意見等

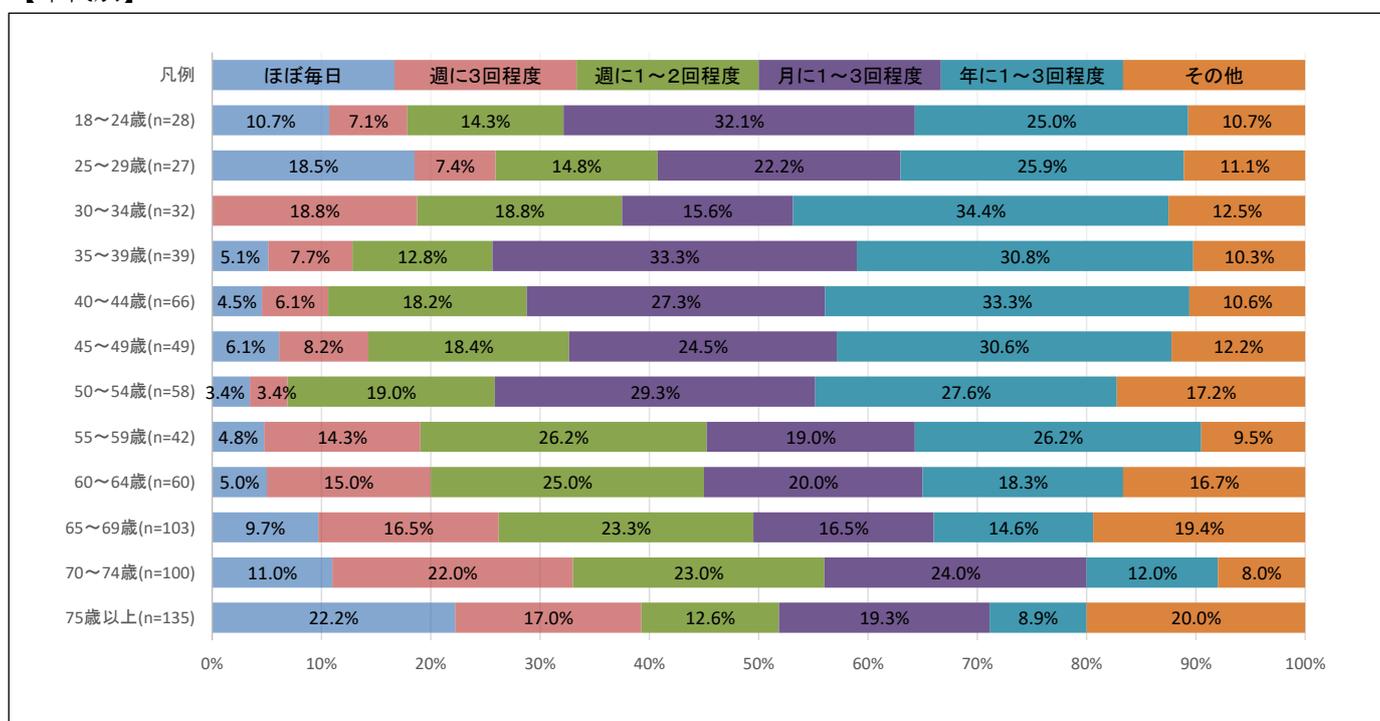
性別	年代	主な意見等
女性	75歳以上	どこで、何をいつ、やっているのかわからない
女性	35～39歳	現在は参加してないが、時間をつくって参加したい
男性	75歳以上	参加したいが、情報が得られない

問4-11 あなたは、どの程度の頻度で運動・スポーツをしていますか。

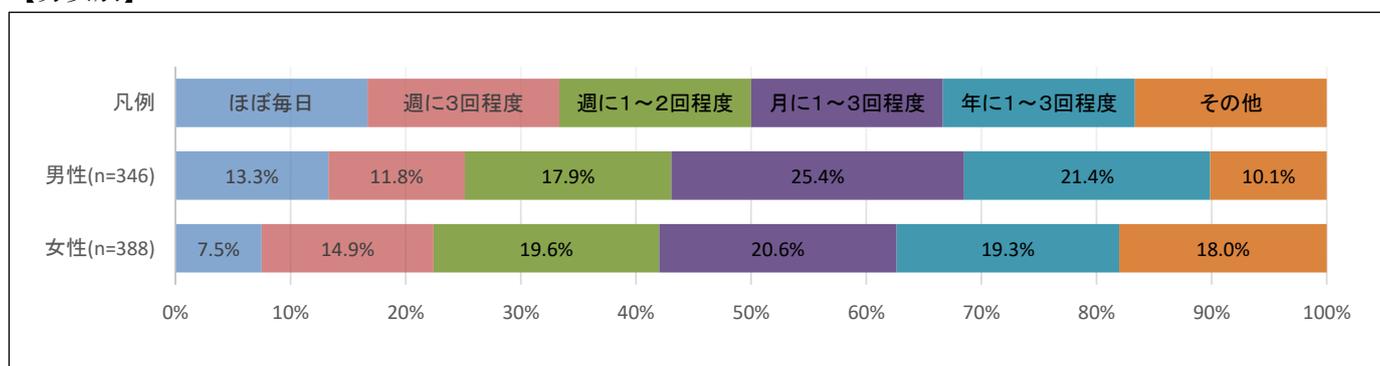
	人数	割合
ほぼ毎日	77	10.1%
週に3回程度	102	13.4%
週に1～2回程度	145	19.1%
月に1～3回程度	170	22.4%
年に1～3回程度	154	20.3%
その他	112	14.7%
合計	760	100.0%



【年代別】



【男女別】

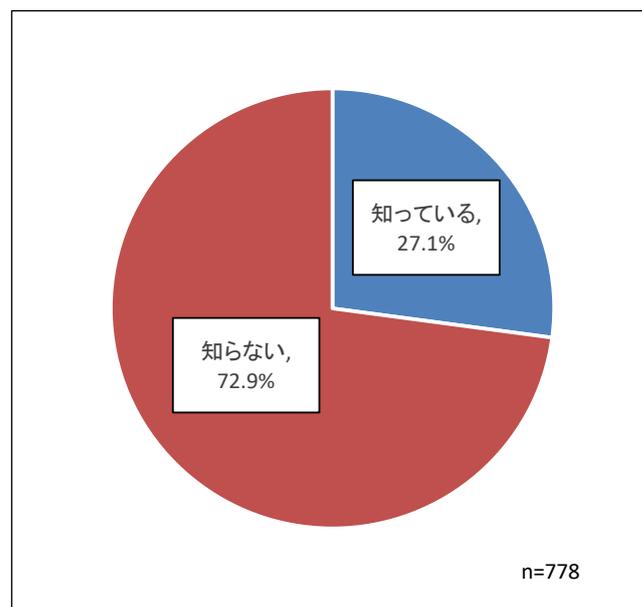


■ 「その他」の主な意見等

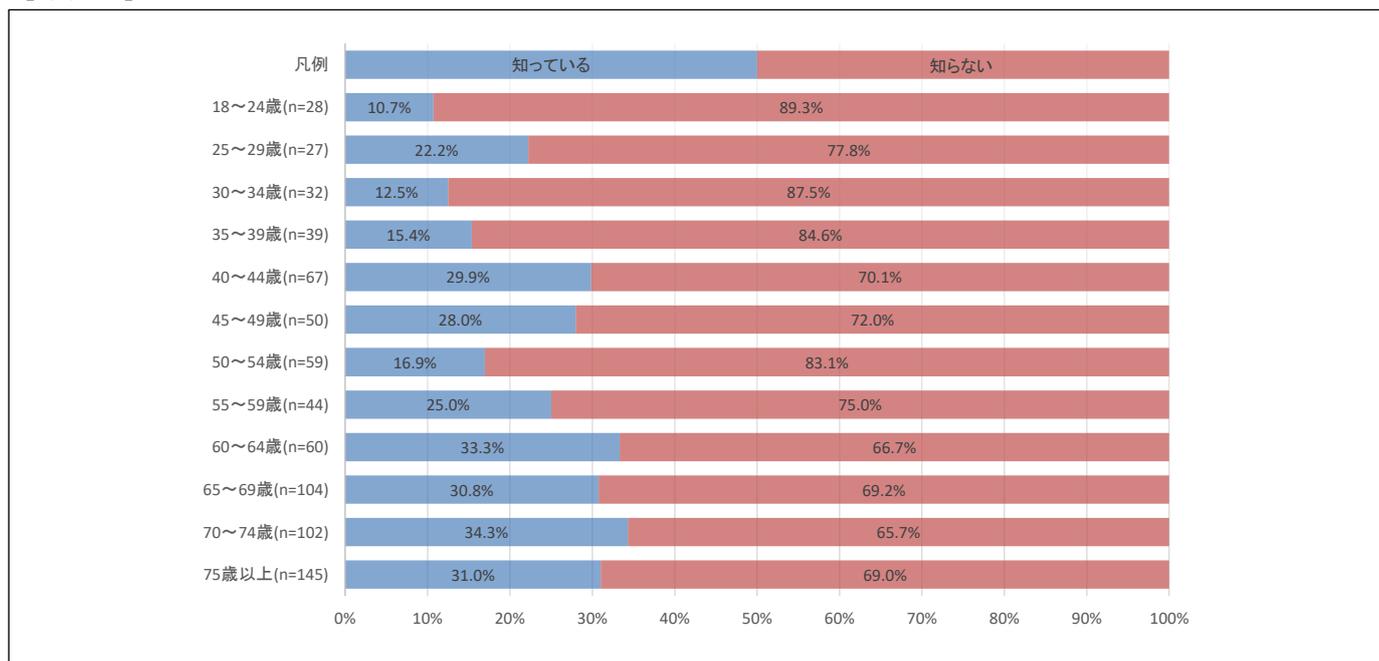
性別	年代	主な意見等
女性	45～49歳	特にしてない
男性	75歳以上	毎朝、ラジオ体操を行っている
女性	75歳以上	週一回のマレットゴルフ
女性	75歳以上	毎日のウォーキング
女性	75歳以上	毎日のストレッチ
女性	75歳以上	たまの散歩

問4-12 あなたは、安曇野市が、東京2020オリンピック・パラリンピックでオーストリアのカヌーチームのホストタウンとなっていることを知っていますか。

	人数	割合
知っている	211	27.1%
知らない	567	72.9%
合計	778	100.0%



【年代別】

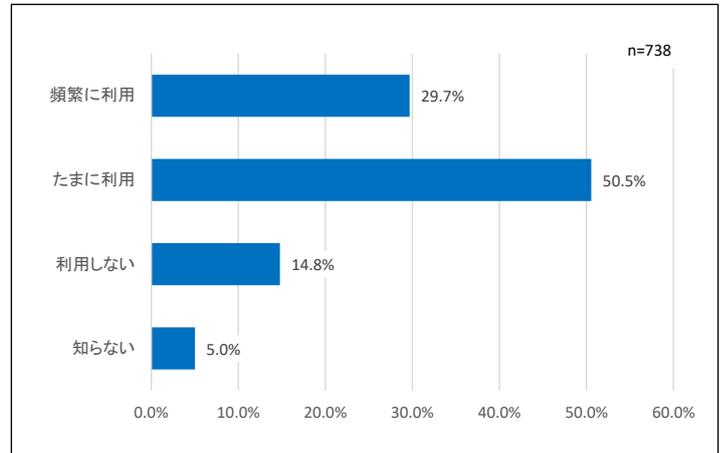


6 「広報・広聴」について

問5-1 あなたの市政情報の入手先として、それぞれの媒体をどの程度利用しているか教えてください。

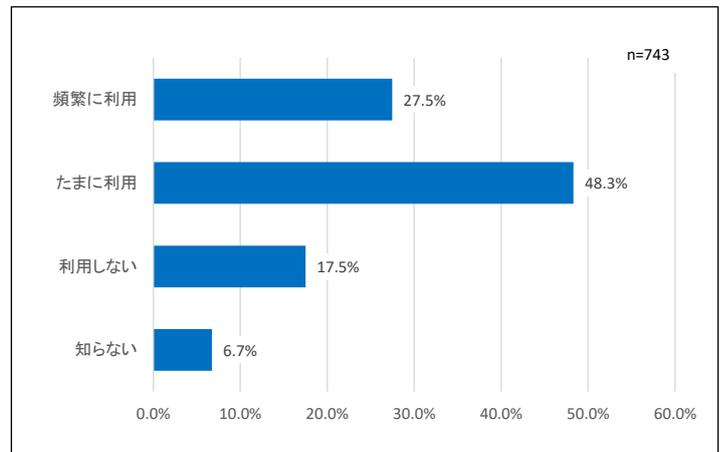
●市報（広報あつみの【通常版】）

	人数	割合
頻繁に利用	219	29.7%
たまに利用	373	50.5%
利用しない	109	14.8%
知らない	37	5.0%
合計	738	100.0%



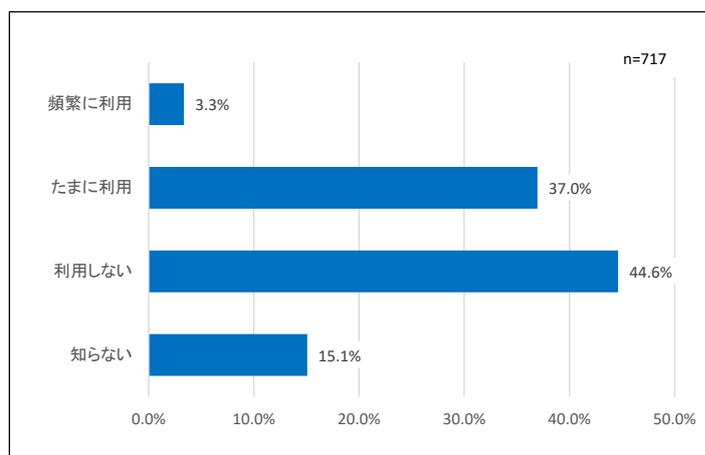
●市報（広報あつみの【お知らせ版】）

	人数	割合
頻繁に利用	204	27.5%
たまに利用	359	48.3%
利用しない	130	17.5%
知らない	50	6.7%
合計	743	100.0%



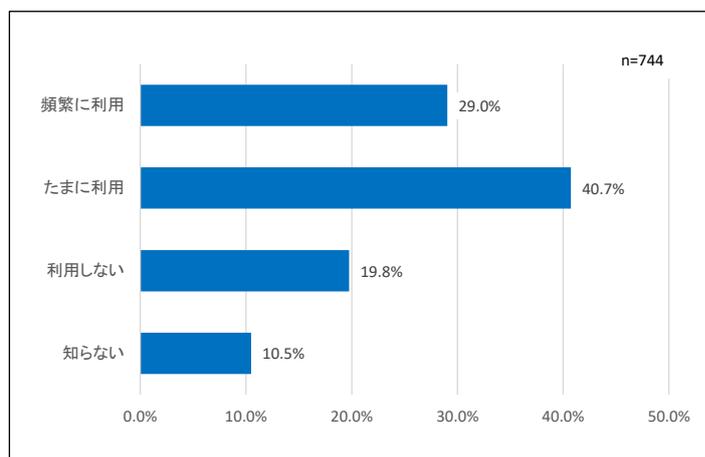
●市のホームページ

	人数	割合
頻繁に利用	24	3.3%
たまに利用	265	37.0%
利用しない	320	44.6%
知らない	108	15.1%
合計	717	100.0%



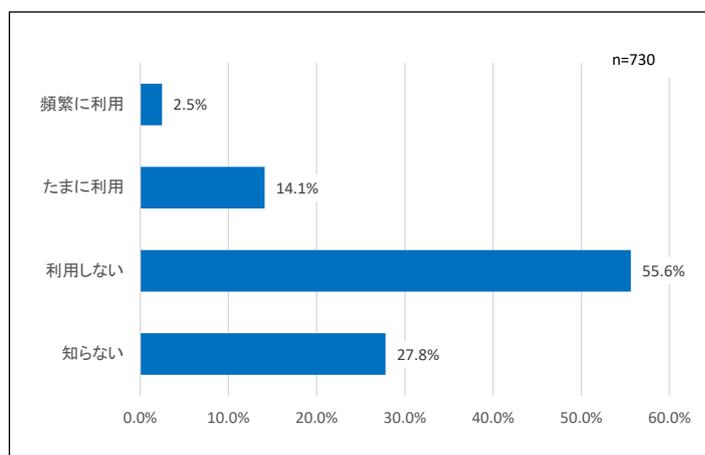
●区配布の回覧文書

	人数	割合
頻繁に利用	216	29.0%
たまに利用	303	40.7%
利用しない	147	19.8%
知らない	78	10.5%
合計	744	100.0%



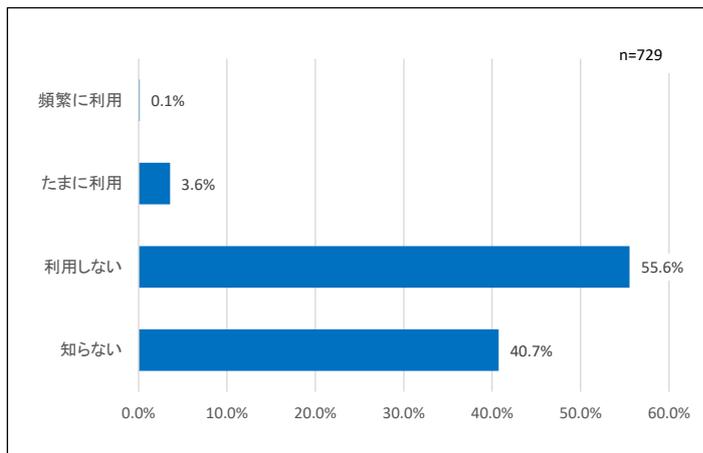
●市のラジオ番組（あづみ野エフエム）

	人数	割合
頻繁に利用	18	2.5%
たまに利用	103	14.1%
利用しない	406	55.6%
知らない	203	27.8%
合計	730	100.0%



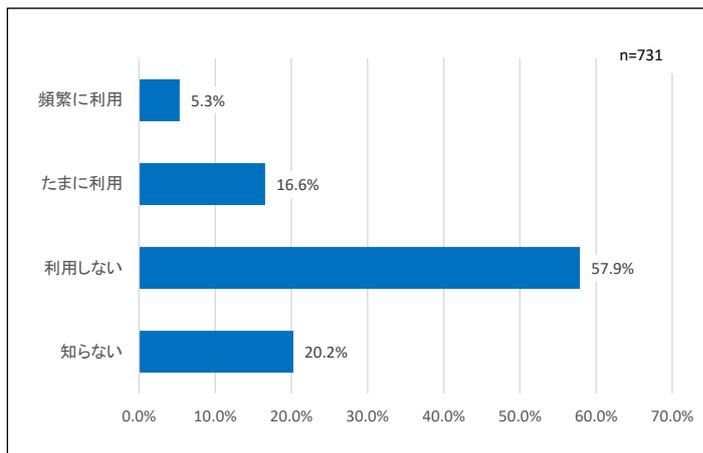
●市のツイッター

	人数	割合
頻繁に利用	1	0.1%
たまに利用	26	3.6%
利用しない	405	55.6%
知らない	297	40.7%
合計	729	100.0%



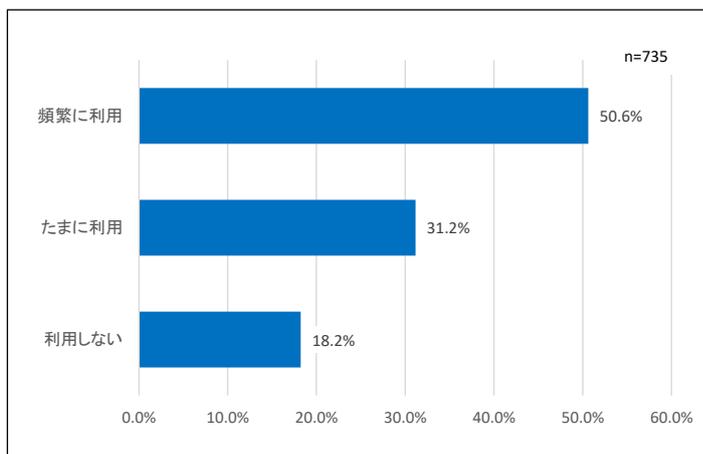
●あづみ野テレビ

	人数	割合
頻繁に利用	39	5.3%
たまに利用	121	16.6%
利用しない	423	57.9%
知らない	148	20.2%
合計	731	100.0%



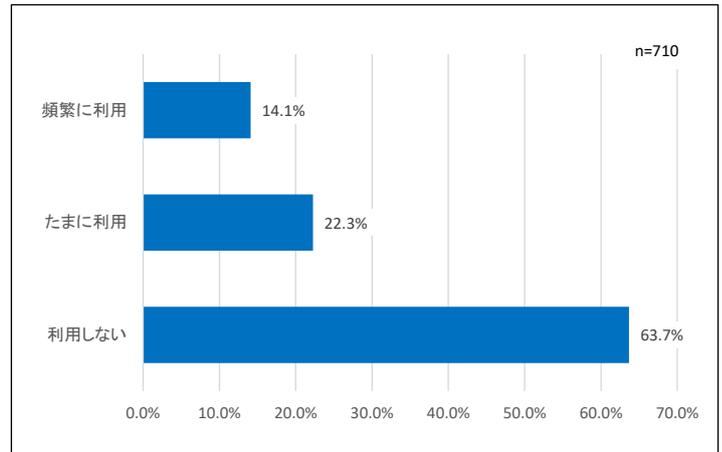
●一般の新聞・テレビ・ラジオ

	人数	割合
頻繁に利用	372	50.6%
たまに利用	229	31.2%
利用しない	134	18.2%
合計	735	100.0%



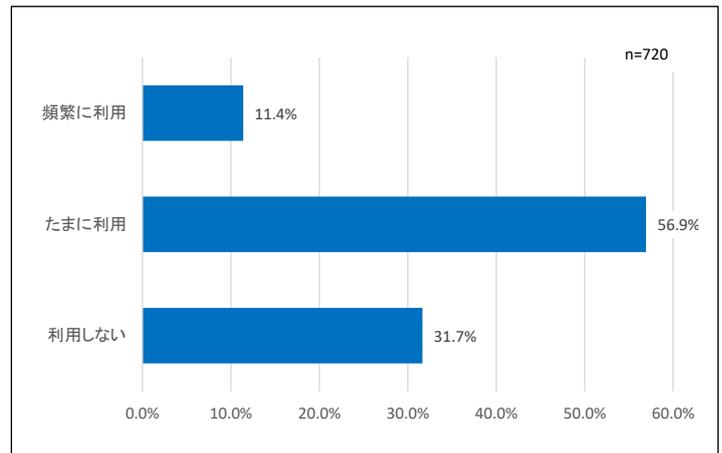
●一般のウェブサイト（ホームページ）

	人数	割合
頻繁に利用	100	14.1%
たまに利用	158	22.3%
利用しない	452	63.7%
合計	710	100.0%



●友人・家族からの口コミ

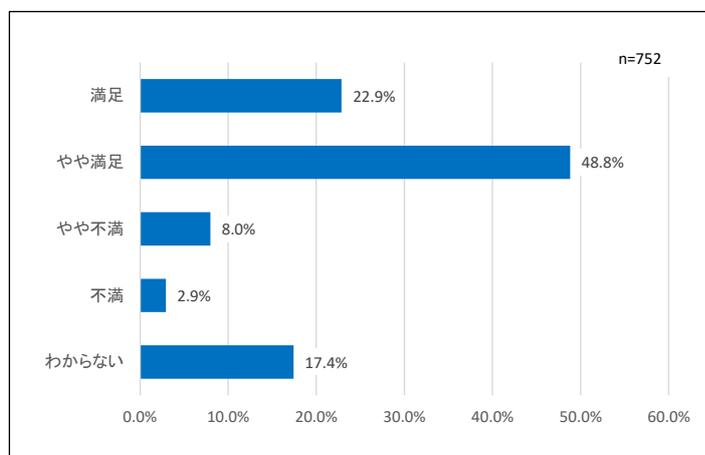
	人数	割合
頻繁に利用	82	11.4%
たまに利用	410	56.9%
利用しない	228	31.7%
合計	720	100.0%



問5-2 あなたの市の広報媒体の満足度を教えてください。

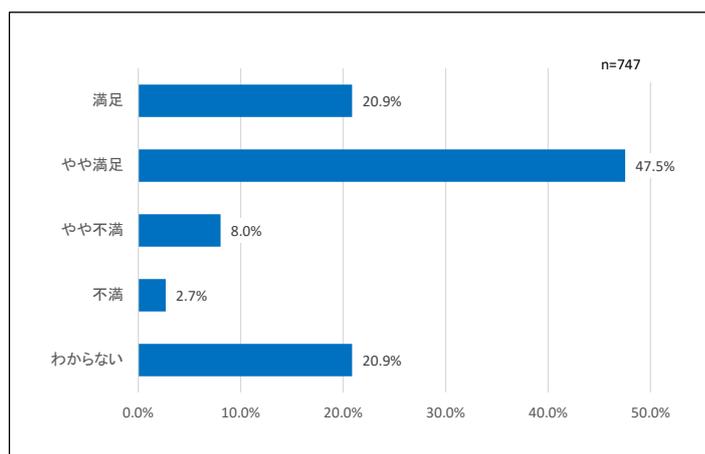
●市報（広報あつみの【通常版】）

	人数	割合
満足	172	22.9%
やや満足	367	48.8%
やや不満	60	8.0%
不満	22	2.9%
わからない	131	17.4%
合計	752	100.0%



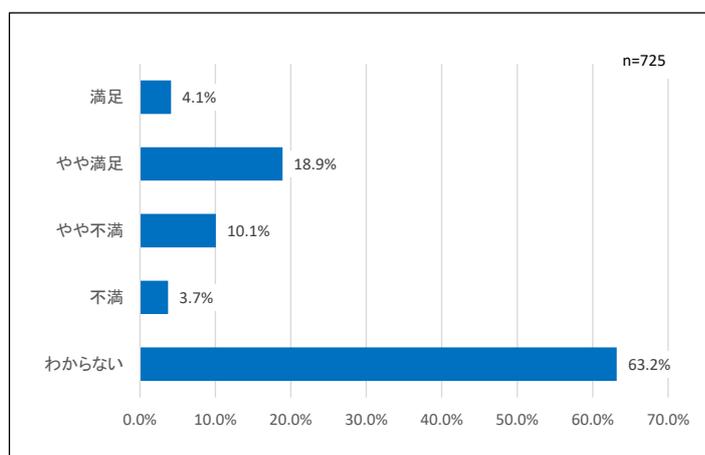
●市報（広報あつみの【お知らせ版】）

	人数	割合
満足	156	20.9%
やや満足	355	47.5%
やや不満	60	8.0%
不満	20	2.7%
わからない	156	20.9%
合計	747	100.0%



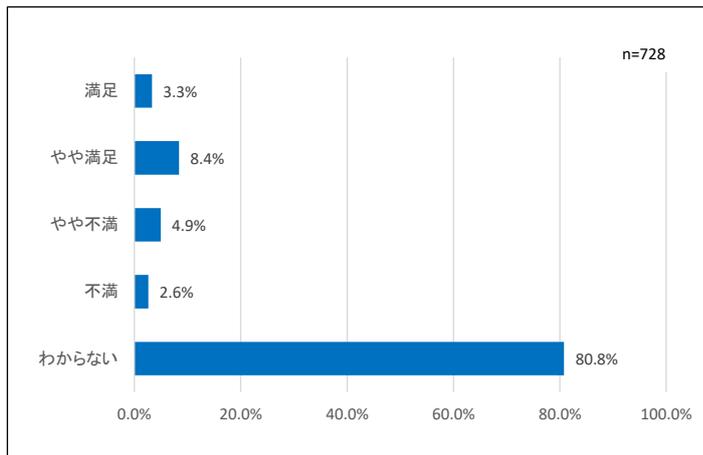
●市のホームページ

	人数	割合
満足	30	4.1%
やや満足	137	18.9%
やや不満	73	10.1%
不満	27	3.7%
わからない	458	63.2%
合計	725	100.0%



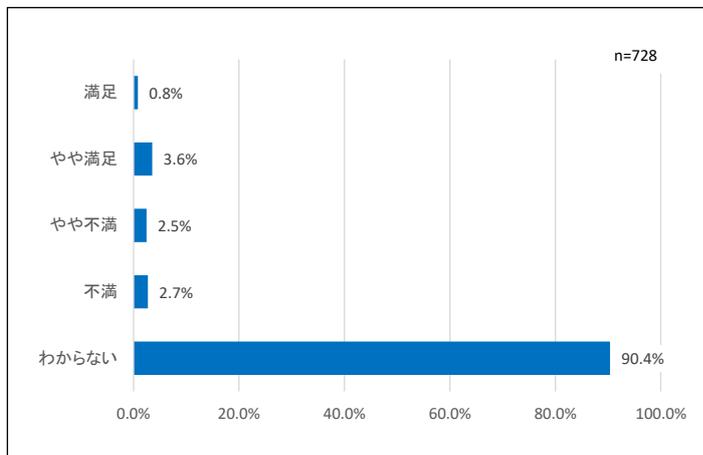
●市のラジオ番組（あづみ野エフエム）

	人数	割合
満足	24	3.3%
やや満足	61	8.4%
やや不満	36	4.9%
不満	19	2.6%
わからない	588	80.8%
合計	728	100.0%



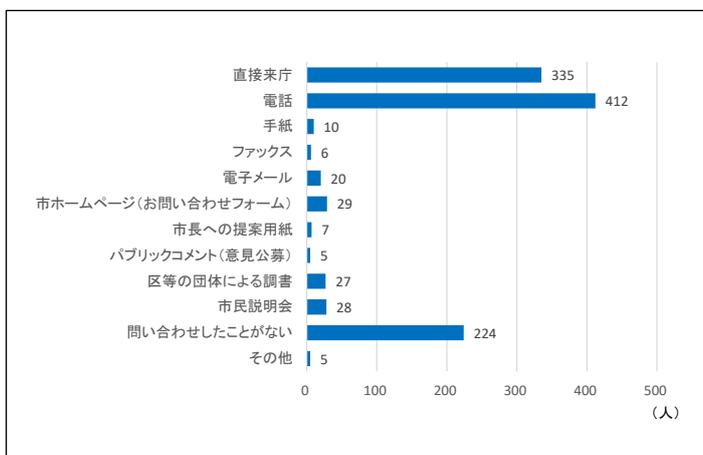
●市のツイッター

	人数	割合
満足	6	0.8%
やや満足	26	3.6%
やや不満	18	2.5%
不満	20	2.7%
わからない	658	90.4%
合計	728	100.0%



問5-3 あなたが市に意見や問い合わせをする際、使ったことがある手段は何ですか。あてはまるものを選んでください。（複数回答）

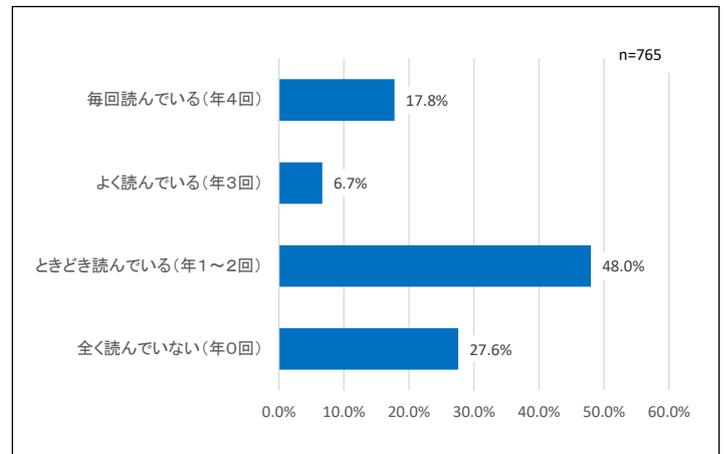
	人数
直接来庁	335
電話	412
手紙	10
ファックス	6
電子メール	20
市ホームページ（お問い合わせフォーム）	29
市長への提案用紙	7
パブリックコメント（意見公募）	5
区等の団体による調書	27
市民説明会	28
問い合わせたことがない	224
その他	5



7 「議会だより」について

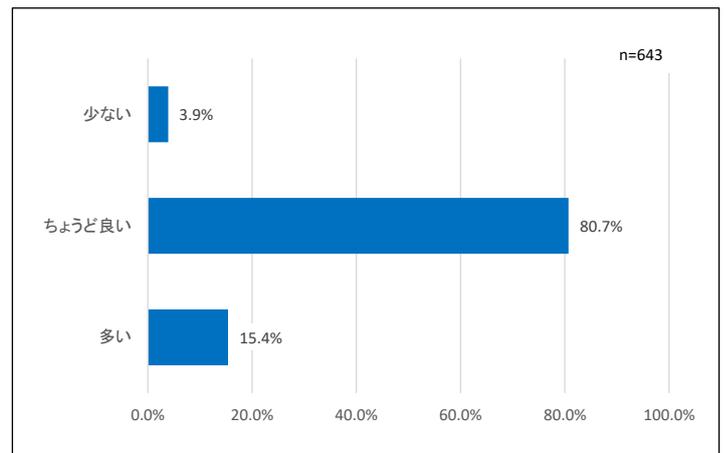
問1-1 あなたは、議会だより（年4回発行）をどのくらいの頻度で読んでいますか。

	人数	割合
毎回読んでいる（年4回）	136	17.8%
よく読んでいる（年3回）	51	6.7%
ときどき読んでいる（年1～2回）	367	48.0%
全く読んでいない（年0回）	211	27.6%
合計	765	100.0%



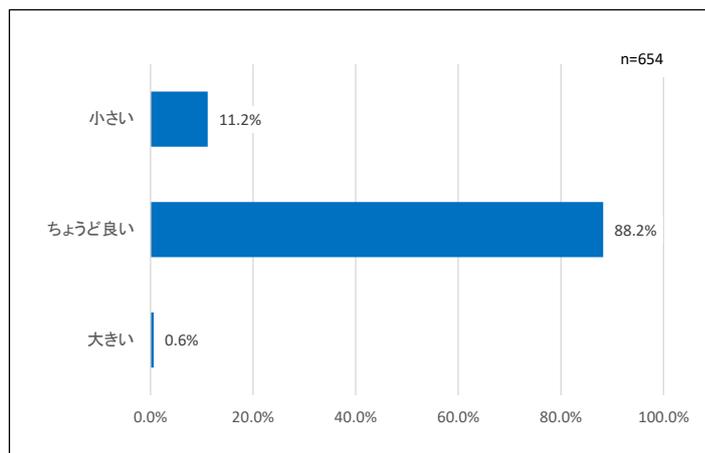
問1-2 あなたは、議会だよりのページの分量をどう思いますか。

	人数	割合
少ない	25	3.9%
ちょうど良い	519	80.7%
多い	99	15.4%
合計	643	100.0%



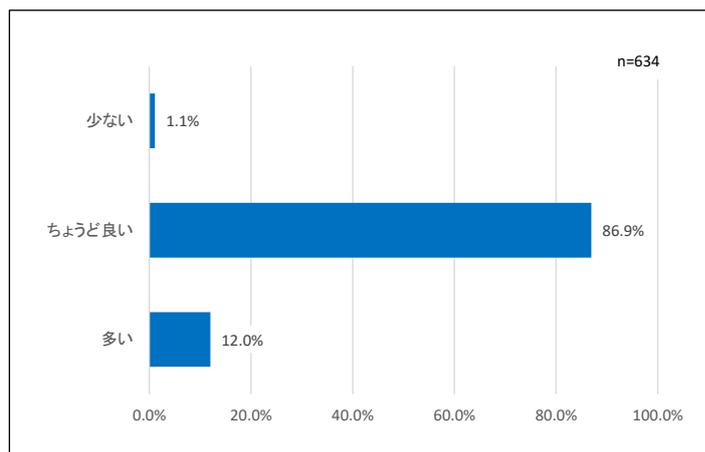
問1-3 あなたは、議会だよりの字の大きさをどう思いますか。

	人数	割合
小さい	73	11.2%
ちょうど良い	577	88.2%
大きい	4	0.6%
合計	654	100.0%



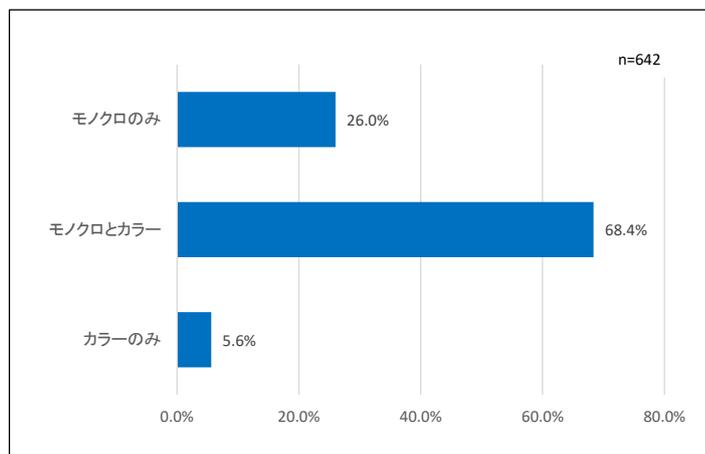
問1-4 あなたは、議会だよりの1ページあたりの文字数をどう思いますか。

	人数	割合
少ない	7	1.1%
ちょうど良い	551	86.9%
多い	76	12.0%
合計	634	100.0%



問1-5 あなたは、議会だよりの印刷について、どのようなものが良いですか。

	人数	割合
モノクロのみ	167	26.0%
モノクロとカラー	439	68.4%
カラーのみ	36	5.6%
合計	642	100.0%



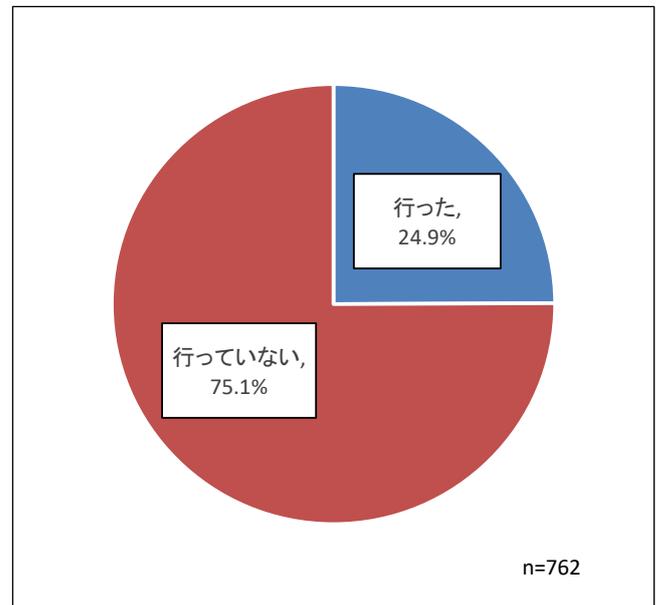
問1-6 あなたの議会だよりについての感想を自由にお書きください。

性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	記述内容に、市の将来を見据えたビジョンが感じられない
男性	70～74歳	今のままでよいと思います
男性	65～69歳	もっと簡単なものでよいと思う
男性	50～54歳	もう少しわかりやすく書いて欲しい
女性	25～29歳	わかりやすいし、見やすい
女性	40～44歳	内容がわかりにくく、一般の人は読む気がしないのではないかと
女性	45～49歳	市民として知らなければならぬことを知っておくために読んでいます。読むことで意見がわかるのでよい
女性	55～59歳	難しくなく、読み手にわかりやすい方がよい
男性	75歳以上	議員の質問など、類似の内容は集約すべきと思う
女性	55～59歳	中学生も楽しんで読めるような、読みやすく、わかりやすく、楽しく作るとよい
男性	60～64歳	興味を引くレイアウトになっていない
女性	75歳以上	顔写真は不用
男性	70～74歳	一般質問等の1人当たりのスペースが少なすぎる
女性	65～69歳	今のままで良い
女性	70～74歳	一生懸命やってくれていると思う。表紙にまず目がとまる。今まで見なかったけれど、努力をしていると思われる
男性	75歳以上	各議員の採決がわかってよい
女性	70～74歳	皆が議会に関心を持つよう、内容を深く編集して、もっと議会をアピールしてもらいたい
男性	70～74歳	現状で良い
男性	65～69歳	内容に新鮮さがない
男性	35～39歳	ここ1～2年、レイアウトや構成が工夫されて、読みやすくなったと感じている
女性	75歳以上	市の変動を感じる議会だよりを楽しみに拝読していきます
男性	75歳以上	もっと密着したものがほしい
女性	35～39歳	歳が若いからか、あまりじっくりは読みません。写真が多いと、すぐに情報が目に入り、文章を読むことがあります
男性	60～64歳	問題点、改善点、継続事項などの分かり易い説明があるとよい
男性	70～74歳	議員質問、回答等をもう少し分かりやすく書いてほしい（要点を箇条書きにする等）。その都度、議員の顔写真は不要
女性	70～74歳	どのような活動が行われているかよくわかる
男性	75歳以上	結果報告だけで、議員の実績報告書と化している。経費のムダ遣いが多いので節減し、回覧くらいで良いのではないかと
女性	75歳以上	議員さんが働いている様子が良くわかって良いです
男性	50～54歳	全く読んだことが無いので、次回から読んでみようと思った
女性	35～39歳	誰が何をやったのかいまいち分からない。文章だけでなく、活動風景を写真かネットの動画で上げてください。
男性	65～69歳	英語の情報がないため、読めない
男性	18～24歳	表紙におおまかな議決内容が載っていると良い
男性	65～69歳	勉強になります
女性	75歳以上	歳を重ねても楽しく読んでいます
男性	70～74歳	議員一人ひとりの目標、あるいは市の目指すべき青写真を示して欲しいと思う
男性	60～64歳	情報が少なすぎる
女性	35～39歳	現在どのようなことが市の問題になっているかがわかって良い
女性	65～69歳	議員の人となり分かりやすく、考え方がよく分かる。個人の趣味や最近の出来事など、親しみの持てる記事も簡潔に書いて欲しい
女性	40～44歳	一人ひとりの意見や活動内容が詳しく書かれていてわかりやすい
女性	40～44歳	以前より工夫され、読みやすくなった

8 「里山再生」について

問2-1 あなたは、この1年間に安曇野市内の里山に行きましたか。

	人数	割合
行った	190	24.9%
行っていない	572	75.1%
合計	762	100.0%

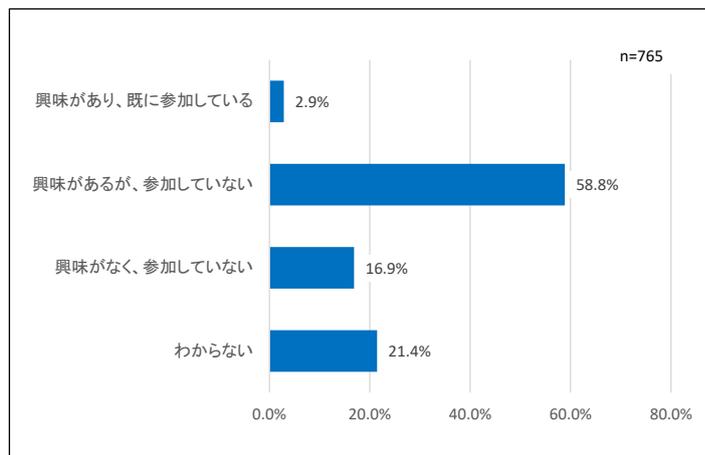


●里山に行った目的

性別	年代	主な意見等
男性	75歳以上	薪とり
女性	40～44歳	登山
女性	35～39歳	ウォーキング
男性	65～69歳	運動
女性	45～49歳	キャンプ
男性	65～69歳	散策
男性	65～69歳	山菜とり
男性	75歳以上	キノコとり
男性	60～64歳	ハイキング
男性	65～69歳	釣り
男性	60～64歳	自然鑑賞
女性	75歳以上	写真撮影
男性	60～64歳	草刈り
女性	65～69歳	花見
男性	50～54歳	水遊び

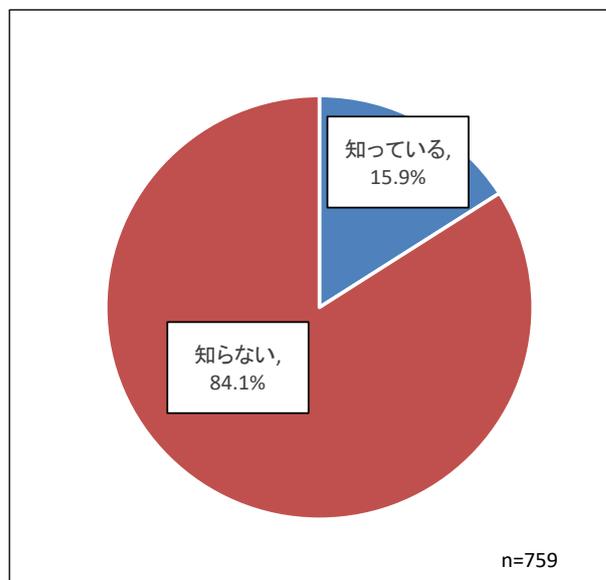
問 2-2 あなたは、里山再生や森林保全の活動などに興味がありますか。

	人数	割合
興味があり、既に参加している	22	2.9%
興味があるが、参加していない	450	58.8%
興味がなく、参加していない	129	16.9%
わからない	164	21.4%
合計	765	100.0%

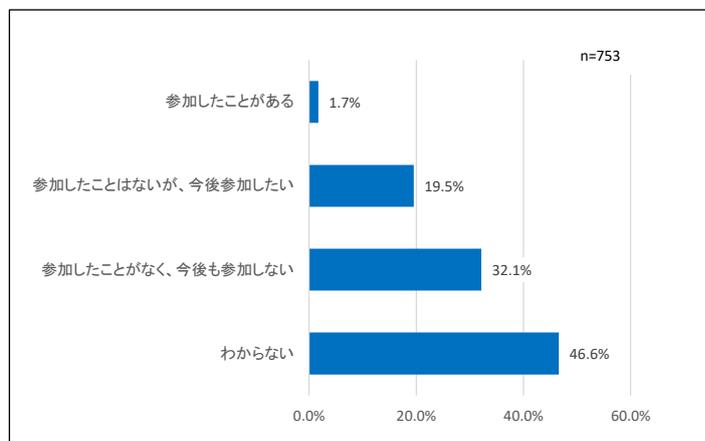


問 2-3 市では、平成 27 年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連する里山を再生する取組を「さとぷろ。」と位置づけ、さまざまな取組を行っています。あなたは、「さとぷろ。」を知っていますか。また、参加したことはありますか。

	人数	割合
知っている	121	15.9%
知らない	638	84.1%
合計	759	100.0%

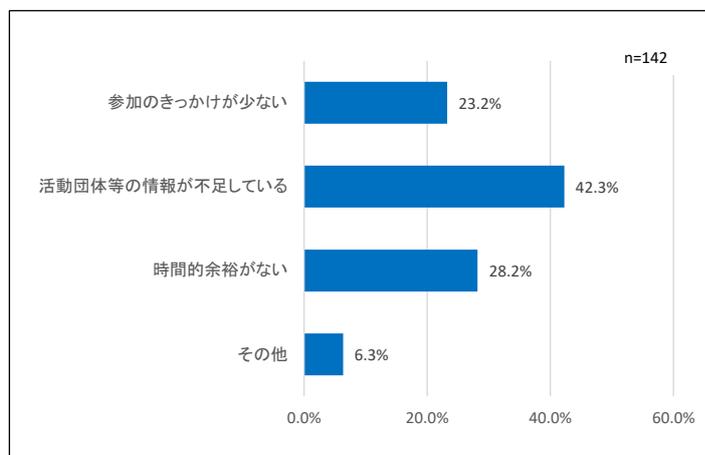


	人数	割合
参加したことがある	13	1.7%
参加したことはないが、今後参加したい	147	19.5%
参加したことがなく、今後も参加しない	242	32.1%
わからない	351	46.6%
合計	753	100.0%



問2-4 【問2-3で、「2. 参加したことはないが、今後参加したい」を選択した方にお伺いします。
参加していなかった理由はなんですか。

	人数	割合
参加のきっかけが少ない	33	23.2%
活動団体等の情報が不足している	60	42.3%
時間的余裕がない	40	28.2%
その他	9	6.3%
合計	142	100.0%

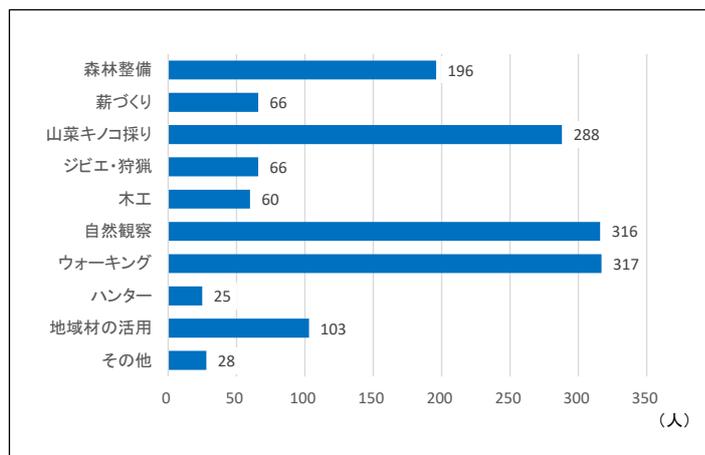


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	65～69歳	都合が合わなかった
女性	65～69歳	体力に不安がある
女性	65～69歳	運転が出来ないため、集合場所や目的地まで行けない
女性	35～39歳	知り合いがいないので不安
女性	75歳以上	体調不良
男性	70～74歳	体力的な問題
女性	18～24歳	知らなかったため

問 2-5 あなたが、里山での活動で興味のあるものは何ですか。(複数回答)

	人数
森林整備	196
薪づくり	66
山菜キノコ採り	288
ジビエ・狩猟	66
木工	60
自然観察	316
ウォーキング	317
ハンター	25
地域材の活用	103
その他	28



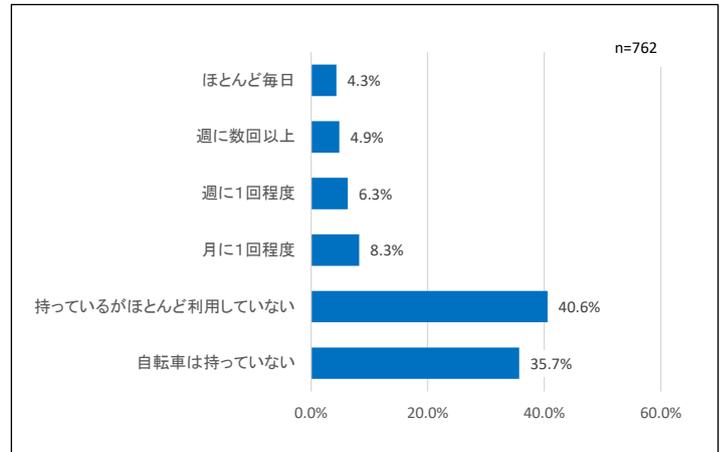
■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	30～34歳	キャンプ
男性	75歳以上	荒廃農地の活用
男性	25～29歳	特になし
男性	35～39歳	釣り
男性	60～64歳	鳥獣被害対策
男性	65～69歳	松くい虫対策

9 「自転車活用」について

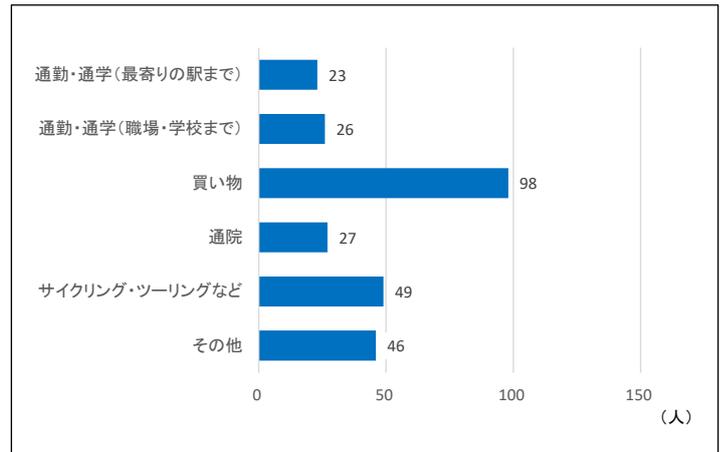
問3-1 あなたは、普段どの程度自転車を利用していますか。

	人数	割合
ほとんど毎日	33	4.3%
週に数回以上	37	4.9%
週に1回程度	48	6.3%
月に1回程度	63	8.3%
持っているがほとんど利用していない	309	40.6%
自転車は持っていない	272	35.7%
合計	762	100.0%



問3-2 【自転車を利用している人にお伺いします。】あなたは、自転車をどのような目的で利用しますか。(複数回答)

	人数
通勤・通学(最寄りの駅まで)	23
通勤・通学(職場・学校まで)	26
買い物	98
通院	27
サイクリング・ツーリングなど	49
その他	46

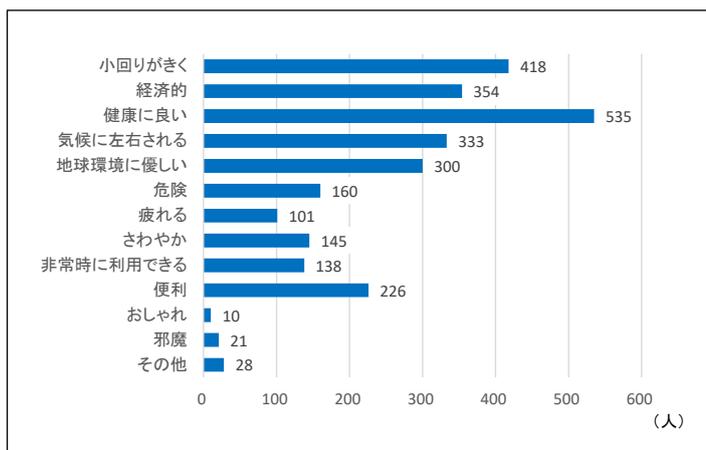


■「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	75歳以上	近所の用足し等
男性	65～69歳	地区内の用事
女性	70～74歳	近くの田畑まで
男性	75歳以上	農地の見回り
男性	60～64歳	図書館など市の施設利用のため
男性	70～74歳	運動のため
男性	70～74歳	ゴミ出し
女性	40～44歳	学校行事への参加
男性	65～69歳	犬との散歩
男性	60～64歳	地域活動等

問3-3 あなたの自転車に対するイメージで当てはまるものを教えてください。(複数回答)

	人数
小回りがきく	418
経済的	354
健康に良い	535
気候に左右される	333
地球環境に優しい	300
危険	160
疲れる	101
さわやか	145
非常時に利用できる	138
便利	226
おしゃれ	10
邪魔	21
その他	28



■ 「その他」の主な意見等

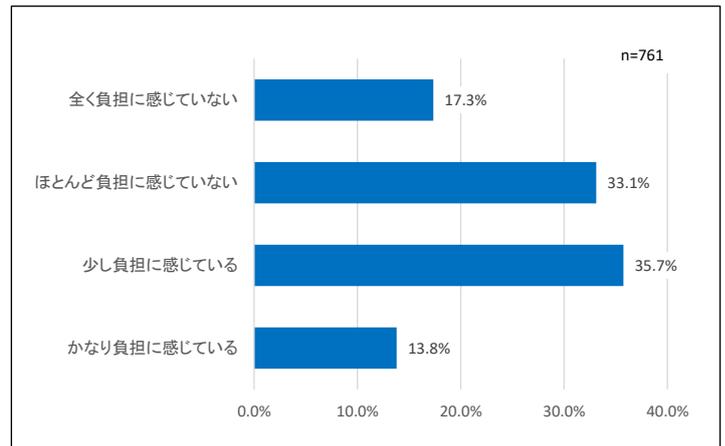
性別	年代	主な意見等
女性	30～34歳	通学の大事な道具
男性	65～69歳	特になし
男性	30～34歳	置き場に困る
男性	60～64歳	アパートでは置き場所がない
女性	75歳以上	生活に必要
男性	65～69歳	冬期は利用できない

10 「ごみの減量化」について

問4-1 本市では、平成13年10月から、環境負荷を低減し、資源の有効活用を進め、循環型社会を形成するためのごみ発生抑制の施策として、また、ごみ排出量に応じた費用負担の公平性の確保を目的に、もえるごみ専用指定袋購入の際に、可燃ごみの処理手数料を負担していただいています。

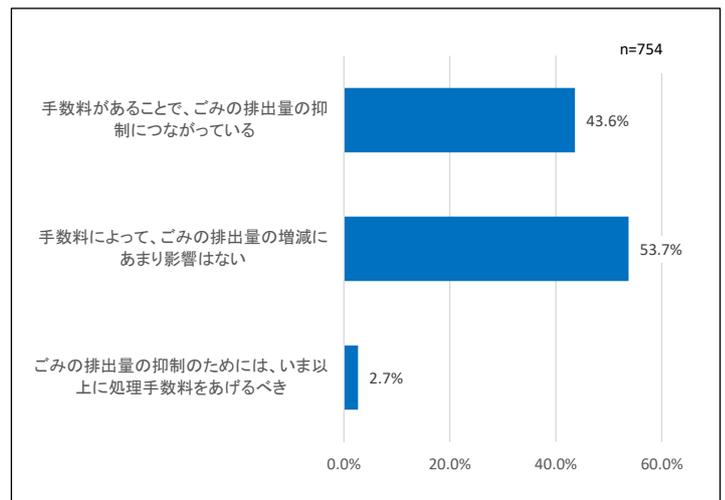
あなたは、もえるごみ専用指定袋購入時の負担をどう感じていますか。

	人数	割合
全く負担に感じていない	132	17.3%
ほとんど負担に感じていない	252	33.1%
少し負担に感じている	272	35.7%
かなり負担に感じている	105	13.8%
合計	761	100.0%



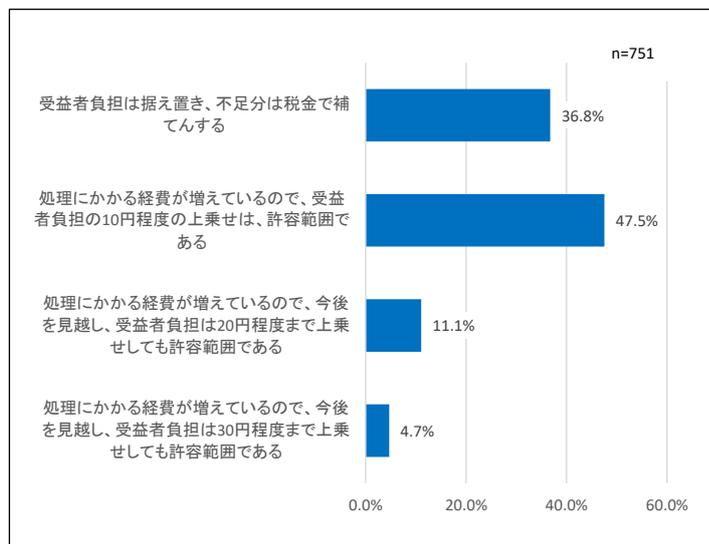
問4-2 あなたは、可燃ごみ処理手数料（収入証紙30円/枚、収入証紙20円/枚）について、ごみ減量化にどのような影響があると考えますか。

	人数	割合
手数料があることで、ごみの排出量の抑制につながっている	329	43.6%
手数料によって、ごみの排出量の増減にあまり影響はない	405	53.7%
ごみの排出量の抑制のためには、いま以上に処理手数料をあげるべき	20	2.7%
合計	754	100.0%



問4-3 平成13年に可燃ごみ処理手数料を設定してから今まで、処理手数料の改定を行ってきませんでしたが、手数料設定当時と比較し、現在、ごみ処理にかかる費用は、一袋あたり12円程度増額しています。このことを踏まえ、手数料の改定について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。

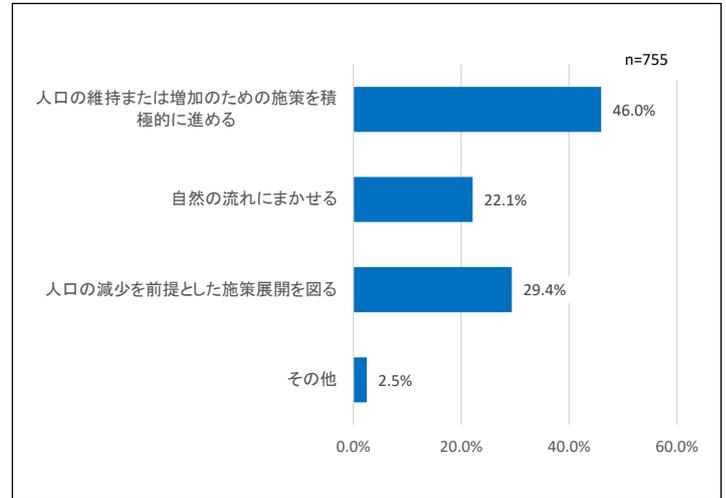
	人数	割合
受益者負担は据え置き、不足分は税金で補てんする	276	36.8%
処理にかかる経費が増えているので、受益者負担の10円程度の上乗せは、許容範囲である	357	47.5%
処理にかかる経費が増えているので、今後を見越し、受益者負担は20円程度まで上乗せしても許容範囲である	83	11.1%
処理にかかる経費が増えているので、今後を見越し、受益者負担は30円程度まで上乗せしても許容範囲である	35	4.7%
合計	751	100.0%



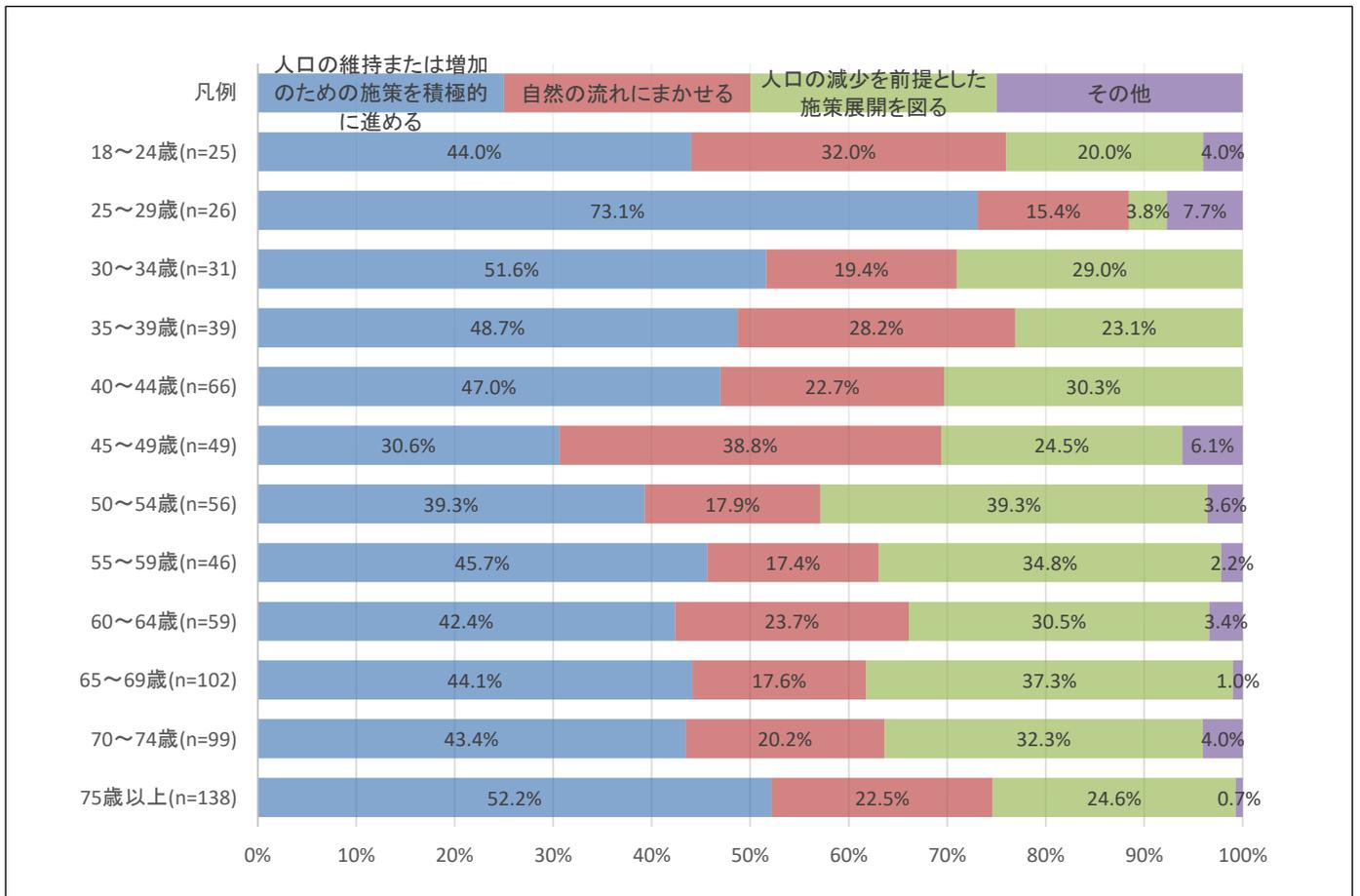
11 「人口減対策」について

問5-1 安曇野市の人口は近年減少に転じていますが、市の施策の今後の望ましい方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	人数	割合
人口の維持または増加のための施策を積極的に進める	347	46.0%
自然の流れにまかせる	167	22.1%
人口の減少を前提とした施策展開を図る	222	29.4%
その他	19	2.5%
合計	755	100.0%



【年代別】

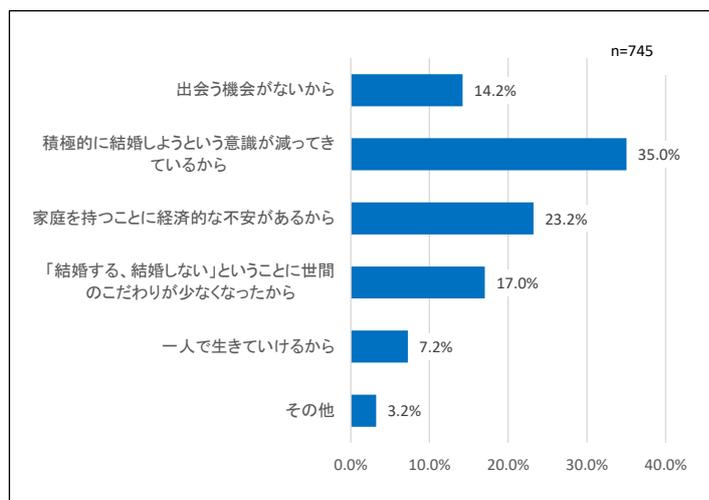


■ 「その他」の主な意見等

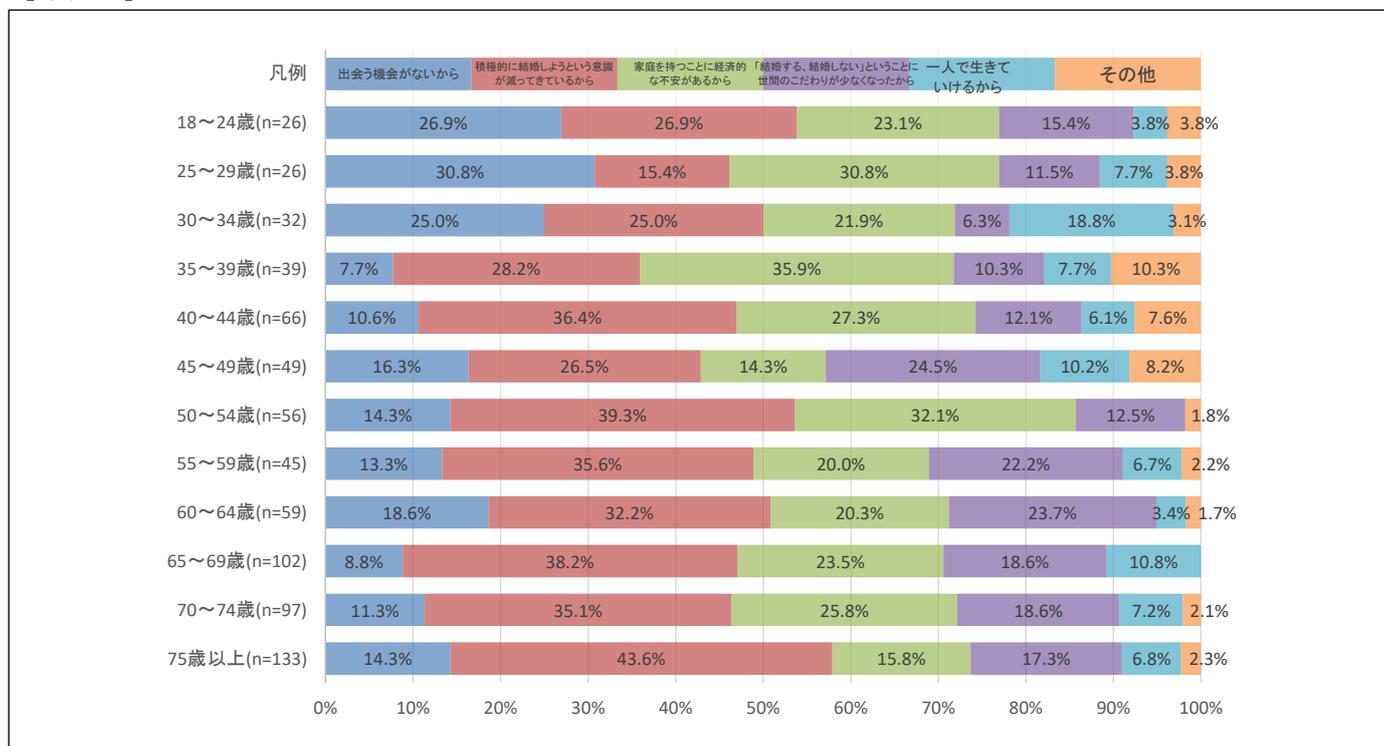
性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	市に魅力があれば自然と増えると思う
男性	25～29歳	移住者の勧誘、補助
男性	55～59歳	人口は増加しないほうがいろいろと良い
女性	70～74歳	企業誘致。若い人の働く場所がない
男性	50～54歳	若年層が住みやすい環境を整えることが必要
男性	60～64歳	子どもや高齢者が住みやすいまちになれば人口減少は止まる
女性	25～29歳	子育て家庭の負担軽減

問5-2 人口減少、少子高齢化が止まらない要因の一つとして、未婚化、晩婚化が進んでいることが考えられますが、あなたは、未婚化、晩婚化の要因は何だと思えますか。

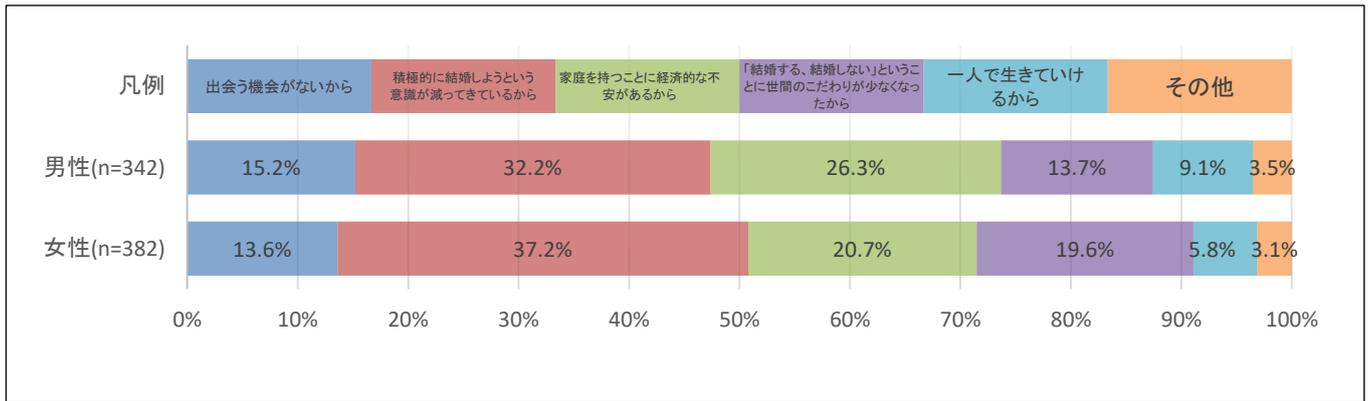
	人数	割合
出会う機会がないから	106	14.2%
積極的に結婚しようという意識が減ってきているから	261	35.0%
家庭を持つことに経済的な不安があるから	173	23.2%
「結婚する、結婚しない」ということに世間のこだわりが少なくなったから	127	17.0%
一人で生きていけるから	54	7.2%
その他	24	3.2%
合計	745	100.0%



【年代別】



【男女別】

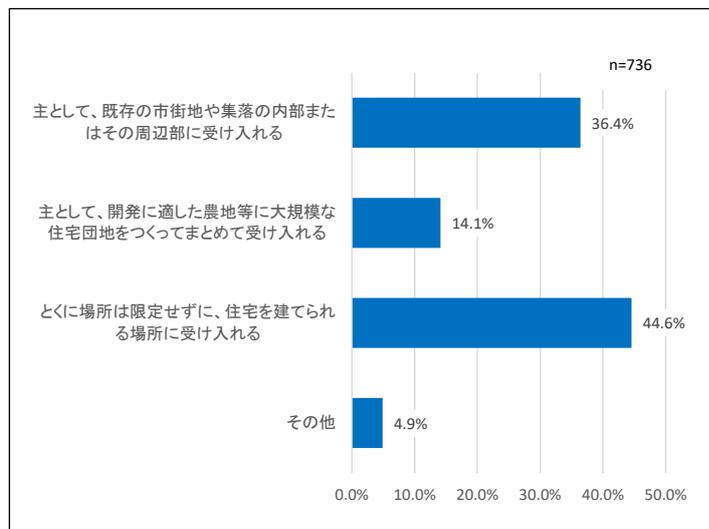


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	50～54歳	価値観の多様化
男性	75歳以上	女性の権利が強くなり、男性が弱くなったから
男性	70～74歳	一人のほうが気楽だから
女性	30～34歳	女性の社会進出が進んだから
男性	75歳以上	人間関係の希薄化
女性	40～44歳	昔の「結婚して、子どもを産むのが普通」という価値観が、いい意味で薄れてきているから
男性	45～49歳	子育て支援が充実していないから
女性	45～49歳	結婚後のライフプランがたてにくい。給料が安い、子どもができて休みが取りにくい、学費がかかる等
女性	35～39歳	生き方の選択肢が増えたから

問5-3 人口が減少する中であっても、転入や市内での転居など、今後も一定の宅地需要は見込まれます。安曇野市内における宅地需要について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

	人数	割合
主として、既存の市街地や集落の内部またはその周辺部に受け入れる	268	36.4%
主として、開発に適した農地等に大規模な住宅団地をつくってまとめて受け入れる	104	14.1%
とくに場所は限定せずに、住宅を建てられる場所に受け入れる	328	44.6%
その他	36	4.9%
合計	736	100.0%

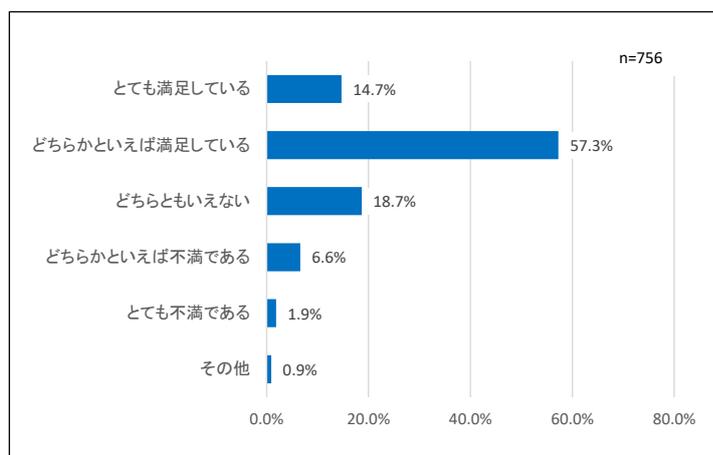


■ 「その他」の主な意見等

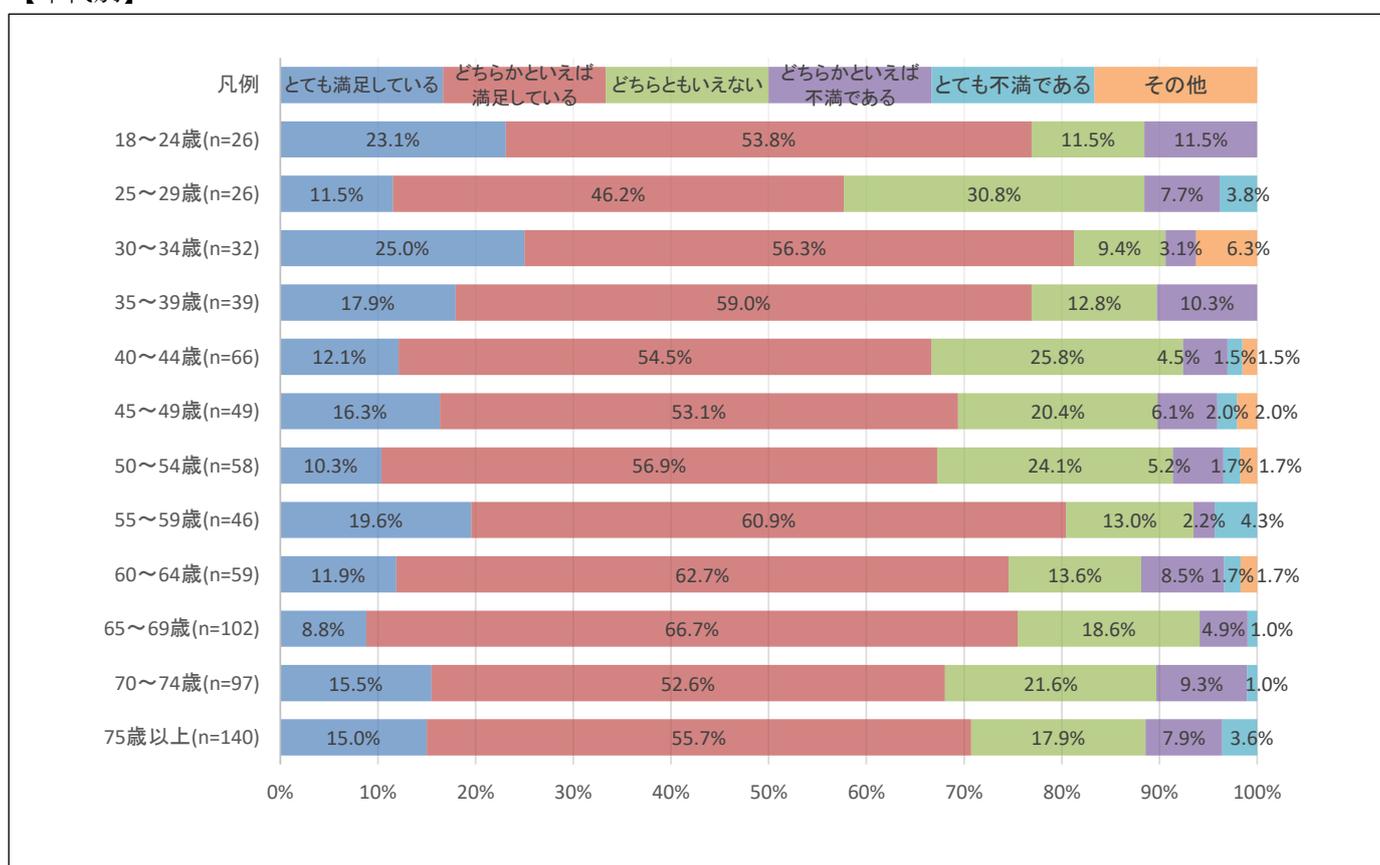
性別	年代	主な意見等
男性	40～44歳	空き家の活用を図る
女性	65～69歳	これ以上の開発等はない方が良い
男性	45～49歳	農地を守ることが大事
男性	40～44歳	農地に家が建ちすぎると田舎らしさがなくなる
男性	65～69歳	安曇野の魅力は山、田畑、四季の美しさ。環境保全が大切

問5-4 あなたは、安曇野市での生活にどの程度満足していますか。

	人数	割合
とても満足している	111	14.7%
どちらかといえば満足している	433	57.3%
どちらともいえない	141	18.7%
どちらかといえば不満である	50	6.6%
とても不満である	14	1.9%
その他	7	0.9%
合計	756	100.0%

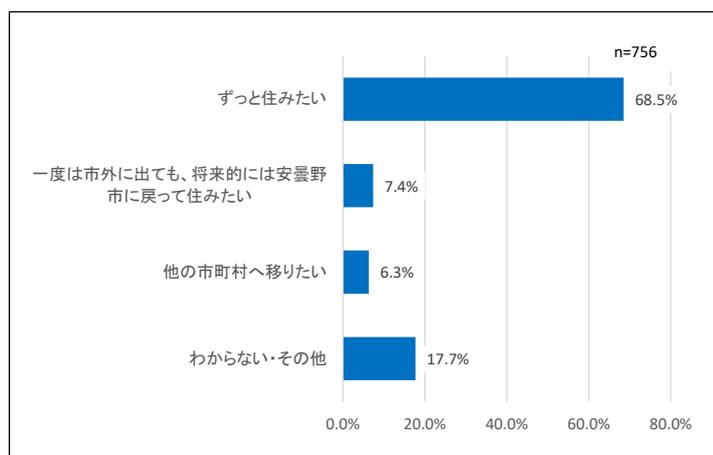


【年代別】

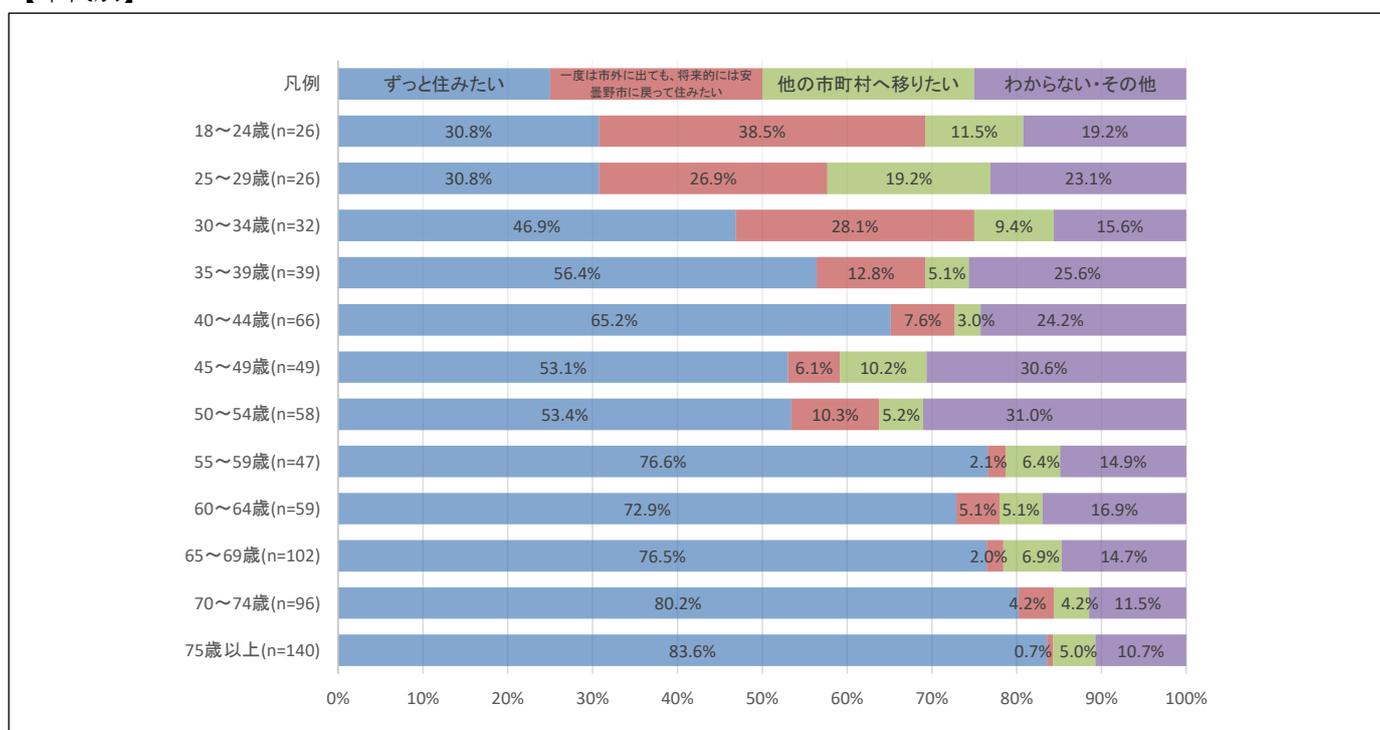


問5-5 あなたは、これからも安曇野市に住みたいですか。

	人数	割合
ずっと住みたい	518	68.5%
一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい	56	7.4%
他の市町村へ移りたい	48	6.3%
わからない・その他	134	17.7%
合計	756	100.0%



【年代別】

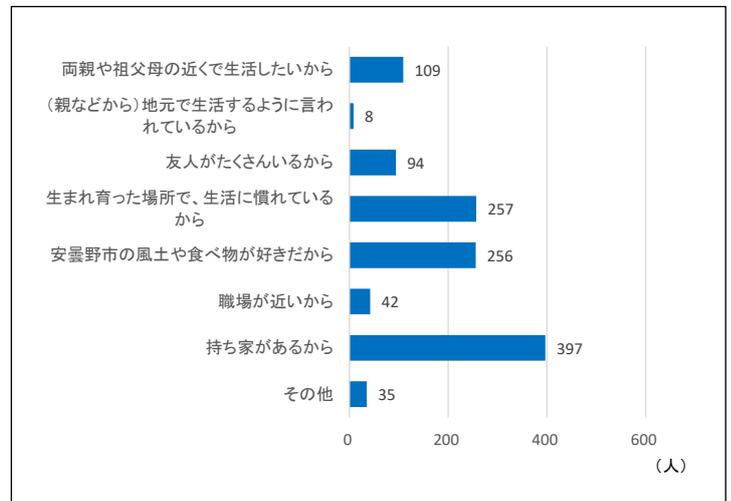


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	50~54歳	買い物など、高齢になった時に不安
女性	50~54歳	年齢に合わせて、住みやすい所へ移りたい
女性	45~49歳	ずっと住みたいと思っている訳ではないが、出ていく理由もない
男性	50~54歳	地域の行事が減れば住みたい
男性	65~69歳	特にこだわらない
男性	55~59歳	交通手段が充実すれば住みたいと思う
女性	65~69歳	他の土地に移り住みたいと思うこともあるが、年齢と経済的に無理だと思う
女性	50~54歳	生まれ育った土地なので、良くも悪くもここに住み続ける
女性	40~44歳	特に考えてない
男性	45~49歳	仕事があるから住んでいるだけ
女性	40~44歳	今は住みたいと思っている
男性	65~69歳	冬は暖かい所に住みたい

問5-6 【問5-5で、「1. ずっと住みたい」、「2. 一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」を選択した方にお伺いします。】安曇野市に住みたい理由を教えてください。（複数回答（3つまで））

	人数
両親や祖父母の近くで生活したいから	109
（親などから）地元で生活するように言われているから	8
友人がたくさんいるから	94
生まれ育った場所で、生活に慣れているから	257
安曇野市の風土や食べ物が好きだから	256
職場に近いから	42
持ち家があるから	397
その他	35

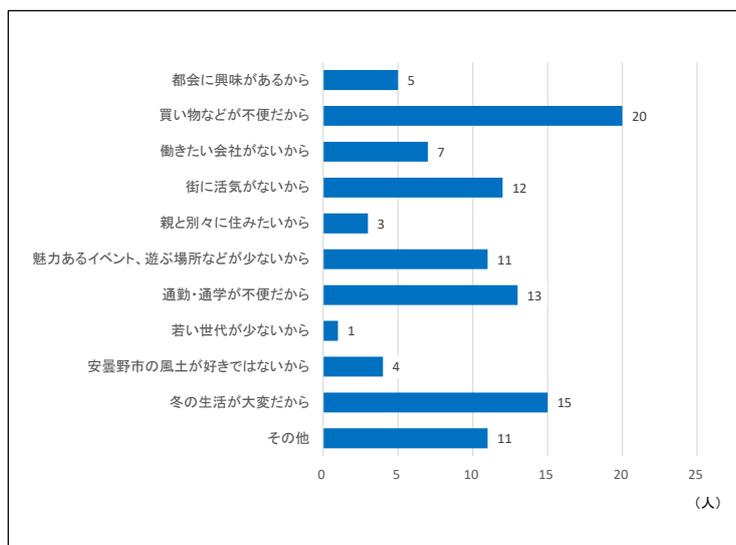


■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
男性	70～74歳	数年前に移住してきた。果樹栽培を始めているのでそれを続けたい
女性	40～44歳	自然環境、立地が気に入っているから
女性	35～39歳	環境が良く、四季を感じられる風土を気に入っているから
女性	50～54歳	安曇野市以外で生活し、より安曇野市の良さを感じるようになったから
男性	70～74歳	よい人がたくさんいるから
男性	60～64歳	田畑があるから
女性	65～69歳	自然が多く残っているから
男性	25～29歳	飲食店やスーパーなど、生活環境が充実していると思うから
女性	40～44歳	災害が少なく、景観がいいから
男性	60～64歳	趣味の登山やスキーに便利だから
男性	35～39歳	自分で決めて移住した場所だから
女性	70～74歳	兄弟がいるから
女性	30～34歳	近くに公園が多く、子育てしやすいから
女性	40～44歳	「あづみん」がすごく便利だから
女性	35～39歳	転居してきて、住みやすいと思うから
男性	40～44歳	田んぼがあるから。一回外へ出て、戻ってきた時にやっぱり環境がいいと感じた
女性	50～54歳	水や空気がいいから
女性	65～69歳	松本市が近いので生活上便利
女性	75歳以上	先祖代々住み続けているから

問5-7 【問5-5で、「3. 他の市町村へ移りたい」を選択した方にお伺いします。】安曇野市に住みたくない理由を教えてください。(複数回答(3つまで))

	人数
都会に興味があるから	5
買い物などが不便だから	20
働きたい会社がないから	7
街に活気がないから	12
親と別々に住みたいから	3
魅力あるイベント、遊ぶ場所などが少ないから	11
通勤・通学が不便だから	13
若い世代が少ないから	1
安曇野市の風土が好きではないから	4
冬の生活が大変だから	15
その他	11



■ 「その他」の主な意見等

性別	年代	主な意見等
女性	30～34歳	厳しい寒さに体がついていけないから
女性	45～49歳	保守的な人柄が好きではないから
男性	75歳以上	地域のつながりが薄いから
女性	45～49歳	将来的に人口が減った時に、生活が大変になりそうなので

市政全般に関する市民意識調査への協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政運営につきましてご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では平成 30 年度から「第 2 次安曇野市総合計画」をスタートさせ、福祉、教育、まちづくり、産業振興など、さまざまな分野の推進、充実に取り組むこととしています。

こうした市の事業や施策の推進に、市民の意見や考えを反映するため、市民意識調査を実施することにいたしました。

この調査は、市内にお住まいの 18 歳以上（2019 年 3 月 1 日時点）の 2,000 人の皆様を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いいたしました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、是非、ご回答をいただきますようお願い申し上げます。

2019 年 3 月 安曇野市長 宮澤 宗弘

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は無記名でお答えください。調査結果は統計的に処理し、個人が特定されたり、個人に関する情報が公表されることはありませんので、率直なお気持ちをご回答ください。
- 必ず「宛名のご本人」様がお答えいただくようお願いいたします。このため、ご病気等によりご回答いただけない場合は、廃棄等していただいてもかまいません。
- ご記入が終わりましたら、同封いたしました返信用封筒（切手不要）に入れ、**2019 年 4 月 12 日(金)まで**にお近くのポストへ投函をしていただきますようお願い申し上げます。

<この調査のお問い合わせ先>

安曇野市 政策部 政策経営課 企画担当

電話：0263-71-2401（直通）※平日の 8:30～17:15

FAX：0263-71-5155

Eメール：seisakukeiei@city.azumino.nagano.jp

1 あなたやご家族のことについて

問1-1 あなたの性別をお答えください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問1-2 あなたの年齢をお答えください。

- | | | | |
|-----------|------------|------------|-----------|
| 1. 18～24歳 | 2. 25～29歳 | 3. 30～34歳 | 4. 35～39歳 |
| 5. 40～44歳 | 6. 45～49歳 | 7. 50～54歳 | 8. 55～59歳 |
| 9. 60～64歳 | 10. 65～69歳 | 11. 70～74歳 | 12. 75歳以上 |

問1-3 主に従事している職業等をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------------|------------|------------|
| 1. 農林水産業（専業） | 2. 自営業・事業主 | 3. 勤め人（常勤） |
| 4. 勤め人（パート・アルバイト、派遣等） | 5. 専業主婦・主夫 | 6. 学生 |
| 7. 無職 | 8. その他（ | ） |

問1-4 お住まいの地区をお答えください。(1つに○)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------|
| 1. 豊科南穂高 | 2. 豊科光 | 3. 豊科田沢 | 4. 豊科高家 |
| 5. 豊科 | 6. 穂高有明 | 7. 穂高北穂高 | 8. 穂高 |
| 9. 穂高柏原 | 10. 穂高牧 | 11. 三郷明盛 | 12. 三郷温 |
| 13. 三郷小倉 | 14. 堀金烏川 | 15. 堀金三田 | 16. 明科東川手 |
| 17. 明科中川手 | 18. 明科光 | 19. 明科七貴 | 20. 明科南陸郷 |

問1-5 世帯の状況をお答えください。(1つに○)

- | | | |
|-----------------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦で二人暮らし | 3. 二世帯同居（親一子） |
| 4. 三世帯同居（親一子一孫） | 5. その他（ | ） |

問1-6 あなたを含め、同居しているご家族の中に以下の方はおられますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------------|------------|-----------------|
| 1. 65歳以上～74歳以下の方 | 2. 75歳以上の方 | 3. 障害者手帳を持っている方 |
| 4. 介護認定を受けている方 | 5. いずれもない | |

問1-7 2019年4月1日時点で、同居しているあなたのお子さんに以下の方はおられますか。(○はいくつでも) また、【カッコ】内には、その人数を記載してください。

- | |
|--|
| 1. 未就学児【 人】(そのうち、幼稚園・認定こども園等に通っている子ども【 人】) |
| 2. 小学生の子ども【 人】 |
| 3. 中学生の子ども【 人】 |
| 4. 上記の子どもは、いずれもない |

問1-8 あなたは、1年以内に以下の活動へ参加されましたか。(〇はいくつでも)

1. 趣味や教養、スポーツなどの活動	2. 審議会など公的委員活動
3. 地域活動(区、消防団など)	4. 福祉・ボランティア活動
5. 地域活性化の活動	6. その他()
7. この中に参加している活動はない	

II 安曇野市の行政に関すること(総合計画の施策分野ごと)

あなたは、次の市の取組み状況についてどのように感じていますか。

(それぞれ1つに〇)つ

【設問番号】			(記入例)	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
			1	2	3	4	0	
健康	1	健康づくりに取り組みやすい環境が整っている	1	2	3	4	0	
	2	地産地消や家族での食事を推進するなど、食育が行われている	1	2	3	4	0	
高齢者	3	高齢者が生きがいを感じ、質の高い豊かな暮らしができる環境が整っている	1	2	3	4	0	
	4	高齢者が住み慣れた地域で介護サービスを受け、介護予防に取り組む環境が整っている	1	2	3	4	0	
子育て	5	子育てしやすい地域である	1	2	3	4	0	

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

(それぞれ1つに〇)つ

【設問番号】			積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
健康	6	日常的な健康づくりをしている(検診・食事・運動・ストレス解消など)	1	2	3	4
	7	食の大切さを理解し、健全な食を実践したり、地産地消を心がけている	1	2	3	4
子育て	8	子育て家庭へのサポートをしている	1	2	3	4

あなたは、次のことを知っていますか。（認知度）

（それぞれ1つに○）つ

【設問番号】つでも

			知っている	知らない
健康	9	ストレスや悩みを抱えたときに市や各種機関で相談ができること	1	2
	10	安曇野市で歯科口腔保健条例を制定し、市民の歯と口腔の健康づくりに取り組んでいること	1	2
子育て	11	安曇野市の全公立認定こども園が信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度で認定を受けていること	1	2
	12	『男女共同参画』という言葉	1	2

問1-13 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で知っているものはどれですか。

（○はいくつでも）

1. 健康診査（特定健康診査・がん検診など）
2. 保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）
3. 子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）
4. 市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操
5. 健康づくりのための運動・栄養の講座
6. 健康づくり推進員活動

問1-14 あなたが、市で実施している健康づくりに関する事業で参加（受診等）したことがあるものはありますか。（○はいくつでも）

1. 健康診査（特定健康診査・がん検診など）
2. 保健指導・健康相談（生活習慣・食事・運動など）
3. 子どもの頃からの健康づくり事業（健診・相談・訪問など）
4. 市歌体操（あづみの健康体操）・健康体操
5. 健康づくりのための運動・栄養の講座
6. 健康づくり推進員活動

問1-15 あなたは、市民の健康をサポートするため、市はどのような取り組みを行うべきとお考えですか。（1つに○）

1. 家庭や職場でもできる健康づくりの情報提供
2. 健康づくりのための運動・栄養の講座
3. 日常的に身体を動かすことができる施設の整備
4. 健康診査結果に基づいた個別の保健指導
5. その他（)

問1-20 市が実施している高齢者福祉事業で、あなたが、知っているものはどれですか。

【①在宅高齢者福祉サービス】(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. 配食サービス | 2. 緊急通報サービス |
| 3. 高齢者通院等支援サービス (タクシー券交付) | 4. 軽度生活援助サービス |
| 5. 訪問理美容サービス | 6. 住宅改良の補助・アドバイス |
| 7. 知っているものはない | |

【②高齢者の生きがいづくり支援サービス】(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 高齢者の生きがい講座支援事業 (地域での学習活動を通じ、健康づくり・生きがいづくりを促進する団体への支援) |
| 2. 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業 (高齢者が主体的に活動する地区公民館事業への補助) |
| 3. 老人大学講座 (仲間づくりをしながら実施する、教養・技能講座) |
| 4. アクティブシニアがんばろう事業 (健康増進や介護予防のために健康づくり活動を定期的に行う団体への支援) |
| 5. 知っているものはない |

問1-21 あなたは、今の仕事を辞めたあと、したいことはありますか。また、既に辞められている方は、どのように過ごしていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 再雇用等で勤め続ける | 2. 市等の実施する事業へ参加する |
| 3. 個人の趣味を楽しむ | 4. ボランティアなど社会貢献をする |
| 5. 野菜作りやコメ作りなど農業をする | 6. 仲間とサークル活動をする |
| 7. 特にない、わからない | 8. その他 () |

(2) 魅力ある産業を維持・創造するまちについて (観光・農業分野)

問2-1 あなたは、安曇野市の魅力を市外の友人や知人に紹介していますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 積極的に紹介している | 2. まあまあ紹介している |
| 3. あまり紹介していない | 4. 紹介していない |

問2-2 あなたが市外の友人等に誇れる「安曇野市の魅力」はどこですか。(1つに○)

- | | | | |
|------------|------------|----------|-----------|
| 1. 自然環境 | 2. 人のつながり | 3. 豊かな水 | 4. 働く環境 |
| 5. 生活環境 | 6. 多彩なイベント | 7. 子育て環境 | 8. 災害の少なさ |
| 9. その他 () | | | |

問2-3 あなたは、日頃、地元産農産物を購入しますか。(1つに○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 積極的に購入する | 2. どちらかと言えば購入する |
| 3. 意識して購入することはない | 4. その他 () |

問2-4 あなたが、市内の直売所・加工所に求めることはなんですか。(1つに○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 新鮮な地元野菜があること | 2. 値段の安さ |
| 3. 品ぞろえの豊富さ | 4. 家の近くにあること |
| 5. その他 () | |

問2-5 あなたが、利用したことのある直売所・加工所を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------|
| 1. 豊科旬彩市 | 2. Vif 穂高 |
| 3. ほりがね物産センター | 4. 三郷サラダ市 |
| 5. プラザ安曇野新鮮市 | 6. 豊科農産物加工交流センター |
| 7. 穂高農産物加工所 | 8. 明科農産加工交流施設 |
| 9. この中に利用したことのある施設はない | |

(3) 安全・安心で快適なまちについて (景観・防災・住環境等の分野)

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

(それぞれ1つに○)

【設問番号】つでも		積極的に 取り組ん でいる	まあまあ 取り組ん でいる	あまり 取り組ん でいない	取り組ん でいない	
景 観	1	市街地の緑化や美化活動	1	2	3	4
	2	家のまわりの手入れを行うなど、美しい景観を守る こと	1	2	3	4
防 災	3	地震や台風などの災害への備え	1	2	3	4
	4	地域の自主的な防災活動への参加	1	2	3	4

問3-5 あなたは、市で実施している住宅関係の助成制度について、知っていますか。

また、利用したことがありますか。(それぞれ1つに○)

	知って いる	知らな い	利用し たこと がある	利用し たこと はない	今後 利用し たい
(記入例)	1	2	1	2	3
住宅耐震改修促進事業	1	2	1	2	3
住宅用太陽光発電システム設置補助金	1	2	1	2	3
住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金	1	2	1	2	3
緑化推進記念樹等交付	1	2	1	2	3
生垣設置補助金・ブロック塀撤去補助金	1	2	1	2	3
住宅用雨水貯留施設設置補助金	1	2	1	2	3

問3-6 あなたは、平成23年4月から施行されている「安曇野市の適正な土地利用に関する条例」や、それに基づく「安曇野市土地利用基本計画」を知っていますか。(1つに○)

1. 内容まである程度知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、内容まで知らない
3. 名前すら聞いたことがない

問3-7 安曇野市の土地利用をコントロールするルール（主に新たな開発等に対する規制）の現状と今後のあり方として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

1. 良好な景観や環境の保全が図られていない面があるので、いまよりもルールを厳しくすべき
2. 良好な景観や環境はある程度守られているので、いまのルールを維持すべき
3. いまのルールが人口増加や産業の振興等を妨げている面があるので、もっと緩めるべき
4. 土地利用をコントロールするルールと言われても、いまいちよくわからない
5. その他 ()

(4) 学び合い 人と文化を育むまちについて (教育・生涯学習・交流活動等)

あなたは、次の市の取組み状況についてどのよう感じていますか。

(それぞれ1つに○)

【設問番号】つでも

			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない
教育	1	小中学校での教育	1	2	3	4	0
	2	小中学校と地域の連携	1	2	3	4	0
生涯学習	3	年代に関わらない、学びの機会の提供	1	2	3	4	0
	4	スポーツを楽しめる環境	1	2	3	4	0

あなたは、次のことにどのように取り組んでいますか。(行動)

(それぞれ1つに○)

【設問番号】つでも

			積極的に取り組んでいる	まあまあ取り組んでいる	あまり取り組んでいない	取り組んでいない
教育	5	地域の子どもの健全育成	1	2	3	4
生涯学習	6	公民館などで学んだ知識の地域づくりへの還元	1	2	3	4
	7	生涯学習への取組み (過去5年間)	1	2	3	4
交流	8	国際交流イベントへの参加	1	2	3	4

問4-9 あなたは、特色ある学校づくりのため、市では、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(1つに○)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 英語教育 | 2. スポーツ・体力増進 |
| 3. 学力の向上 | 4. 地域の伝統・文化の継承 |
| 5. その他 (|) |

問4-10 あなたは、生涯学習としてどんなものに参加していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1. 自主的な集まりやサークル活動 | 2. 個人的な趣味の活動 |
| 3. 各種団体や企業の講座・講習・教室等 | 4. 市主催の講座・講習・教室等 |
| 5. 自らが主催者側で係わる活動 | 6. いずれも参加していない |
| 7. その他 (|) |

問4-11 あなたは、どの程度の頻度で運動・スポーツをしていますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週に3回程度 |
| 3. 週に1～2回程度 | 4. 月に1～3回程度 |
| 5. 年に1～3回程度 | 6. その他 (|

問4-12 あなたは、安曇野市が、東京2020オリンピック・パラリンピックでオーストリアのカヌーチームのホストタウンとなっていることを知っていますか。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

(5) 広報・広聴について（基本計画推進に当たっての経営方針）

問5-1 あなたの市政情報の入手先として、それぞれの媒体をどの程度利用しているか教えてください。（それぞれ1つに○）

(記入例)	頻繁に 利用	たまに 利用	利用 しない	知らな い
	1	2	3	4
市報（広報あづみの【通常版】） ※カラー表紙 毎月第3水曜発行	1	2	3	4
市報（広報あづみの【お知らせ版】） ※2色刷り 毎月第1水曜発行	1	2	3	4
市のホームページ	1	2	3	4
区配布の回覧文書	1	2	3	4
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）	1	2	3	4
市のツイッター	1	2	3	4
あづみ野テレビ	1	2	3	4
一般の新聞・テレビ・ラジオ	1	2	3	-
一般のウェブサイト（ホームページ）	1	2	3	-
友人・家族からの口コミ	1	2	3	-
その他（ ）	1	2	3	-

問5-2 あなたの市の広報媒体の満足度を教えてください。（それぞれ1つに○）

	満足	やや 満足	やや 不満	不満	わから ない
市報（広報あづみの【通常版】） ※カラー表紙 毎月第3水曜発行	1	2	3	4	5
市報（広報あづみの【お知らせ版】） ※2色刷り 毎月第1水曜発行	1	2	3	4	5
市のホームページ	1	2	3	4	5
市のラジオ番組（あづみ野エフエム）	1	2	3	4	5
市のツイッター	1	2	3	4	5

問5-3 あなたが市に意見や問い合わせをする際、使ったことがある手段は何ですか。

あてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1. 直接来庁	2. 電話
3. 手紙	4. ファックス
5. 電子メール	6. 市ホームページ（お問い合わせフォーム）
7. 市長への提案用紙	8. パブリックコメント（意見公募）
9. 区等の団体による調書	10. 市民説明会
11. 問い合わせしたことがない	12. その他（ ）

Ⅲ 安曇野市の行政に関すること（個別テーマについて）

(1) 議会だよりについて

問1-1 あなたは、議会だより（年4回発行）をどのくらいの頻度で読んでいますか。

(1つに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 毎回読んでいる（年4回） | 2. よく読んでいる（年3回） |
| 3. ときどき読んでいる（年1～2回） | 4. 全く読んでいない（年0回） |

問1-2 あなたは、議会だよりのページの分量をどう思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 1. 少ない | 2. ちょうど良い | 3. 多い |
|--------|-----------|-------|

問1-3 あなたは、議会だよりの字の大きさをどう思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 1. 小さい | 2. ちょうど良い | 3. 大きい |
|--------|-----------|--------|

問1-4 あなたは、議会だよりの1ページあたりの文字数をどう思いますか。(1つに○)

- | | | |
|--------|-----------|-------|
| 1. 少ない | 2. ちょうど良い | 3. 多い |
|--------|-----------|-------|

問1-5 あなたは、議会だよりの印刷について、どのようなものが良いですか。(1つに○)

- | | | |
|-----------|-------------|----------|
| 1. モノクロのみ | 2. モノクロとカラー | 3. カラーのみ |
|-----------|-------------|----------|

問1-6 あなたの議会だよりについての感想を自由にお書きください。

--

(2) 里山再生について

里山とは、人里近くに広がる森林を主体として、草地や、それらに隣接する田畑・ため池を含めた一帯をさします。人々の生活様式の変化などに伴い、里山を利用することが少なくなり、人の手が入らなくなった里山では、松くい虫被害や鳥獣被害など様々な問題が生じており、このような問題に取り組むために市民・森林所有者・事業者等による「里山再生」の取り組みが必要とされています。

問2-1 あなたは、この1年間に安曇野市内の里山に行きましたか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 行った（目的： _____） | 2. 行っていない |
|-------------------|-----------|

問2-2 あなたは、里山再生や森林保全の活動などに興味がありますか。(1つに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 興味があり、既に参加している | 2. 興味があるが、参加していない |
| 3. 興味がなく、参加していない | 4. わからない |

問2-3 市では、平成27年度に「里山再生計画」を策定し、その計画に関連する里山を再生する取組みを「さとぷろ。」と位置づけ、さまざまな取組みを行っています。あなたは、「さとぷろ。」を知っていますか。また、参加したことはありますか。(それぞれ1つに〇)

【認知度】

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【参加の有無】

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 参加したことがある | 2. 参加したことはないが、今後参加したい |
| 3. 参加したことがなく、今後も参加しない | 4. わからない |

問2-4 【問2-3で、「2. 参加したことはないが、今後参加したい」を選択した方にお伺いします。】参加していなかった理由はなんですか。(1つに〇)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1. 参加のきっかけが少ない | 2. 活動団体等の情報が不足している |
| 3. 時間的余裕がない | 4. その他 () |

問2-5 あなたが、里山での活動で興味のあるものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|-----------|
| 1. 森林整備 | 2. 薪づくり | 3. 山菜キノコ採り | 4. ジビエ・狩猟 |
| 5. 木工 | 6. 自然観察 | 7. ウォーキング | 8. ハンター |
| 9. 地域材の活用 | 10. その他 () | | |

(3) 自転車活用について

問3-1 あなたは、普段どの程度自転車を利用していますか。(1つに〇)

- | | | | |
|----------------------|---------------|-----------|-----------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に数回以上 | 3. 週に1回程度 | 4. 月に1回程度 |
| 5. 持っているがほとんど利用していない | 6. 自転車は持っていない | | |

問3-2 【自転車を利用している人(問3-1で1~4と回答した人)にお伺いします。】

あなたは、自転車をどのような目的で利用しますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 通勤・通学(最寄りの駅まで) | 2. 通勤・通学(職場・学校まで) |
| 3. 買い物 | 4. 通院 |
| 5. サイクリング・ツーリングなど | 6. その他 () |

問3-3 あなたの自転車に対するイメージで当てはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|--------------|--------|----------|-------------|
| 1. 小回りがきく | 2. 経済的 | 3. 健康に良い | 4. 気候に左右される |
| 5. 地球環境に優しい | 6. 危険 | 7. 疲れる | 8. さわやか |
| 9. 非常時に利用できる | 10. 便利 | 11. おしゃれ | 12. 邪魔 |
| 13. その他 () | | | |

(4) ごみの減量化について

問4-1 本市では、平成13年10月から、環境負荷を低減し、資源の有効活用を進め、循環型社会を形成するためのごみ発生抑制の施策として、また、ごみ排出量に応じた費用負担の公平性の確保を目的に、もえるごみ専用指定袋購入の際に、可燃ごみの処理手数料を負担していただいています。

あなたは、もえるごみ専用指定袋購入時の負担をどう感じていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1. 全く負担に感じていない | 2. ほとんど負担に感じていない |
| 3. 少し負担に感じている | 4. かなり負担に感じている |

問4-2 あなたは、可燃ごみ処理手数料(収入証紙30円/枚、収入証紙20円/枚)について、ごみ減量化にどのような影響があると考えますか。(1つに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 手数料があることで、ごみの排出量の抑制につながっている |
| 2. 手数料によって、ごみの排出量の増減にあまり影響はない |
| 3. ごみの排出量の抑制のためには、いま以上に処理手数料をあげるべき |

問4-3 平成13年に可燃ごみ処理手数料を設定してから今まで、処理手数料の改定を行ってきませんでした。手数料設定当時と比較し、現在、ごみ処理にかかる費用は、一袋あたり12円程度増額しています。このことを踏まえ、手数料の改訂について、あなたの考えに一番近いものはどれですか。(1つに○)

- | |
|---|
| 1. 受益者負担は据え置き、不足分は税金で補てんする |
| 2. 処理にかかる経費が増えているので、受益者負担の10円程度の上乗せは、許容範囲である |
| 3. 処理にかかる経費が増えているので、今後を見越し、受益者負担は20円程度まで上乗せしても許容範囲である |
| 4. 処理にかかる経費が増えているので、今後を見越し、受益者負担は30円程度まで上乗せしても許容範囲である |

(5) 人口減対策について

問5-1 安曇野市の人口は近年減少に転じていますが、市の施策の今後の望ましい方向性として、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(1つに○)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 人口の維持または増加のための施策を積極的に進める |
| 2. 自然の流れにまかせる |
| 3. 人口の減少を前提とした施策展開を図る |
| 4. その他 () |

問5-2 人口減少、少子高齢化が止まらない要因の一つとして、未婚化、晩婚化が進んでいることが考えられますが、あなたは、未婚化、晩婚化の要因は何だと思えますか。

(1つに○)

1. 出会う機会がないから
2. 積極的に結婚しようという意識が減ってきているから
3. 家庭を持つことに経済的な不安があるから
4. 「結婚する、結婚しない」ということに世間のこだわりが少なくなったから
5. 一人で生きていけるから
6. その他 ()

問5-3 人口が減少する中であっても、転入や市内での転居など、今後も一定の宅地需要は見込まれます。安曇野市内における宅地需要について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。

(1つに○)

1. 主として、既存の市街地や集落の内部またはその周辺部に受け入れる
2. 主として、開発に適した農地等に大規模な住宅団地をつくってまとめて受け入れる
3. とくに場所は限定せずに、住宅を建てられる場所に受け入れる
4. その他 ()

問5-4 あなたは、安曇野市での生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. とても満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば不満である |
| 5. とても不満である | 6. その他 () |

問5-5 あなたは、これからも安曇野市に住みたいですか。(1つに○)

1. ずっと住みたい
2. 一度は市外に出ても、将来的には安曇野市に戻って住みたい
3. 他の市町村へ移りたい
4. わからない・その他 ()

問5-6 【問5-5で、「1. ずっと住みたい」、「2. 一度は市外に出ても将来的には安曇野市に戻って住みたい」を選択した方にお伺いします。】

安曇野市に住みたい理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

1. 両親や祖父母の近くで生活したいから
2. (親などから) 地元で生活するように言われているから
3. 友人がたくさんいるから
4. 生まれ育った場所で、生活に慣れているから
5. 安曇野市の風土や食べ物が好きだから
6. 職場が近いから
7. 持ち家があるから
8. その他 ()

問5-7 【問5-5で、「3. 他の市町村へ移りたい」を選択した方にお伺いします。】

安曇野市に住みたくない理由を教えてください。(特に当てはまるもの3つまで○)

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 都会に興味があるから | 2. 買い物などが不便だから |
| 3. 働きたい会社がないから | 4. 街に活気がないから |
| 5. 親と別々に住みたいから | 6. 魅力あるイベント、遊ぶ場などが少ないから |
| 7. 通勤・通学が不便だから | 8. 若い世代が少ないから |
| 9. 安曇野市の風土が好きではないから | 10. 冬の生活が大変だから |
| 11. その他 () | |

以上でアンケートは終了となります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。